

平成28年度

伊勢崎市の教育



伊勢崎市教育委員会

序

教育を取り巻く社会情勢は、情報化、国際化・グローバル化をはじめ、人口減少・少子高齢化社会へと進展し、雇用形態や価値観の多様化など、社会は大きく変化してきております。

このような社会状況に対応すべく、平成20年3月に告示された学習指導要領が、平成25年度より全面实施となりました。急激に変化する社会に対応するために必要な「生きる力」の基盤となる「確かな学力」の確立については、基礎的・基本的な知識及び技能の徹底した習得を図ることに加え、これらを活用する思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度等を相互関連させながらバランスよく伸ばしていくことが求められております。また、「豊かな心」や「健やかな体」の育成にあたっては、基本的な生活習慣や規範意識の確立において、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚しながら、相互に連携・協働して取り組むことが求められております。

本市においては、これらのことを踏まえ、人権尊重の精神を基本に、家庭・地域社会への所属感を育み、郷土を愛する心と国際協調の精神を養い、自ら学び心豊かでたくましい「生きる力」にあふれ、よりよき社会の中でよりよい暮らしを創造し享受する自立した人づくりを進めております。

また、市民参加の学習活動が展開できるよう、家庭・地域社会・学校・関係機関との連携をより一層深め、生涯の各時期に対応した学習の機会の確保、教育条件の整備と学習環境づくりを推進し、「伊勢崎は大人と子どもが学ぶ街」の実現に努めているところであります。

こうした理念の具現化に向け、社会性の基盤づくりを中心とした「伊勢崎教育構想2016」を策定いたしました。教育の質を高め、一人ひとりの学びを充実させたり、幼小中連携による一貫教育や子ども、家庭・地域、学校の協働による教育活動を推進したりすることにより、子ども一人ひとりの夢や希望の実現に向けた確かな学力、豊かな心、健康な体を育みます。

また、世界文化遺産である田島弥平旧宅をはじめ伊勢崎銘仙など、様々な地域の歴史的資産を活用した教育活動を進めるとともに、地域の自然、歴史、伝統文化、産業などを活用し、気付いたことや考えを表現し深め合う「伊勢崎ふるさと学習」を実施しています。これらの取組により、生涯にわたってふるさと伊勢崎に誇りをもち、伊勢崎から世界に視野を広げることができる主体性のある人材の育成を目指します。

先人が残した文化財の保護意識の高揚、健康・安全教育と食育の充実、ボランティアによる奉仕活動の充実等、市民の多様な学習ニーズに応えるための環境整備をより一層推進し、21万市民の多様なライフスタイルに即した教育の振興を図ってまいります。

そして、地域をはじめ企業・大学等の知的人材の協力をいただき、学校教育と生涯学習の融合による特色ある教育活動を展開し、新しい教育のあり方を模索・実践します。

結びに、本市教育の歩み及び施策等を記載した本要覧を広く皆様にご活用いただきますとともに、ご指導、ご助言をいただく機会となれば幸いです。

あいさつ



平成27年4月1日から施行されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、「総合教育会議」が設置され、市長と教育委員会との連携の強化が図られるようになりました。

この総合教育会議において、「伊勢崎市教育振興施策の大綱」を策定し、学校教育から生涯学習、歴史や文化など各分野の重点事項を定めました。

次世代を担う子供たちが元気で健やかに成長できる環境と、生涯にわたり市民一人ひとりが夢と希望に向かって生き生きと個性が輝くまちづくりを進めてまいります。

また、教職員の多忙化解消、いじめ防止対策やグローバル教育の推進など、教育を取り巻く課題についても協議を行ってまいりましたが、今後さらに、総合教育会議が教育行政運営に有意義なものとなるよう努めてまいります。

こうした市と教育委員会との連携により、子供たちが安全で快適な環境のもと学習に取り組めるようトイレ改修工事を実施するとともに、学校給食調理場の機能充実を目指し再編統合する整備計画を推進してまいります。

さらに、地域における生涯学習の活動拠点となる公民館は、利便性の向上を図るため耐震補強工事を実施し、文化財や伝統文化は歴史的な価値を後世に伝えるため保存、活用に努めております。

子供から大人までの市民一人ひとりが、郷土に誇りと愛着を持ち、健康でしあわせを感じられる『夢ふくらみ 安心して暮らせる 元気都市 いせさき』の実現に向け市政運営に取り組んでまいります。

これからも、教育行政に対しまして多くの皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます、あいさつといたします。

伊勢崎市長 五十嵐清隆

目 次

序

市長あいさつ

市民憲章	1
伊勢崎市の概要 (沿革・市章・市旗・市の木・市の花・都市宣言ほか)	2

I 教育行財政

教育委員会	7
教育のあゆみ	11
教育振興基本計画	22
平成 28 年度 教育行政方針	26
平成 28 年度 教育費に係る一般会計予算	41
平成 28 年度 一般会計予算	42
平成 28 年度 教育費項目別予算	43
教育費年度別決算額	44

II 教育施設

教育施設一覧	47
平成 27 年度 施設建設等主要事業	53
平成 28 年度 施設建設等主要事業計画	60

III 学校教育

平成 28 年度 学校教育方針	63
伊勢崎教育構想 2016	68
平成 28 年度 主要事業	70
各種事業	71
〔学力向上・学校等訪問・進路指導・人権教育 環境教育・情報教育・特別支援教育・外国語 指導助手・外国籍児童生徒学校生活適応指導助手 配置事業・地域の教育力の活用〕	
各種補助・援助	79
園児・児童生徒教	81
学校体育保健	85
日本スポーツ振興センター	87
四ツ葉学園中等教育学校	88
教育研究所	90

IV 学校給食

学校給食の充実	95
---------	----

V 生涯学習

生涯学習の充実	101
図書館	113

VI 文化振興

文化振興	123
------	-----

VII 文化財保護

文化財の保護と活用	129
-----------	-----

VIII 青少年健全育成

心身ともに健全な青少年の育成の推進	141
青少年非行防止活動の推進	145

IX スポーツ振興

スポーツ振興	149
--------	-----

題 字

伊勢崎市教育委員会教育長 徳江基行
表紙写真 特色ある学校づくりへの取組み
(グローバル教育、ふるさと学習)
(インクルーシブ教育の実践例)

伊勢崎市 市民憲章

古くから赤城山のふもとに大きく開けた伊勢崎の地は、水と緑と陽光の織りなす豊かな自然に育まれ着実に発展してきました。わたくしたち伊勢崎市民は、先人が知恵と勇気とたゆまぬ努力で築いてきた歩みを一人ひとりが受けつぎ、さらに快適で希望と活力に満ちた住みよいまちをつくるため、この憲章を定めます。

- 一 いのちを大切にします
- 一 こころとからだをきたえます
- 一 お互いを尊重します
- 一 ふれあいを広げます
- 一 ふるさとの発展に力を合わせます

市民憲章は、平成18年12月20日に制定されました。

この市民憲章は、市民の共感に基づいた自発的な行動意欲を喚起するとともに相互協力と連携の精神を高揚し、さらに快適で希望に満ちた住みよいまちを築く指針となり、心の支えとなり続ける理念を示すことを目的としています。

伊勢崎市の概要

沿革

伊勢崎市の地勢は比較的平坦であるが、広瀬川を境に右岸は北西から東南へ傾斜する利根川による沖積低地、左岸はほぼ北から南へ傾斜する赤城山南東に発達する大間々を扇頂とする大間々扇状地の扇端部からなる。

左岸は湧水が多く、小河川がつくる浅い開析谷が発達し、権現山遺跡をはじめとする旧石器時代から縄文時代の遺跡が多く見られるが、弥生時代の遺跡の分布は比較的少ない。古墳時代になると湧水や小河川沿いには村落が発達し、県指定重要文化財の長持形石棺をもつ前方後円墳の「お富士山古墳」（市指定史跡）をはじめ、主な河川沿いに多くの古墳群や集落が発達している。古代の遺跡では、佐位郡衙正倉である三軒屋遺跡は「上野国交替実録帳」に記載された「八面甲倉」の八角形建物が発見された。上植木廃寺跡は佐位郡の寺院と考えられ、三軒屋遺跡との関連が指摘されている。境地区北の東西一直線の境は、宮都から陸奥国へ通じた東山道駅路の痕跡が境界として今日まで残っている。さらに境伊与久の十三宝遺跡（国指定史跡）は、『続日本紀』天平19年12月14日条の「百姓に造塔を許す」という勅に比定され、上野国分寺の創建とも関係する寺院跡である。古代末から中世には藤原秀郷流の一族を開発領主とする湊名荘が置かれ、その灌漑用水として赤堀地区からあずま地区に及ぶ女堀（国指定史跡）が状態良く残っている。これに対し、広瀬川右岸は古利根川の変流により左岸にあるような豊富な遺跡を見出すことはできない。

戦国期には藤姓湊名氏の一族赤堀氏、田部井氏、那波郡を本貫地とした那波氏等の在地の武士が台頭するが、戦国大名の勢力のはざままで没落してゆく。那波氏が拠点としていた赤石郷にあった砦は由良氏の手落ち、由良氏は赤石郷を伊勢皇大神宮に寄進し、これを勧請し砦の中に祀った。以後この砦は「伊勢崎」と呼ばれ、現在までの地名として定着する。

伊勢崎地区及び境地区には、天正18年（1580）那波郡に一万石で松平氏が、やや遅れて佐位郡に一万石で稲垣氏が入封、以後両氏の跡に酒井氏が入り、断続を経て天和元年（1681）以降明治4年（1871）廃藩置県まで二万石の伊勢崎藩が存続するとともに、赤堀、東地区と同様に、旗本領、幕府領や他藩領が混在した。

伊勢崎町や境町には近世の初頭から六斎市が立ち、物資が集散し、この地域は一つの経済圏を形成した。中期以降は養蚕が盛んになり、繭、糸、地場の織物である太織が取引された。このような経済活動を背景に文化活動が盛んになった。安永期に藩校「学習堂」が設立されると、民間にも郷学設立の動きが起き、享和元年（1801）有志による私塾として始まった境伊与久の五惇堂を初めとして文化期には8校の郷学が設立された。創設にかかわったのは儒学を学んだ人たちであった。明治4年（1871）廃藩置県前後には、第二次興隆期を迎え、14校が設立され、伊勢崎藩領内の郷学は合わせて25校となった。

安政6年（1859）横浜が開港されると、当時の主要な輸出品となった生糸や蚕種を生産していたこの地方は一挙に潤い、島村、長沼村では蚕種業が盛んになり、直接横浜に売り込みに行く人たちも現れた。幕末期には元機屋が現れ、賃機により農家を潤した。明治期に入ると品質維持、改良のため太織会社が設立され、伊勢崎織物業組合へと発展した。組合は技術伝習のため明治19年（1886）「染色講習所」を設立、明治33年県に移管され、この地域の中等教育の走りとなった。「伊勢崎銘仙」といわれた織物は近代佐波・伊勢崎の基幹産業となったが、生活様式の変化により、今日では機械金属、輸送機器にとって替わられた。

明治22年町村制の施行に伴い、市域には伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、豊受村、名和村、宮郷村、赤堀村、東村、境町、采女村、剛志村、島村が成立した。昭和15年伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村が合併して第一次の伊勢崎市が成立、昭和30年に伊勢崎市は三郷村、豊受村、名和村、宮郷村を併合、また、境町、采女村、剛志村、島村が合併して第二次境町が成立、昭和32年世良田村の一部（境東地区）を合併した。赤堀村は昭和61年町村制を施行。平成17年1月伊勢崎市、赤堀町、東村、境町が合併して第二次の伊勢崎市が成立した。平成19年4月、特例市（現在は、地方自治法一部改正により施行時特例市）となる。

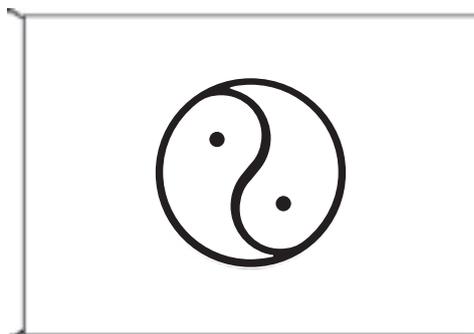
市章



伊勢崎市の徽章を左図の如く定め諸般に用いるものとする。この地域にゆかりの深いまがたまを用いて、いせさきの「い」の字をデザインしたもので、市民の融和と本市の発展を表しています。

(平成 17 年 2 月 28 日告示)

市旗



縦の長さは、横の長さの 3 分の 2 とする。

市章の直径は、縦の長さの 5 分の 3 とする。

市章の中心は、旗面の中心とする。

市章上・下のあきは等しくする。

2 個のまがたまの孔の中心を通る直線は、市章の中心を通る水平線より左側仰角 45 度とする。

旗の地色は白色とする。

市章の地色は赤色とし、まがたまは白抜きとする。

市の木

松



【市の木の選定理由】

検討委員会では、市の木は、古くからこの地域に広く自生、あるいは植栽されている樹木が最適であろうという考え方により、アカマツ・クロマツを含む総称としての「マツ」が選定されました。

マツは、現在の市全域に生育しており、庭木や盆栽としても広く愛されてきました。市内には、神社・仏閣、街道筋などに多く見られ、県内有数の名木もあります。また、公園や公共施設などにも数多く植栽されています。(平成 18 年 12 月 20 日告示)

市の花

ツツジ



サルビア



キク



スイセン



【市の花の選定理由】

市の花は、一つに限定せず長い期間にわたり楽しめるよう複数あってもいいのではないかとこの考え方に基づき検討されました。その上で、旧市町村の花もそれぞれの経過を経て地区の人々に親しまれている状況

も考慮されました。

そのような中、開花時期が注目されました。ツツジは春、サルビアは夏から秋、キクは秋、スイセンは冬から春にかけて咲き、四つの花を合わせれば四季折々に花を楽しむことができます。

そこで、四つの市町村が合併して一つの新しい伊勢崎市を創り上げる象徴として、一年中を花で飾れる「四季の花」という思いを込め、四つの花が選定されました。(平成18年12月20日告示)

都市宣言

●人権尊重都市宣言

平成18年12月20日制定

すべての人々の人権を平等に保障することは、だれもが幸せに暮らせる社会をつくる基礎になります。わたくしたち伊勢崎市民は、お互いの理解と協力と信頼により、一人ひとりの健康で幸福な生活を送る権利を守り、みんなで明るく住みよいまちを築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

●スポーツ都市宣言

平成18年12月20日制定

スポーツに親しみ、スポーツをとおして健康な心と体をつくり、友情とふれあいの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活を営み、笑顔と活力あふれるまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

●安心安全都市宣言

平成18年12月20日制定

安心で安全な暮らしを脅かす災害や交通事故、犯罪などをなくすことは、すべての市民の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが自分たちのふるさとを自分たちで守るという共通の考えを持ち、みんなで手を取り合い、快適で心安らかに暮らせるまちを築くため、ここに「安心安全都市」を宣言します。

●核兵器廃絶平和都市宣言

平成18年12月20日制定

平和と安全を脅かす核兵器を地球上からなくすことは、人類共通の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、平和を愛する世界各国の人々とともに永久の平和が実現することを強く望み、核兵器のない世界を築くため、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

人口・世帯 (平成28年8月1日現在)

人口	211,869	人
男	106,156	人
女	105,713	人
世帯数	85,932	世帯

位置・面積

北緯	36° 18′
東経	139° 11′
海拔	58.1 m
面積	139.33 km ²

I 教育行財政



教育委員会会議の様子

教育委員会

1 教育委員 (平成 28 年 4 月 1 日現在)



(後列左から) 高橋委員、徳江教育長、大矢委員長職務代行者
(前列左から) 萩原委員長、宮川委員

役職名	氏名	住所
委員長	萩原裕子	伊勢崎市境上武士
委員長職務代行者	大矢光利	伊勢崎市市場町二丁目
委員	宮川亮子	伊勢崎市喜多町
委員	高橋慶一	伊勢崎市東小保方町
教育長	徳江基行	伊勢崎市東上之宮町

2 歴代の教育委員

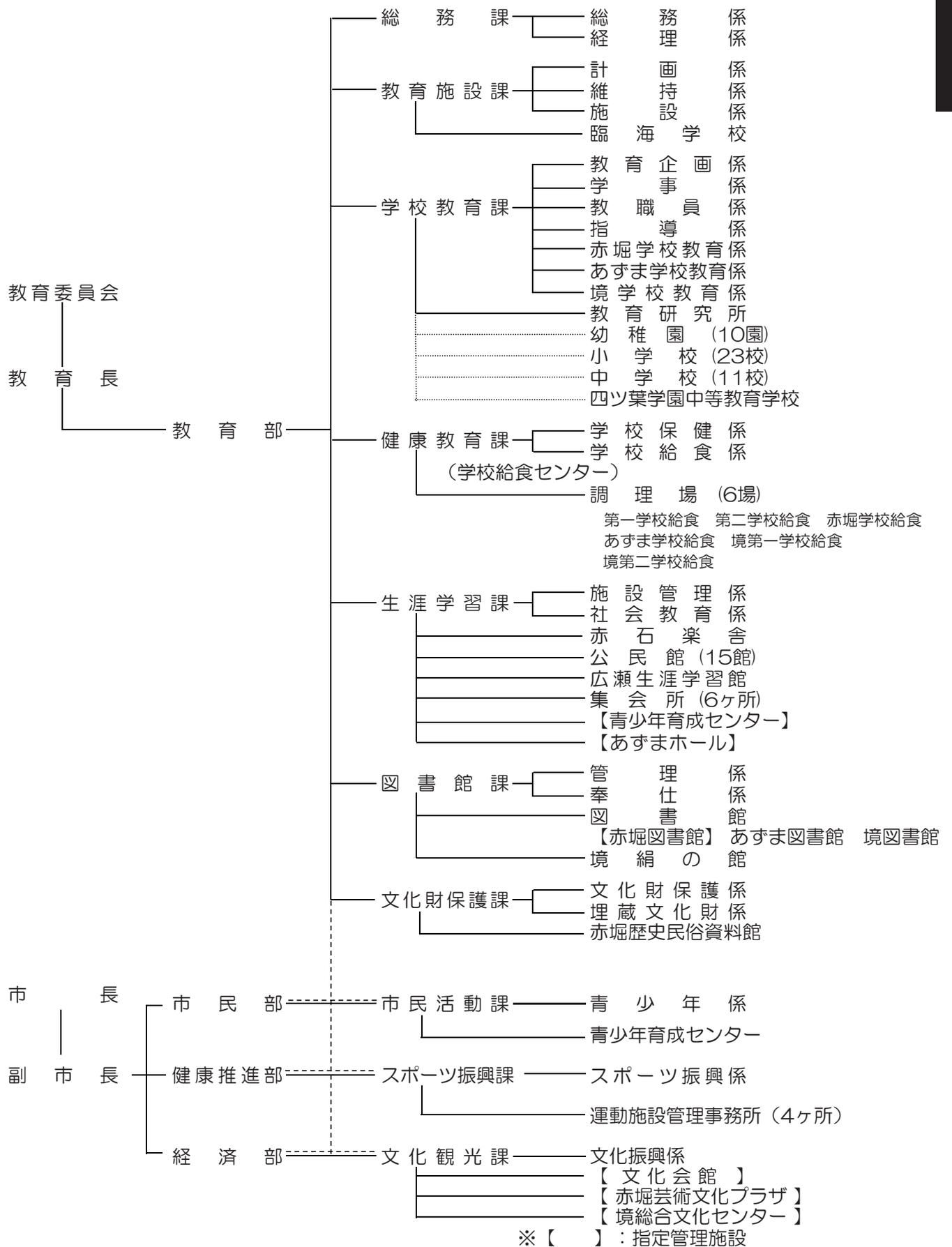
氏名	就任年月日	退任年月日
上山 明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
上林 雄	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
御任 佳子	平成 17 年 1 月 1 日	平成 19 年 3 月 23 日
茂木 初實	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
大塚 富男	平成 17 年 3 月 24 日	平成 18 年 3 月 23 日
赤石 勝彦	平成 17 年 3 月 24 日	平成 19 年 10 月 31 日
須田 篤子	平成 17 年 3 月 24 日	平成 21 年 3 月 23 日
大沢 啓一	平成 18 年 3 月 24 日	平成 22 年 3 月 23 日
小久保 剛利	平成 19 年 3 月 24 日	平成 23 年 3 月 23 日
大山 隆	平成 19 年 12 月 19 日	平成 24 年 3 月 23 日
齋藤 美智子	平成 21 年 3 月 24 日	平成 25 年 3 月 23 日
茂木 克	平成 22 年 3 月 24 日	平成 26 年 3 月 23 日
大山 祐理子	平成 23 年 3 月 24 日	平成 27 年 3 月 23 日
多部田 敬三	平成 24 年 3 月 24 日	平成 28 年 3 月 23 日
萩原 裕子	平成 25 年 3 月 24 日	
大矢 光利	平成 26 年 3 月 24 日	
宮川 亮子	平成 27 年 3 月 24 日	
高橋 慶一	平成 28 年 3 月 24 日	

3 歴代の教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
田島 國明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
山口 晃	平成 17 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日
徳江 基行	平成 25 年 4 月 1 日	

4 付属機関の委員等

名 称	人 員	構 成
奨 学 生 選 考 委 員 会 委 員	11 人以内	学識経験者、その他教育員会が適当と認めた者
適 正 就 学 指 導 委 員 会 委 員	59 人以内	小中学校長又は小中学校教頭、特別支援学級担当教諭、通級指導教室担当教諭、公立幼稚園長、県立伊勢崎特別支援学校長、県立伊勢崎特別支援学校教諭、専門医師、児童相談所職員、心身障害児（者）担当市職員、公立保育所保育士、保健師、その他教育長が必要と認めた者
学 校 結 核 対 策 委 員 会 委 員	8 人以内	学校医、結核に関し専門知識を有する者、関係行政機関の職員、学校関係者
学 校 給 食 運 営 委 員 会 委 員	15 人以内	教育委員、幼稚園・小学校及び中学校の代表、幼稚園・小学校及び中学校のPTAの代表、伊勢崎保健所長、学校医及び学校薬剤師の代表、学識経験者
生 涯 学 習 推 進 協 議 会 委 員	40 人以内	関係行政職員、学識経験者
社 会 教 育 委 員	20 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
公 民 館 運 営 審 議 会 委 員	30 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
人 権 教 育 推 進 委 員 会 委 員	33 人以内	学校教育関係者、市職員、PTA会長、その他教育長が必要と認めた者
集会所運営委員会委員 今井町集会所運営委員会委員 道伝集会所運営委員会委員 宮子町集会所運営委員会委員 柴町集会所運営委員会委員 連取町集会所運営委員会委員 三室町集会所運営委員会委員	各集会所に 20 人以内	各地域から推薦された者
図 書 館 協 議 会 委 員	10 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
文 化 財 調 査 委 員	7 人以内	学識経験者
赤 堀 歴 史 民 俗 資 料 館 運 営 協 議 会 委 員	8 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
青 少 年 問 題 協 議 会 委 員	25 人以内	市議会議員、関係行政機関の職員、学識経験者
青少年指導センター運営協議会委員	16 人以内	関係行政機関の代表、青少年保護育成に関係する団体から推薦された者
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会 委 員	15 人以内	スポーツに関する学識経験のある者
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	45 人以内	各地区から推薦された者



教育のあゆみ

〈学制発布から明治〉

西暦	年代	主 な 事 項
1872	明治 5. 8. 3	学制を制定し学区制を発布 (全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210小学区を設置) 群馬県では小学校教授細則を告示 (下等小学校は6歳から9歳まで4か年8級、上等小学校は10歳から13歳まで4か年8級)
	8.	群馬県、旧藩校及び郷学、寺子屋等に廃学の指令
1873	6. 6. 9	赤石学校、伊勢崎町本光寺を仮校舎として開校 明治8年2月までに伊勢崎地区17校、赤堀地区2校、あずま地区1校、境地区では10校が開校。当時、設立された学校の多くは、寺院を仮校舎とするものが多い
1874	7. 1.	島村に新聞を回覧し、新しい知識を得ようとする「新聞夜学会社」の結成
1875	8. 8. 4	小保方学校分校国定支校、養寿寺に開校
1876	9. 6. 8	田部井学校、西福寺を仮校舎として開校
	6. 9	国定学校独立(明治11年3月19日 校舎竣工)
1877	10. 2.	群馬県令楫取素彦、赤石学校を視察
1878	11. 7. 17	赤堀今井小学校校舎を字南原に竣工
1879	12. 5. 29	小保方学校、字陣屋前に校舎竣工
	6.	播智須学校、八寸村桂林寺を仮校舎として小保方学校から分離独立
	9.	学制を廃止し教育令を制定、小学校教育を義務化
1880	13. 2.	旧伊勢崎藩藩校教授新井雀里、伊勢崎町に漢学塾「南淵塾」を開設
	12.	教育令を改正
1882	15. 11. 5	伊勢崎町赤石学校校舎竣工
1883	16. 7.	播智須学校校舎を字堤下に竣工
1884	17. 6.	小此木村の天田弁蔵、漢学塾「愛性義塾」を開設
	11.	国定学校、田部井学校に併合される
1885	18.	田部井小学校、字東宿に新校舎竣工
	3.	小学校の統廃合が行われ郡名と学区番号を冠した校名となる
	8.	佐位那波教育会設立
	8.	石川泰三が伊勢崎町に洋学塾「回天義塾」を設立
1886	19.	伊勢崎織物業組合が「染色講習所」を設立
	19. 3.	帝国大学令の発布
	19. 4. 10	小学校令・中学校令・師範学校令の公布 小学校を尋常・高等に分割と尋常科4年の義務制 尋常小学校を伊勢崎地区7校、赤堀地区2校、あずま地区2校、境地区7校に設置 高等小学校を伊勢崎町に設置
	19. 8.	木島村の小暮卓利、普通学科の「三余義塾」を設立
1887	20.	佐位那波郡高等小学校分教場が国定村、剛志村、玉村町に設置
	1.	島村の田島善平宅に「基督教美以教会」講義所の設立
1888	21. 1.	平塚青年会発足
	5.	郡長より小学校生徒服をなるべく洋服あるいは筒袖に改正するように内諭あり
1889	22. 1.	境町青年進成会、島村青年会が発足
	22. 4.	名和青年会統合

	4. 1	町村制施行 伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、豊受村、赤堀村、東村、境町、采女村、島村、剛志村が成立 各村村内小学校を統合して村名を冠した尋常小学校と改称
1890	23. 5. 12	伊勢崎尋常小学校に予修科付設（幼稚園のはじまり） 赤堀村、今井、西久保両校を統合して赤堀尋常小学校と改称
1891	24. 9. 1	佐位那波郡高等小学校の廃止 伊勢崎町外5か村立伊勢崎組合高等小学校（殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、10月3日開校式）を伊勢崎町に、毛陽1町4か村組合高等小学校（境町、豊受村、剛志村、采女村、島村）を剛志村に、赤堀村、東村2か村組合立静修高等小学校を東村に設置
1892	25. 4.	赤堀村、東村組合立静修高等小学校校舎が国定に新築
1893	26. 4.	赤堀今井、西久保両尋常小学校独立
1896	29. 1. 8	伊勢崎盛年会設立
	4.	赤堀村西久保校を赤央尋常小学校と改称（9月新築）
	4. 1	佐位・那波両郡が合併して佐波郡と改称
1897	30. 11.	三郷尋常小学校校舎竣工
1900	33. 3.	組合立伊勢崎染色学校が県に移管
1901	34. 3.	毛陽5か町村組合高等小学校を解散し、各町村尋常小学校に高等科を併せ、尋常高等小学校と改称
	11. 15	伊勢崎町に佐波学術研究会発足（明治35年佐波学館と改称、昭和7年閉館）
1902	35. 3. 31	伊勢崎町外5か村組合高等小学校を解散し、伊勢崎町は修養年限4年の高等小学校を設置各村は尋常小学校に高等科を併設し、尋常高等小学校と改称 東村、赤堀村の学校組合も解散し、静修高等小学校が東高等小学校となり、赤堀村は赤堀尋常小学校敷地に高等小学校を建設
1903	36. 4. 10	伊勢崎高等小学校に女子補習科を設置
1905	38. 1. 14	茂呂村青年夜学会開設
	38. 2.	県立伊勢崎染色学校が桐生織物学校に統合
	3. 31	県立伊勢崎染色学校廃校
	4.	名和尋常小学校、尺取虫、螟虫の駆除を開始
1906	39. 4. 1	殖蓮実業補習学校設立。以後各地区に補習学校の開設
	4. 15	伊勢崎町、伊勢崎女子実業補習学校の設置
	5. 31	名和尋常小学校、10日間の農繁休暇を開始
	6. 1	境町女子実業補習学校開校（後の境高等学校）
1907	40. 3.	小学校令改正、義務教育年限を延長して小学校6年制とし、高等科を2年に改め、明治41年度から実施
	4. 1	伊勢崎尋常小学校と伊勢崎高等小学校を合併し、伊勢崎尋常高等小学校とし男子を収容女子を収容する伊勢崎女子尋常高等小学校を設置
	11. 28	佐波教育会伊勢崎部会創設
1908	41. 3.	県、土地の事情により農繁休暇を認める 赤堀村3小学校を統合し赤堀尋常高等小学校と改称 平塚村に私立「東寧実業補習学校」設立
1909	42.	小保方尋常小学校を東高等小学校に併置
1910	43.	小保方校、田部井校をそれぞれ南分教場、北分教場として東尋常高等小学校が発足
	1.	茂呂村青年会創設、以後大正にかけて各町村に創設

	4. 1	伊勢崎町に県立工業学校開校 この頃から遠足、修学旅行が定例化
1911	44. 1. 10	三郷村青年夜学会発足
1912	45. 4.	伊勢崎町学齢児童保護会設立

〈大正から教育委員会発足まで〉

西暦	年代	主 な 事 項
1913	大正 2.	赤堀村赤央校の廃校
1914	3. 4. 1	伊勢崎町、男女別学の尋常高等小学校を合併して伊勢崎尋常高等小学校と改称
1915	4. 4. 1	伊勢崎町立実科高等女学校を伊勢崎尋常高等小学校に併設（大正12年4月1日 伊勢崎高等女学校と改称、同13年4月県に移管、6月伊勢崎町宗高に新校舎落成）
	11.	赤堀女子実業補修学校を赤堀尋常小学校に併設 同5年男子部が加わり、赤堀実業補習学校と改称
1916	5. 8.	宮郷村に処女会（女子青年団）が創設、以後大正期に各町村に創設
1917	6. 4. 13	伊勢崎町立商工補習学校開校、大正8年4月 町立商業学校に改組（大正12年 県に移管）
1920	9. 4. 26	佐波郡立農学校開校（大正12年 県に移管、佐波農業学校と改称）
1921	10. 4. 11	伊勢崎図書館が認可
1923	12. 8. 1	伊勢崎教育会、学齢児童保護会、小学校の虚弱児童を対象に伊勢崎公園（華蔵寺公園）に林間学校を開設（21日間）
1925	14.	中島徳蔵氏が東洋大学学長となる
1926	15. 6. 27	伊勢崎尋常高等小学校第1号校舎焼失
	10. 1	伊勢崎町幼児保育所を開設（昭和2年 伊勢崎第二幼稚園と改称、同9年 廃止）
1927	昭和 2. 4. 1	伊勢崎第一幼稚園設置（小学校附属幼稚園独立）
1930	5. 4. 1	伊勢崎町、茂呂村に伊勢崎南尋常高等小学校を開校
1931	6. 5. 30	伊勢崎競技場完成
1934	9.	赤堀村、今井分教場廃止
	11.	境町立境尋常高等小学校プール竣工
1935	10.	東村、南分教場を廃止
1937	12. 4.	三郷尋常高等小学校、二宮金次郎銅像の除幕式実施
	5. 3	伊勢崎市日吉町に伊勢崎幼児園開園（方面事業助成会経営）
1938	13. 7. 23	伊勢崎水泳場竣工（板垣精平寄付）
1939	14.	青年学校義務制
1940	15. 9. 30	伊勢崎市制施行（第1次）
1941	16.	赤堀村北分教場を廃止
	4. 1	国民学校発足（昭和16年3月1日 国民学校令公布）
	4. 17	私立夜間中学校開校（教場図書館、校主板垣精平）
	10. 21	境町立境尋常高等小学校学校給食を開始（月額1円）
1942	17. 9. 1	伊勢崎市北青年学校を北国民学校に付設
1943	18. 3. 31	伊勢崎市北国民学校に高等科を設置
	8.	青年学校通年昼間制の実施

1944	11. 1	伊勢崎市八坂町に南幼稚園開園（方面事業助成会経営）
	19. 4. 1	私立夜間中学校を伊勢崎市に移管、市立伊勢崎中学校と改称
1945	20. 8. 15	北国民学校、宮郷国民学校、伊勢崎高等女学校、伊勢崎図書館空襲により焼失
1947	22. 1.	伊勢崎市学校給食開始
	4. 1	小学校6年、中学校3年の9年制義務教育
	4. 29	新制中学校始業式 小学校等の教室で授業開始 昭和23年から同25年にかけて新校舎が相次いで竣工
1949	24.	5月名和村、6月豊受村、12月東村、学校給食開始
1950	25.	6月宮郷村学校給食開始 境島村教会、めぐみ保育園を開設
	8. 29	太刀 銘 備前国長船住守家造が国指定重要文化財に指定
	9.	赤堀村、学校給食を開始

〈教育委員会発足から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1952	昭和27. 10. 5	市町村の教育委員選挙の実施
	11. 1	市町村に教育委員会が発足
1954	29. 3. 20	脇差 銘 備洲長船元重が国指定重要文化財に指定
	29. 4. 1	伊勢崎市立女子高等学校が開校（4月19日 伊勢崎市立北小学校において授業開始、6月 栄町の佐波福祉事務所跡へ移転）
	11. 18	殖蓮中学校第2校舎焼失
	11. 22	茂呂幼稚園園舎新築工事完成
1955	30. 1. 10	佐波郡三郷村と合併、3月名和村、豊受村、宮郷村を合併
	3. 15	宮郷公民館開館
	3. 19	名和公民館開館
	3. 22	豊受公民館開館
	4. 1	三郷幼稚園開園（三郷小学校校舎使用）
	4. 8	市教育研究所発足
	12. 17	殖蓮中学校校舎復旧新築工事完成
1956	31. 1. 10	三郷公民館開館
	4. 1	宮郷幼稚園開園
	10. 1	新教育委員会法全面実施に伴い、各市町村に任命制教育委員5人就任
1957	32. 4. 1	殖蓮公民館及び茂呂公民館開館
1958	33. 2. 8	埴輪男子立像（2軀）、埴輪男子倚像、埴輪武装男子立像が国指定重要文化財に指定
	2. 27	伊勢崎市立女子高等学校円型校舎が昭和町に完成
	3. 31	宮郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	本県最初の知的障害児のための養護学校（名称は伊勢崎市立伊勢崎中学校）設立（現在の第一幼稚園に位置）
	8. 5	境町立東小学校開校
1960	35. 4. 11	伊勢崎市立北小学校校舎火災
1961	36. 3. 3	伊勢崎市立北小学校復旧校舎新築工事完成
1962	37. 3. 15	茂呂公民館新築工事完成

	4. 1	東村立東小学校に特殊学級設置
1963	38. 3. 2	殖蓮公民館落成式
	4. 15	東村公民館竣工（移転）
	8. 1	境町立図書館開館
	10.	東村民プール完成（昭和39年6月13日 共用開始）
1964	39. 4. 1	境町立境中・島中を統合し、境町立南中学校に校名変更 境町立采女中を北中、境町立剛志中を西中に校名変更 東村立東中学校に特殊学級設置
1965	40. 4. 1	伊勢崎南・茂呂中学校を統合して、新しく伊勢崎市立南中学校を設置
	7. 7	伊勢崎市教育経営研究会発足
1966	41. 3. 19	伊勢崎市営野球場建設工事完成（3月23日 こけらおとしに巨人－大洋戦開催）
	8. 25	境町立南中学校校舎完成
	9. 25	台風26号襲来、殖蓮小学校講堂倒壊
1967	42. 3. 18	境町東公民館完成
	4. 1	伊勢崎市立南中学校を伊勢崎市立第一中学校と改称 伊勢崎市立名和中学校と豊受中学校を統合して伊勢崎市立第二中学校と改称
	5. 22	伊勢崎市立殖蓮小学校体育館復旧新築工事完成
	5. 31	伊勢崎市立第一中学校校舎新築工事完成
1968	43. 2. 1	養護学校を旧茂呂中学校跡へ移転
	4. 27	伊勢崎市営陸上競技場完成
	11. 11	青少年補導センター開所式（市福祉事務所内に設置）
1969	44. 1. 23	三郷公民館新築工事完成
	3. 31	伊勢崎市立第一幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	東村立あずま幼稚園開園（東小学校校舎一部使用）
	8. 10	伊勢崎市立第二中学校新築工事完成
	9. 1	名和小学校が旧名和中学校校舎へ移転
	10. 12	第1回市民総合体育大会を開催（以後毎年10月10日に開催）
1970	45. 2. 15	三郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	境町立島小学校分校が境町立境小学校分校となり4年生以上は境小学校に通学
	4. 24	境町中央公民館完成
	6. 20	伊勢崎市立北幼稚園廃園
1970	45. 7. 1	伊勢崎市中央公民館開館
	12. 1	伊勢崎市学校給食センター完成により、共同調理場方式になる
1971	46. 2. 22	伊勢崎市立南幼稚園園舎新築工事完成
	3.	伊勢崎市庭球場完成
	4. 1	養護学校に小学部が設置 伊勢崎市立北・三郷中学校を統合し伊勢崎市立第三中学校とする 豊受幼稚園開園
	6.	伊勢崎市民プール完成
	12. 10	豊受幼稚園園舎新築工事完成
1972	47. 3. 31	宮郷公民館新築工事完成 境町立境小学校分校廃校
	3.	伊勢崎市弓道場完成
	4. 1	名和幼稚園開園

	4.	利根川河川境運動場設置
	7. 3	名和小学校校舎焼失
	10. 1	学制発布100年及び市教育委員会発足20周年を記念して「いせさき教育のあゆみ」を発刊
	12. 22	移動図書館「わかくさ」巡回開始
1973	48. 1. 31	名和幼稚園園舎新築工事完成
	1.	赤堀剣道場完成
	3.	東村立あずま幼稚園園舎竣工（現在地へ移転）
	3. 20	名和小学校復旧校舎新築工事完成
	3. 25	豊受公民館新築工事完成 伊勢崎市今井町集会所新築工事完成
	6. 15	新潟県寺泊町に伊勢崎佐波臨海学校開校
	7. 20	伊勢崎市立第三中学校新築工事完成
1974	49. 7. 20	殖蓮小学校校舎新築工事完成
	10. 28	三郷小学校校舎新築工事完成
1975	50. 1. 1	伊勢崎市立北第二小学校が旧伊勢崎市立北中学校跡に開校
	3. 10	道伝集会所新築工事完成
	4.	赤堀村立赤堀幼稚園開園（小学校旧校舎使用）
	10. 23	東村文化協会設立
	11. 1	赤堀村文化協会設立
	11.	境上武公園野球場・テニス場完成
1976	51. 1. 1	伊勢崎市立北第二幼稚園開園
	3. 20	伊勢崎市立北第二幼稚園園舎新築工事完成
	7.	赤堀中央運動場完成（野球場・テニスコート）
	12. 31	豊受小学校校舎新築工事完成
1977	52. 3. 1	伊勢崎市立図書館新館開館
	3.	赤堀村立幼稚園新園舎開
	3. 20	宮子町集会所新築工事完成
	3. 31	柴町集会所新築工事完成
	4.	境いよく野球場完成
	4. 1	伊勢崎市立第一中学校に特殊学級を設置（以後、他の中学校に逐次設置） 境町社会体育館開館（2月完成）
1978	53. 4. 1	殖蓮第二幼稚園開園（殖蓮幼稚園に併設）
	6.	境いよくテニス場完成
	7. 31	殖蓮第二小学校校舎新築工事完成
	8. 2	殖蓮第二幼稚園園舎新築工事完成
	11.	赤堀村立赤堀中学校新校舎落成式
1979	54. 1. 1	広瀬小学校開校（南小学校に併設）
	3. 25	連取町集会所新築工事完成
	4. 1	広瀬幼稚園開園（南幼稚園に併設）
	4. 10	学校給食センター米飯施設完成により米飯給食開始
	6.	赤堀村立赤堀中学校室内運動場新設
	8. 1	東村総合運動場及び東村社会体育館竣工

	11. 10	伊勢崎市民体育館落成 スポーツ都市宣言を行う
	11. 30	広瀬小学校校舎新築工事完成
1980	55. 3. 20	東村立東小学校校舎竣工（現在地へ移転）
	3. 25	名和公民館新築工事完成
	3. 30	広瀬幼稚園新築工事完成
	5.	赤堀体育館完成
	10. 9	宮郷中学校校舎新築工事完成
1981	56. 2. 25	東給食センター竣工
	3. 31	伊勢崎公民館廃止（7月解体）
	4. 1	東村立南小学校開校（旧東小学校校舎使用） 文化会館開館
	4.	赤堀村学校給食調理場新築
	8. 3	三郷小学校校舎新築工事完成
	10. 30	宮郷小学校校舎新築工事完成
	12. 21	殖蓮中学校校舎新築工事完成
1982	57. 3. 15	伊勢崎市ソフトボール場・第二グラウンド完成
	57. 3. 23	伊勢崎養護学校校舎新築工事完成
	3.	三室西公園運動場完成（多目的広場・テニスコート）
	4. 1	坂東小学校開校
	4. 1	坂東幼稚園開園
	7. 1	境町流水プール開場（6月完成）
	10.	赤堀香林運動公園完成
1983	58. 2. 11	東村立南小学校校舎竣工（旧東小学校から移転）
	3. 16	坂東幼稚園新築工事完成
	3. 25	殖蓮公民館新築工事完成
	3.	第二市民体育館 県立伊勢崎商業高等学校から伊勢崎市へ移管
	5. 4	群馬県立伊勢崎青少年育成センター開所、県から管理運営を受託
	7. 27	伊勢崎市教育研究所完成し、伊勢崎市立第一幼稚園から移転 県下初の独立建物となる
	8. 26	名和小学校校舎新築工事完成
	9. 28	茂呂小学校校舎新築工事完成
	10. 15	第38回国民体育大会（あかぎ国体）秋季大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
	10. 27	女堀が国指定史跡に指定
1984	59. 4. 1	伊勢崎市立第四中学校開校（豊受小と坂東小の通学区域）
	8. 25	日・台中学校バレーボール親善大会が伊勢崎市民体育館で開催され、全台湾と市立第三中学校が対戦
	10. 15	伊勢崎市立第四中学校校舎新築工事完成
1985	60. 2. 28	「伊勢崎市の文化財」発刊
	3.	伊勢崎市庭球場改修工事完成
	4. 1	赤堀歴史民俗資料館開館
	9. 7	第40回国民体育大会関東地区大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
1986	61. 2. 5	伊勢崎市文化協会設立

1987	4.	赤堀コミュニティひろば完成
	6. 7	境町立図書館現在地に移転 絹の館開館
	10.	赤堀村町制施行
	62. 3. 10	東村立北小学校校舎竣工
	3. 25	茂呂公民館新築工事完成
1988	4. 1	東村立北小学校開校
	3. 10	伊勢崎市補助競技場完成
	8. 18	伊勢崎市中学生派遣事業開始（米国ミズーリ州スプリングフィールド市）
	63. 1. 11	十三宝塚遺跡が国指定史跡に指定
	2. 24	殖蓮幼稚園新築工事完成
	3. 27	東村中央公民館完成 あずま総合運動公園完成
	8. 18	伊勢崎市立第二中学校校舎新築工事完成
	11. 11	生涯学習モデル市町村事業について文部省から指定（3年間）

〈平成から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1989	平成元. 2. 8	生涯学習推進会議発足
	3. 23	境町剛志公民館新築工事完成
	3.	あずま総合運動公園テニスコート完成
	3. 31	伊勢崎市立北第二幼稚園廃園
	4. 1	境町剛志公民館開館
1990	6. 7	境町総合運動場開場（5月完成）
	2. 3.	境矢ノ原公園運動場完成
	4. 1	境町武道館開館（3月完成）
	8.	赤堀町中学生派遣事業開始（米国サウスダコタ州ラピッドシティ市）
	8. 24	伊勢崎市相撲場完成（華蔵公園運動施設内）
1991	9. 19	赤堀芸術文化プラザ開館
	3. 10	伊勢崎市弓道場建替完成
	3. 3. 29	財団法人伊勢崎市体育協会設立
	4.	赤堀町立南小学校開校
	5. 9	東村立東中学校と米国ギャビン中学校生徒派遣事業開始によるギャビン中学校生徒の来村
1992	11. 6	伊勢崎市立北第二小学校校舎新築工事完成
	4. 3.	境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場完成
	8. 5	境町中学生生徒派遣事業開始（米国イリノイ州オーランドパーク市）
	8.	赤堀西部スポーツ公園完成 （野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）
	9. 12	学校週5日制施行開始（第二土曜日のみ）
1993	5. 3. 22	境町立島小学校校舎全面改築竣工式
	3. 25	境町東公民館移転新築竣工式
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎高等学校開校（男女共学となる）
	5. 29	境町文化協会設立

1993	5. 6. 30	伊勢崎市第二学校給食センター新築工事完成（9月から給食開始）
1994	6. 4. 15	境町島村公民館移転新築竣工式
	8. 26	境町立南中学校校舎全面改築竣工式
	10. 1	東村営野球場あずまスタジアム完成 東村営弓道場完成
1995	7. 3. 15	伊勢崎市南公民館新築工事完成
	3.	境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場完成
	4. 1	子ども発達相談室を市立北小学校内に開設
	4.	あずまゲートボール場設置（借地）
1996	8. 3. 29	三郷公民館新築工事完成
	3.	東村営野球場あずまサブスタジアム完成
	5. 24	境総合文化センター開館
	10. 6	東村営サッカースタジアム完成
	11. 2~5	第9回全国スポーツレクレーション祭、女子ソフトボール大会開催
1997	9. 3. 15	境町第一学校給食センター完成
	3.	境弓道場完成
	9. 11	国指定史跡 女堀の追加指定
	10. 1	境町絹の館に金井烏洲記念室設置
1998	10. 3. 13	境町第二学校給食センター完成
	3.	伊勢崎市野球場改修工事完成
	4. 1	伊勢崎市立幼稚園で2年保育開始 殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園休園 図書館広域ネットワーク化
	5. 3	あずまウォーターランド竣工
	11. 3	つつみ公園グラウンドゴルフ場完成
1999	11. 7. 8	東村立図書館オープン
	12. 4. 1	赤堀町立東小学校開校
2000	6. 15	華蔵寺のキンモクセイが国指定天然記念物に指定
2001	13. 1. 30	宮郷第二小学校校舎・体育館竣工式
	3. 27	赤堀グラウンドゴルフ場完成
	3. 31	殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園廃園
	4. 1	宮郷第二小学校開校
	11. 4	第16回国民文化祭・ぐんま2001が開催され、伊勢崎市出身の民謡研究者町田佳聲にちなんで、民謡民舞の祭典を開催
2002	14. 4.	完全学校週5日制開始
	7.	あかぼり運動公園テニス場完成
2003	15. 2. 20	宮郷幼稚園園舎改築工事完成
	3.	赤堀町立赤堀中学校新校舎（特別教室）完成
2004	16. 12.	赤堀町立南小学校校舎増築工事竣工
	3. 22	殖蓮公民館改築工事完成
	3. 30	東村立東中学校新校舎竣工
2005	17. 1. 1	市町村合併により旧町村の幼稚園、小学校、中学校の名称変更
	18. 3.	三室西公園スケートボード場完成（テニスコートをスケートボード場に改修）
2006	18. 4. 1	青少年育成センターが県より移管

2007	19. 4. 1	あずまホールをあずま公民館から分離
	5. 25	伊勢崎市文化協会設立(旧市町村ごとにあった文化協会の統合)
2008	20. 4. 1	県立前橋高等養護学校(伊勢崎分校)が旧県立境高等学校に開校 北小学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
2009	21. 3. 14	北小学校全面改築竣工式
	3.	図書館年間貸し出し100万点達成
	4. 1	四ツ葉学園中等教育学校開校 北小学校が特認校となる
	11. 29	四ツ葉学園中等教育学校竣工式
2010	22. 5. 14	伊勢崎市ラグビー場完成(平成23年5月1日供用開始)
2010	22. 6. 30	四ツ葉学園中等教育学校グラウンド完成
	11. 16	第一中学校体育館耐震補強工事完成
	12. 10	三郷幼稚園園舎竣工(園庭の芝生化)
2011	23. 1. 24	北第二小学校体育館竣工
	3. 25	茂呂小学校校舎増築工事完成
	8. 3~16	四ツ葉学園中等教育学校の生徒30人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	9. 30	市庭球場改修工事(コート・スタンド・フェンス・トイレ)完成
	10. 12	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定を締結
	12. 28	境北中学校体育館耐震補強工事完成
2012	24. 2. 29	宮郷中学校・赤堀南小学校校舎増築工事、宮郷中学校屋内運動場増築工事完成
	3. 15	第二市民体育館改修工事(耐震・電気・機械)完成
	8. 3~16	市内中学校・中等教育学校の生徒44人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	8. 31	小学校(市内全校)空調整備工事完成
	9. 19	田島弥平旧宅が国指定史跡に指定
2013	25. 1. 28	幼稚園(市内全園)空調整備工事完成
	3. 15	中学校(市内全校)空調整備工事完成
	3. 15	あずま体育館改修工事(耐震・電気・機械)完成
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎養護学校が群馬県立特別支援学校として県へ移管
	4. 1	新公益法人制度により財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市体育協会へ移行
	4. 1	赤堀南小学校、あずま南小学校、第四中学校、殖蓮中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
	8. 3~16	海外語学研修の参加生徒数を60人(市内中学校・中等教育学校)に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	11. 29	第一幼稚園園舎耐震補強工事完成
	12. 13	境小学校、境采女小学校校舎耐震補強工事完成
	12. 27	第三中学校体育館耐震補強工事完成
2014	26. 1. 31	広瀬小学校体育館耐震補強工事完成
	2. 10	殖蓮第二小学校体育館耐震補強工事完成
	2. 28	市民体育館改修工事(耐震・電気・機械)完成
	3. 14	赤堀体育館改修工事(更衣室・トイレ・事務室)完成
	6. 25	田島弥平旧宅「富岡製市場と絹産業遺産群」として世界遺産登録

2015	8. 2～15	海外語学研修の参加生徒数を70人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	10. 6	上野国佐位郡正倉跡が国指定史跡に指定
	10. 31	殖蓮第二小学校校舎耐震補強工事完成
	11. 10	南幼稚園園舎耐震補強工事完成
	11. 14	境采女小学校校舎耐震補強工事（第2期）完成
	11. 17	境東小学校校舎耐震補強工事（第1期）完成
	27. 1. 16	広瀬小学校校舎耐震補強工事完成
	1. 30	南小学校、名和小学校、宮郷第二小学校トイレ改修工事・機械設備工事完成
	1. 30	第三中学校校舎耐震補強工事完成
	2. 6	宮郷第二小学校、北第二小学校、赤堀小学校、赤堀南小学校、境采女小学校、境剛志小学校トイレ改修工事・機械設備工事完成
	2. 6	あずま小学校トイレ改修機械設備工事完成
	2. 20	宮郷中学校体育館耐震補強及び増築工事完成
	3. 14	赤堀中学校全面改築竣工式
	3. 16	境公民館全面改築竣工式
2016	6. 24	学校規模の適正化に関する基本方針の答申
	28. 3. 26	境島小学校閉校式
	3. 31	境島小学校閉校
	3. 31	伊勢崎市西小保方沼公園グラウンドゴルフ場完成（平成28年5月11日オープン）

伊勢崎市教育振興基本計画

平成27年度 ▶ 平成31年度

夢あるところに笑顔の輪
のびのび伸ばそう個性の翼

平成27年11月
伊勢崎市教育委員会

1. 教育振興基本計画の基本理念と基本方針

本市の教育を取り巻く環境を鑑み、今後5年間を見据えた本市教育行政の目指すべき姿を「基本理念」に掲げています。基本理念の実現に向けて考え方や方向性を「基本方針」として示し、それを具現化するために10の「重点施策」に取り組みます。

基本理念

夢あるところに笑顔の輪 のびのび伸ばそう個性の翼

子どもはやがて大人になります。わたしたちは成長する過程で、多くの人と出会い、多くの経験をし、多くのことを学びます。その中で誰もが周りの人との違いに悩んだり、挫折感を味わうこともあります。しかし、ある時それが個性であることに気がきます。

いつの時代でも大切なことは、子どもや大人が個性を伸ばすべく学び、生き抜くことです。誰もが学びを通じて夢を実現し笑顔になり、生きがいつくりを通じて周りの人に学びを還元し、笑顔にします。

本市は、子どもから大人までみんなが笑顔になれるよう、夢や希望、生きがいの実現に向けて「個性を見出し伸ばせる学びの人づくり」を目指します。

基本方針Ⅰ【学校教育】

夢に向かって学び自ら未来を切り拓く たくましく心豊かな子どもを育てる

《基本方針の目指す姿（人間像）》

- ・ 小さな気づきを大切にし、遊びを通して友だちづくりのできる人
- ・ 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を兼ね備えた人
- ・ 個性を生かせる職業観を養い、世界で活躍できる人

重点施策

- 1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実 【総務課、学校教育課】
- 2 子どもの成長に応じた学校教育の充実
【学校教育課、四ツ葉学園中等教育学校】
- 3 子どもの徳育の充実【学校教育課、生涯学習課】
- 4 安心・安全を大切にした健康教育の充実【健康教育課】
- 5 教育環境の整備・充実【教育施設課、学校教育課】

基本方針Ⅱ【生涯学習】

生涯にわたり生きがいを求めて主体的に学び より豊かに生き生きと暮らせる人を育てる

《基本方針の目指す姿（人間像）》

- ・生涯にわたり自主的に学び、資質や能力を向上させる人
- ・学びを通して自己肯定感を高め、成果を地域に還元できる人
- ・本との出会いを大切にし、豊かな情緒や人間性を身に付けた人
- ・スポーツを通して結ばれる一体感を養い、
幸せて豊かに生活できる人

重点施策

- 6 市民が主役の生涯学習の充実【生涯学習課】
- 7 読書の街づくりの推進【生涯学習課、図書館課】
- 8 スポーツの推進【スポーツ振興課】

基本方針Ⅲ【歴史・文化】

郷土の歴史や文化を学び次代に伝承する ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人を育てる

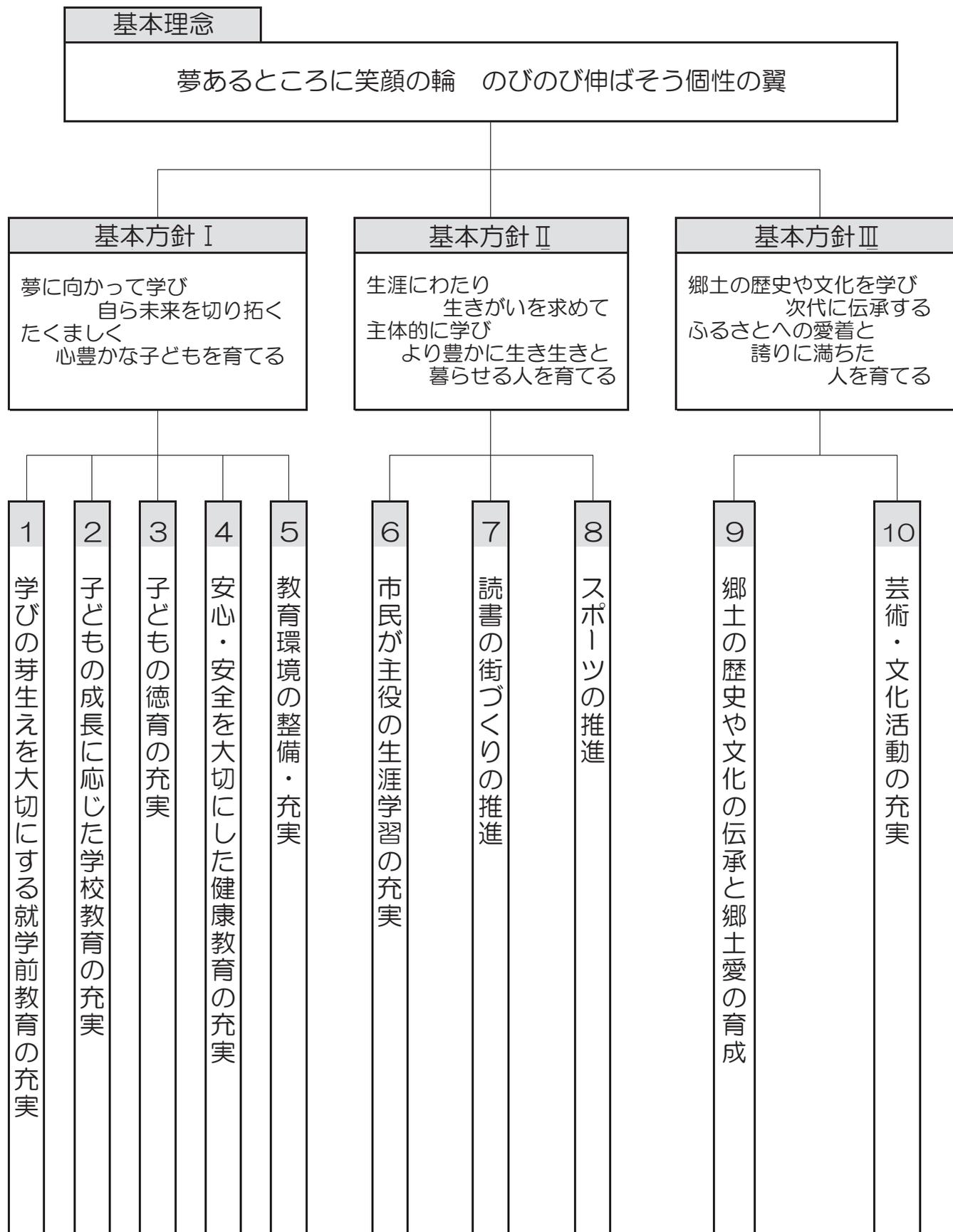
《基本方針の目指す姿（人間像）》

- ・かけがえのない郷土の歴史・文化資産を守り、次代に伝えられる人
- ・文化財や伝統芸能に触れ、郷土のよさを再発見し発信できる人
- ・地域の歴史や文化を学び、郷土愛を育める人
- ・豊かな人間性を涵養し、創造力と感性を育める人

重点施策

- 9 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成【文化財保護課】
- 10 芸術・文化活動の充実【文化観光課】

2. 教育振興基本計画の体系図



平成28年度

伊勢崎市教育行政方針



伊勢崎ふるさと文庫

伊勢崎市教育委員会

***** 基本理念 *****

人口減少・少子高齢社会の進行により人口構成が大きく変化するとともに、グローバル化による人の移動が拡大していく中、経済、環境、社会の統合的な発展に向け、持続可能な社会を創出していくことが求められています。複雑多様化する現代社会の様々な課題に対して、全ての市民が問題意識を持ち、積極的に関わり地域主体でその改善に向け実践することが理想であります。そのための人材育成が今、最も大切になってきています。

伊勢崎市教育委員会は、このような地域社会を実現し、子どもから大人までみんなが笑顔になれるよう、夢や希望、生きがいの実現に向けて“個性を見出し伸ばせる学びの人づくり”を進めます。

***** 基本方針 *****

本市教育委員会は、現代社会の様々な課題に積極的に関わり、持続可能な社会づくりの担い手となる人材として

夢に向かって学び自ら未来を切り拓く たくましく心豊かな子ども
生涯にわたり生きがいを求めて主体的に学び より豊かに生き生きと暮らせる人
郷土の歴史や文化を学び次代に伝承する ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人
を掲げ、基本理念の具現化に努めます。

これらの人材を育成するため幅広い視点から、グローバル教育、環境教育、キャリア教育など関連する様々な分野に総合的に取り組んでいきます（イメージ図）。その具体的手段として、家庭や学校、地域が連携を深め、より広い世代交流の中から、個別にもつ知識や能力等を伝え合う“対話的な学び”の事業展開によって、市民が夢や生きがいを持って学び、その成果を地域や社会に還元できる仕組みづくりを推進します。



伊勢崎市の教育イメージ図

活動づくりの8施策

1 学びの芽生えを大切にす就学前教育の充実

- (1) 地域の人たちとの交流や自然体験・社会体験の実施など、生活や学習の基盤となる力を育む環境づくりを推進します。
- (2) 幼稚園、保育所、小学校との合同授業や研修会の実施により、就学前教育の情報を共有し幼稚園や保育所等から小学校への円滑な接続に努めます。
- (3) 就園ニーズに応じた公立幼稚園の構造的な見直し、子どもたちの健やかな成長を支援する仕組みの構築など、今後の就学前教育のあり方を検討します。

2 子どもの成長に応じた学校教育の充実

- (1) 確かな学力の向上や健康な体づくりのため、知識・技能を活用し考え表現する授業や小中の連続性を重視した英語科授業の充実、将来の生き方を育むキャリア教育の推進など、教育内容の充実に努めます。
- (2) 地域の教育資源を活用し、ふるさと伊勢崎のよさを学ぶ学習や子どもたちの夢づくりを支援する「未来力」学習講座の実施を推進するとともに、地域社会や企業、大学等と連携した教育活動の充実に努めます。
- (3) グローバル人材育成に向けたプログラム等の実施により、国際社会で活躍できる人材を育成するとともに、確かな学力の育成に努めます。

3 子どもの徳育の充実

- (1) 社会性を基盤とした豊かな心の育成のため、温かい学級づくりの推進や子ども主体の活動の充実等により自己有用感や規範意識の向上を図るとともに、いじめや不登校への対策強化に努めます。
- (2) 家庭や地域との連携により情報を共有し、地域の絆で結ばれた住みよい街をつくるために、人権意識の高揚と子どもの健全育成の充実を推進する事業展開により、家庭や地域の教育力を高めます。
- (3) 子どもたちの健やかな成長を支援するため、地域での体験学習の拡充や家庭と地域が連携することからの気づきや学びの発見につながる機会の充実を図ります。

4 安心・安全を大切にした健康教育の充実

- (1) 子どもたちが健康で活力ある生活をおくるために、健康診断事業の充実や学校保健活動の推進を図り、心と体の健康づくりに努めます。
- (2) 安心安全な学校給食の提供と食育に関する情報を発信するとともに、栄養職員による食育指導を充実し、学校と家庭・地域が一体となった食育の推進に努めます。
- (3) 安全に生活するための基本的な知識や危機回避能力を培うための安全学習・安全指導の推進と体制の確立により、学校と家庭・地域が一体となった安全教育に取り組みます。

5 教育環境の整備・充実

- (1) 学習環境の改善や心の教育推進のために、トイレを洋式化へ全面改修し、安心安全な施設整備を推進するための長寿命化対策に取り組みます。また、環境教育の一環としてグリーンカーテンなどのエコ活動に子どもたちと共に取り組みます。
- (2) 教職員の資質向上のため、専門性や指導力の向上を図る研修を充実するなど、学び続ける教員を支援する仕組みの構築に努めます。

6 市民が主役の生涯学習の充実

- (1) 自ら学び、成長し、地域貢献できる人材を育成するために、身近な学びの場を確保し、生涯学習の支援体制を整えます。
- (2) 生涯を通じ学習機会を提供するために、老若男女に応じた教室・講座を開催し、公民館事業の充実を図るとともに公民館が地域・世代・親子の交流の場となるよう努めます。また、まゆドームは体験学習を通じて親子のふれあう機会の充実を図ります。
- (3) 奉仕活動を通して、充実の喜びや社会に役立つ充実感を育成するために、地域ボランティアの養成と支援を通して自発的な奉仕活動を促し、地域の人材の発掘と活用を図ります。

7 読書の街づくりの推進

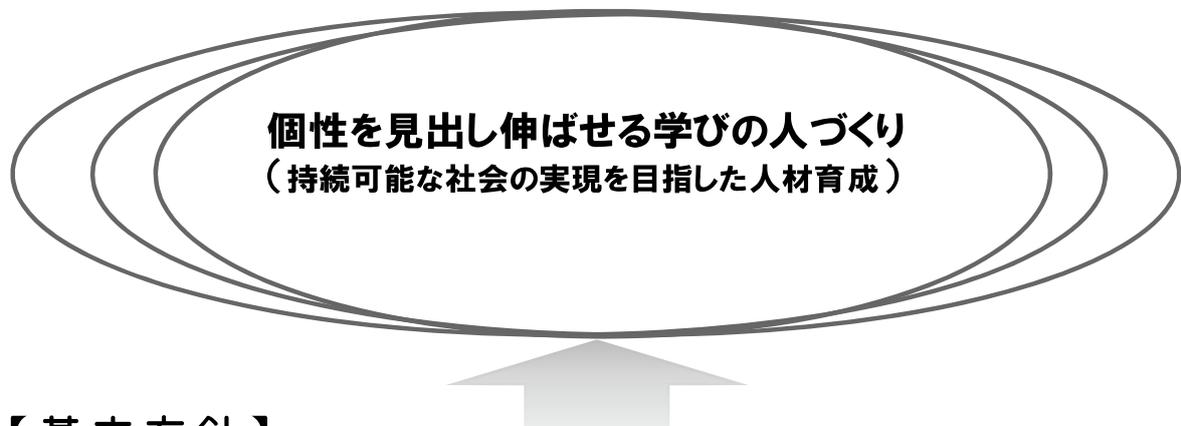
- (1) 読書や活字文化の充実を図るために、学校や家庭・地域に読書活動を普及させ、本との出会い、本を介した仲間づくりなどを通して本に親しむ習慣の定着を図ります。
- (2) 問題解決能力の育成と家族のふれあいや豊かな心を育むために、ライフステージに応じた情報の提供、子育て世代への読書活動の推奨及び市民協働による図書館活動の充実を図ります。
- (3) 図書館と学校図書室の連携により、より効果的な学校図書室の運営を支援し、読書活動の推進を図ります。

8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

- (1) 文化財に親しみ理解を深めてもらうために、民間ホールでの埋蔵文化財展等の開催や歴史文化講座の充実に努めます。
- (2) 郷土の歴史や文化を次代に継承するために、世界遺産田島弥平旧宅等をはじめとする先人が残した地域の歴史遺跡や文化遺産など価値ある文化財を調査、保存に努めます。
- (3) 郷土を愛する心を育むために、地域の伝統芸能の継承活動等を支援します。

平成28年度伊勢崎市教育行政方針体系図

【基本理念】



【基本方針】

市民が夢や生きがいを持って学び、その成果を地域や社会に還元できる仕組みづくりを推進します

社会づくりの担い手となる人材像

夢に向かって学び自ら自ら未来を切り拓く たくましく心豊かな子ども
生涯にわたり生きがいを求めて主体的に学び より豊かに生き生きと暮らせる人
郷土の歴史や文化を学び次代に伝承する ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人



持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の実践

グローバル教育、環境教育、キャリア教育、
伊勢崎ふるさと学習、福祉教育、人権教育、情報教育など



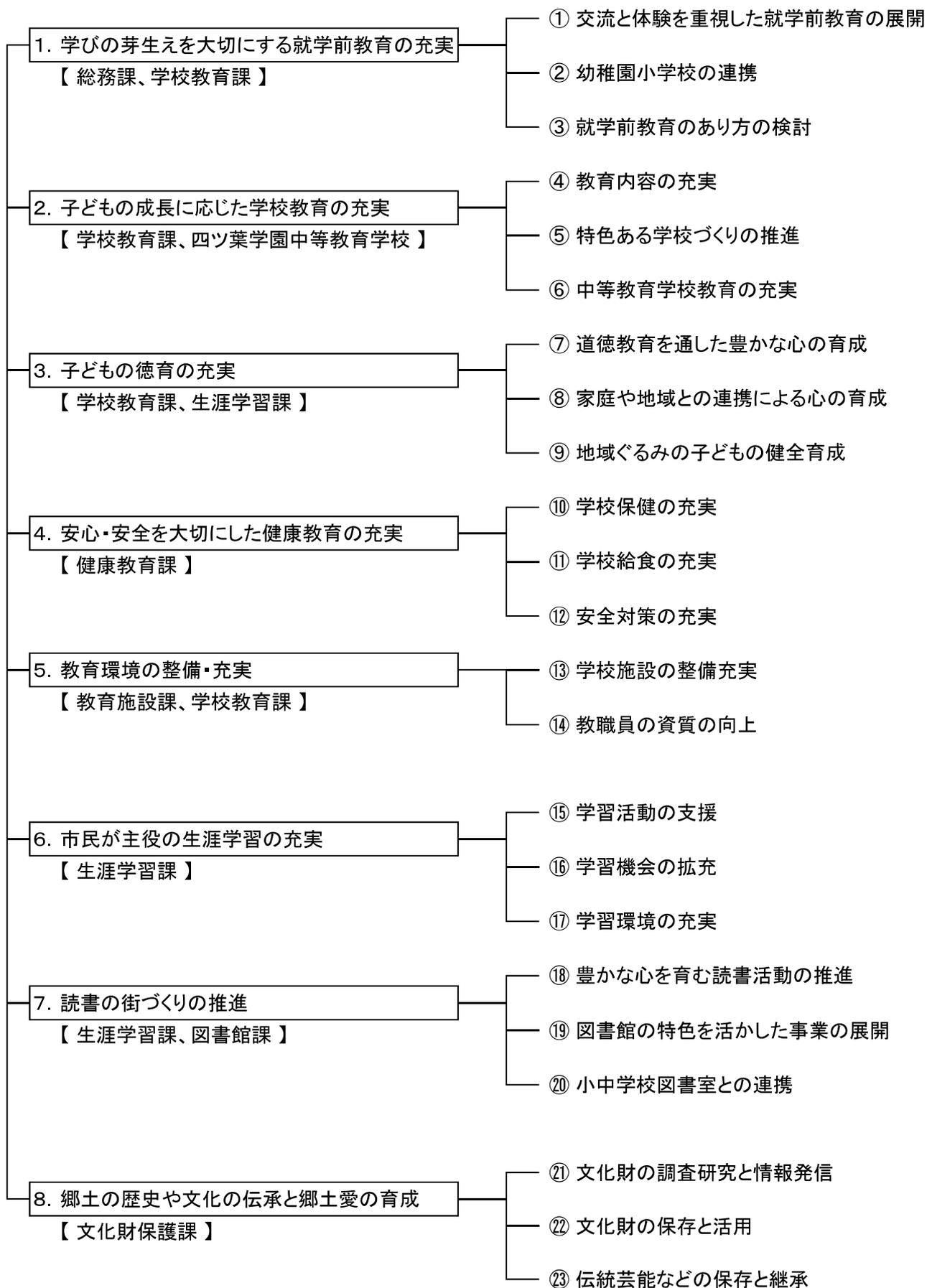
家庭、学校、地域がそれぞれにもつ知識や能力等を 伝え合う対話的な学び



活動づくりの8施策

活動づくりの8施策

事業方針



1 学びの芽生えを大切にする就学前教育の充実

(1) 交流と体験を重視した就学前教育の展開

学校教育課

○保護者との連携による幼稚園教育の充実

- a 日常の活動や季節行事等における保護者と一体となった活動づくりの推進
- b 保護者の幼稚園教育への理解を深めるための積極的な情報発信

学校教育課

○幼稚園でのふたばすくすくプランの充実

- a 地域の教育資源を積極的に活用した「ジョイふるタイム」の実施
 - ・地域の人たちとの交流
 - ・自然体験、社会体験の実施
- b 地域の実態や保護者のニーズを踏まえた「子育てふれあいタイム」の実施
 - ・未就園親子への遊び場の提供
 - ・保護者同士の交流、子育てに関する相談・支援

(2) 幼稚園小学校の連携

学校教育課

○幼小の円滑な接続のための取組

- a 幼稚園での絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動の推進
- b 幼稚園、小学校の合同授業の実施
- c 幼稚園、保育所、小学校の教職員による合同研修会の実施

学校教育課

○就学前教育の情報共有

- a 公立幼稚園と小学校との連携を基にした研究成果を、私立幼稚園及び保育所に情報発信
- b 幼稚園、保育所、小学校合同研修会における情報交換

(3) 就学前教育のあり方の検討

総務課

○公立幼稚園のあり方

- a 就園ニーズを踏まえた3年保育の検討
- b 教育の質を確保（保証）するための適正配置
- c 特別な支援を要する子どもへの対応
- d 私立幼稚園や保育園（所）との連携

総務課

○保健施策との連携

- a 小児検診（視力・聴力）を活用した障害等の早期発見
- b 障害等の早期改善に向けた仕組みづくり



楽しい園庭遊び（南幼稚園）

2 子どもの成長に応じた学校教育の充実

(4) 教育内容の充実

学校教育課

確かな学力の向上

- 「なぜ?」「なるほど!」を大切にした授業
 - a 5W(読む・聞く・考える・書く・話す)を視点とした考え表現する授業の充実
 - b 交流を工夫し、子どもの「なるほど」を引き出す授業の充実
 - c 学んだことを子ども自身が振り返ることができる授業の充実
- 指導体制の充実
 - a 教科分担制の推進
 - b 教師の確かな指導力を高める場の設定
- 考える力の基盤づくり
 - a 発展的・補充的な学習の充実
 - b 子どもが安心できる環境や人間関係づくり

学校教育課

英語コミュニケーション能力の育成

- コミュニケーションを重視した学習の充実
 - a 学習した英語表現を使う楽しさを味わうことができる授業
 - b 外国語指導助手(ALT)等を活用した、ネイティブな音声や表現に触れることができる授業
- 小中9年間の連続性を重視した授業の充実
 - a 「小中一貫英語力向上プログラム」の有効活用
 - b 小学校での教育課程特例校による授業の充実
 - c 中学校での「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく伸ばす授業の充実
- 海外語学研修の実施
 - a 米国ミズーリ州立大学附属語学学校(ELI)での現地研修

学校教育課

家庭学習習慣の定着

- 自ら学ぶ家庭学習習慣の育成
 - a 家庭での学習内容や方法を指導することによる家庭学習の質の向上
 - b 家庭学習の手引きの活用により子どもの自主的な取組の促進

学校教育課

将来の生き方を育む教育の推進

- 学習や体験活動を通じたキャリア教育の推進
 - a 勤労観や職業観を育む仕事調べや職場見学(小学校)、職場体験や奉仕活動等(中学校)の実施
 - b 地域や企業、大学の方々から生き方や社会のしくみ等を学び、自己の生き方を考える「未来力」学習講座の実施

学校教育課

体力の向上

- 健康な体づくりの推進
 - a 体力の状況に即した指導の充実
 - ・全国体力・運動能力、運動習慣等の調査結果の活用
 - b 体育主任会等との連携による体力づくりの啓発
 - ・体力アップメニューや元気っ子体操等の活用
 - ・実態に応じたトレーニング等の工夫
 - c 継続的な体力向上に向けた環境づくり
 - ・業前・業間運動や部活動の活用
 - ・ともに体を動かす仲間づくりの促進



国語の授業(名和小学校)

2 子どもの成長に応じた学校教育の充実

(5) 特色ある学校づくりの推進

学校教育課

地域の教育資源の活用

- 伊勢崎ふるさと学習の推進
 - a 地域の方々との交流や体験活動を通して、ふるさと伊勢崎のよさを学ぶ学習の実施
- 「未来力」学習講座の実施
 - a 全ての学校、学年での意図的・計画的な実施
 - b 子どもたちの夢づくり、目標づくりの支援
- 学校支援ボランティアと協働した教育活動の実施
 - a ボランティアリーダーを核とした組織的教育活動の実施
 - b コミュニティスクールの充実

学校教育課

カリキュラムパートナーのもつ知的資源の活用

- 企業や大学のカリキュラムパートナーと協働した教育活動の実施
 - a 企業や大学の知的資源を活用して、その専門性を生かした質の高い学びを目指した教育活動の実施
- 教育改革・いせさき未来会議の充実
 - a 未来志向で教育改革の方向性を検討、提言

(6) 中等教育学校教育の充実

四ツ葉学園中等教育学校

夢と希望を実現できる学力の育成

- 確かな学力の育成
 - a 英語や数学の少人数学習の実施
 - b 朝・放課後・土曜などの補充学習・発展学習(SUP)の実施
 - c 英語検定・GTEC・TOEFL等の計画的な実施
 - d 進学に向けた課外授業の実施
- 自ら学び自ら律する指導の推進
 - a 生徒自らが自分の言動を考える指導の徹底
 - b 学習や生活等における、生徒が生徒を育てるサポートリーダー制の導入
 - c 「自学」「自律」をねらいにした活動の時間の設置
 - d 「四ツ葉生らしさを考える会」の実施

四ツ葉学園中等教育学校

伊勢崎市から世界を目指すグローバル人材育成

- 海外語学研修の実施
 - a 米国ミズーリ州立大学附属語学学校(ELI)での現地研修
- 海外の大学への留学・進学に向けた具体的な方法の研究
 - a 伊勢崎市とミズーリ州立大学との協定内容の具現化
 - b 海外の大学進学も含めた進路指導や講座の実施
- グローバル人材育成に向けたプログラムの実施
 - a グローバルスタディーズキャンプ
 - ・世界で活躍する日本人講師による特別授業等の実施
 - b 海外グローバルリーダー研修
 - ・米国ミズーリ州立大学附属語学学校(ELI)におけるグローバルリーダープログラムの実施等

四ツ葉学園中等教育学校

企業・大学と連携したキャリア教育の推進

- 生徒の主体性を生かした計画的なキャリア体験学習の推進
 - a 大学や企業と連携し現代社会の最先端の知識や技能に触れる「アカデミックキャンプ」の実施
 - b 地元の企業等で働く社会人へ生徒自らインタビューする「社会人への取材活動」の実施
 - c 首都圏の大学に生徒が直接訪問する「大学突撃取材」の実施
 - d 総合的な学習の時間におけるソーシャルビジネスをテーマにした活動の実施

3 子どもの徳育の充実

(7) 道徳教育を通じた豊かな心の育成

学校教育課**温かい学級づくりの推進**

- 一人一人の子どもを大切にした指導・支援の充実
 - a 子どもの心に寄り添った指導で子どもの自己有用感の育成
 - b 子どもとのふれあいを大切にした教師と子どもの絆づくり

学校教育課**特別支援教育の考え方に基づいた支援の充実**

- 全ての子どもが活躍できる指導・支援の充実
 - a 子どもの特徴や特性に応じ、全ての子どもにわかる授業づくり
 - b 個に応じたきめ細かな支援の充実
- 日本語指導が必要な子どもへの支援の充実
 - a 教育的ニーズに応じた初期対応の充実
 - b 個に応じた継続的な指導の充実

学校教育課**社会性の基盤づくりの推進**

- 豊かな交流活動や体験活動の充実
 - a 励まし合う、支え合う交流活動の充実
 - b 主体的にかかわり合う体験活動の充実
- 生活習慣やモラルの定着
 - a よりよい生活や学習の仕方の指導の充実
 - b 5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を視点にした学校生活の展開
 - c 家庭と連携した情報モラルの育成
- 豊かな人間性の育成
 - a 心のこもったあいさつや言葉づかいの実践
 - b トイレの環境整美を通じたマナーづくりや思いやりの心の育成
 - c 一人一人の個性や立場、考え方などを尊重する心の育成

学校教育課**いじめ・不登校の対策**

- 生徒指導体制の充実
 - a 家庭、地域、関係機関等との緊密な連携を図り、児童生徒の実態や特性に応じたきめ細かな指導を全校体制で実施
 - b スクールカウンセラーや学習生活相談員等の積極的な活用
- 適応指導教室の活用推進
 - a 個別の学習指導による基礎学力の補充
 - b スポーツ活動等による集団生活への適応
- サポートケース会議の活用推進
 - a 臨床心理士等による不登校児童生徒の自立及び学校復帰への支援



整頓されている自転車置場（宮郷中学校）

3 子どもの徳育の充実

(8) 家庭や地域との連携による心の育成

生涯学習課

人権意識の高揚

- 人権問題学習講座等の開催
 - a 地区別人権学習会の充実
 - b 夏休み親子人権学習会の充実
 - c 多様な人権問題学習会等の実施
- 児童生徒作品を活用した人権啓発活動の充実
 - a 人権啓発標語・ポスターの募集・活用
 - ・優秀作品の表彰、展示を通じた人権啓発
 - b 人権啓発カレンダーの作成・配布
 - ・児童生徒作品の紹介を通じた人権啓発

生涯学習課 健康教育課

家庭の教育力の向上

- 情報共有による問題解決の場の提供
 - a 家庭教育講演会の実施
 - b 保護者会や家庭訪問、学校通信等の活用
 - c 教育相談の充実
 - d 家庭教育人権教育推進事業の実施
- 食事の重要性の理解と家庭での食生活改善の促進
 - a 給食の試食会や講演会の実施
 - b 家族で「いただきます」の日の推進

生涯学習課

基本的生活習慣の定着

- 基本的生活習慣の確立や地域との絆づくりの促進
 - a 早寝、早起き、朝ごはん運動
 - b 地域と協力したあいさつ運動
- 豊かな感性や情操、思いやりの心を育てる家庭教育の充実
 - a 家族で家読運動

(9) 地域ぐるみの子どもの健全育成

生涯学習課

子どもの健全育成

- 「少年の主張」伊勢崎市大会の開催
 - a 発表者選出に向けた各中学校全生徒の取組の充実
- 放課後子ども教室の拡充
 - a 地域社会の中での学習、多様な体験・活動
 - b 地域住民の参画を得た教室の推進

生涯学習課

協働社会の醸成

- 地域の教育関係団体との連携・協力
 - a 子育て関係団体と協働した事業との連携
 - b 公民館における家庭教育学級事業の実施
 - c 子育てに関する事業等、公民館同士での情報共有



「少年の主張」伊勢崎市大会

4 安心・安全を大切にした健康教育の充実

(10) 学校保健の充実

健康教育課

健康な体と心づくり

- 計画的・組織的な健康管理の徹底
 - a 健康診断事業の充実
 - b 要管理児童生徒へのきめ細やかな対応
 - c 食物アレルギーや感染症、熱中症等の予防対策の徹底
- 学校保健活動の推進
 - a 学校保健計画に基づく活動の推進
 - b 家庭・地域と連携した活動の推進
- 健康教育充実プランの推進
 - a 食育等の保健教育の推進
 - b 系統的な保健教育の充実
(歯科・薬物乱用防止・性)

(11) 学校給食の充実

健康教育課

安心安全な給食づくり

- 学校給食の工夫と充実
 - a 学校参画による食材栽培体験活動の推進
 - b 地場産農作物の利用拡大
 - c 食物アレルギー対応の充実
 - d 衛生管理の徹底
- 栄養教諭・学校栄養職員による食育の推進
 - a 年間指導計画を活用した食に関する指導の充実
 - b 学校給食を活用した指導の充実
 - c 食育の理解を深めるイベント開催
 - d ホームページによる情報提供

(12) 安全対策の充実

健康教育課

安心安全な学校づくり

- 事件・事故災害を想定した安全管理の徹底
 - a 事件、事故災害が発生した場合の児童生徒の安全確保を図る体制の確立と対処要領の作成
 - b 学校職員、児童生徒、保護者、地域、関係機関等が連携した学校施設、校庭、通学路の安全点検の実施
 - c 普通救命講習等、教職員研修を盛り込んだ総合的な学校安全計画の策定と見直し
- 事故発生件数ゼロを目指した安全教育の推進
 - a 教育活動全体を通じた日常的な安全学習の推進
 - b 危機回避能力を培うための日常的な安全指導の徹底



避難訓練（保護者への引き渡し訓練）



学校給食パネル展

5 教育環境の整備・充実

(13) 学校施設の整備充実

教育施設課

- トイレ改修整備
 - a トイレ改修実施設計
 - ・中学校 10 校実施
 - b トイレ改修工事
 - ・小学校 8 校実施予定

- 長寿命化対策
 - a 実施設計
 - ・名和小学校プール改築実施設計
 - ・臨海学校施設改修等工事实施設計
 - b 改築工事
 - ・三郷小学校プール改築工事

- 教育施設振興
 - a 教育用情報機器の計画的な整備
 - b 校務支援システムの導入

(14) 教職員の資質の向上

学校教育課

- 専門性、指導力の向上を図る研修の充実
 - a 学校、幼稚園における校内外研修の充実など、日常的な職務を通して職能成長を図る職場環境づくり
 - b 各種主任、担当等を対象とした、職務の専門性を高めるための市教委主催の研修会の実施
 - c 市教委事務局による学校訪問、園訪問での指導・助言
 - d 市教育研究所における研究事業及び各種研修講座の実施



教職員夏季研修講座

改修されたトイレ



殖蓮第二小学校



茂呂小学校



研究所研修講座

6 市民が主役の生涯学習の充実

(15) 学習活動の支援

生涯学習課

- 生涯学習支援ボランティアまなびい先生事業の充実
 - a 自主企画事業「まなびい塾」の拡充
- 1行政区1楽習の推進
 - a 地域の伝統や文化など特色を生かした学びを通して地域交流の推進
 - b 区役員と生涯学習推進員との連携を図り「出前講座」や「まなびい先生」を活用した身近な学びの確保
- 生涯学習大会の拡充
 - a 学びの楽しさを伝え、地域の学びの輪を広げるため、市民が集い交流の場として生涯学習大会の開催
- 公民館事業等でのボランティア養成講座の開催
 - a おもちやの病院ドクター養成講座
- 公民館のボランティアサークルへの支援
 - a 読み聞かせグループや食生活改善グループ
- 生涯学習支援ボランティアまなびい先生への支援
 - a 自主企画事業における広報活動等

(16) 学習機会の拡充

生涯学習課

- 公民館等での学習機会の充実
 - a 地域の特性を生かし、人と人とのつながりを重視した世代間の交流を目指した教室、講座の開催
 - b 父親の子育て参加を促進する親子参加型の家庭教育講座等の開催
 - c 男性の積極的な参加を促せる教室、講座の開催
 - d 読書の街いせさきを推進する本に親しむ講座の開催
 - e 若者の積極的な参加を促せる特色ある学級、講座の開催
 - f 男女共同参画に関する多様な学習機会の提供
 - g サークル活動の成果発表等の文化祭や作品展等開催への支援
- まゆドーム等での子どもへの学習機会の提供
 - a まゆドーム「親子ふれあい事業」としての自然や環境への興味を促す体験学習の拡充
 - b 「まなびい先生」や講師を活用した地域文化の伝承
 - c 「ふるさと学習」に関連した体験学習の実施

(17) 学習環境の充実

生涯学習課

- 市民ボランティアとの協働による学ぶ機会の充実
 - a 市民の要請に応じた事業
 - b まなびい先生の自主企画事業
 - c いせさき街角文庫の補充・整理
 - d 幼稚園での読み聞かせ
 - e 読書まつりの運営
 - f イベントにおける読み聞かせ

生涯学習課

- 図書館ボランティアとしての協働
 - a 読み聞かせボランティア
 - b イベントボランティア
 - c 書架の整理ボランティア等
- まゆドーム「親子ふれあい事業」におけるボランティアとの協働
 - a 伝承的な事業
 - ・もちつき体験
 - ・お正月遊びをしよう
 - ・豆まき

7 読書の街づくりの推進

(18) 豊かな心を育む読書活動の推進

生涯学習課

本がつなぐ仲間づくりの推進

- 読書サポーター活動の促進
 - a 幼稚園やまゆドーム等での読み聞かせ
 - b 親子でぴよんぴよん事業
 - c 読書まつり等の開催
 - d スキルアップ講座の開催
〈読み聞かせ活動への支援〉
 - e 読書ボランティア交流会の開催
 - f 市民読書サポーターの活動支援
- 読書ボランティアと協働した事業の推進
 - a 読書サポーターネットワーク会議・市民読書サポーターとの連携

生涯学習課

本との出会いの拡充

- 地域ぐるみの読書活動の推進
 - a いせさき街角文庫の充実
 - b 「伊勢崎市親子が推薦する図書101」の推奨
 - c 幼稚園での読み聞かせ
 - d まゆドームでの読み聞かせ
 - e 市民から提供された本の有効活用

生涯学習課

本を媒介とした人とのふれあいの創出

- 「家族で家読を」運動の推進
 - a 親子でぴよんぴよん事業
 - b 読書マラソンカードの活用
 - c 「伊勢崎市親子が推薦する図書101」の推奨
 - d 家族ふれあい読書新聞の募集

(19) 図書館の特色を活かした事業の展開

図書館課

- ライフステージに合わせた課題解決支援サービスの充実
 - a ビジネス支援コーナーの拡充
 - ・仕事に役立つ情報を、関係各機関と連携して提供
 - b 子育て支援コーナーの拡充
 - ・子育てに役立つ情報を、市内の子育て関係機関と連携して提供
- ブックスタートの実施・発展
 - a ブックスタートの実施
 - ・読み聞かせと絵本の配付
 - ・子育て支援のメッセージ伝達
 - b ブックスタートを発展
 - ・親子で参加できる事業
(読み聞かせ、手作り絵本教室等)
- 市民ボランティアの参加と協働
 - a 定期的な活動
 - ・書架の整理
 - ・読み聞かせ (館内・ブックスタート等)
 - b 随時の活動 (イベント等)
 - ・コンサートや朗読会の出演
 - ・講演会の講師
 - ・展示会の開催協力等

(20) 小中学校図書館との連携

図書館課

図書館と学校図書室の連携促進

- 児童・生徒及び先生への支援
 - a システムを利用して児童・生徒から書名でのリクエストを受け付け、本を学校へ配送
 - b システムを利用して先生から授業に沿ったテーマでのリクエストを受け付け、選書した本を学校へ配送
- 臨時学校図書館事務員への支援
 - a 本の選書や整理等を通して、より効果的な学校図書室の運営を支援

8 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

(21) 文化財の調査研究と
情報発信

文化財保護課

- 文化財普及啓発事業の推進
 - a 民間ホールでの埋蔵文化財展の開催
 - b 文化財説明板等の整備及び適正管理
- 佐位郡衙関連遺跡の調査研究の推進
 - a 発掘調査の実施
- 赤堀歴史民俗資料館の充実
 - a 企画展・季節展の充実
 - b 歴史文化講座の充実

(23) 伝統芸能などの保存
と継承

文化財保護課

- 有形・無形民俗文化財の保存と普及啓発事業の推進
 - a 伝統芸能の継承活動などの支援

(22) 文化財の保存と活用

文化財保護課

- 文化財の保存管理
 - a 文化財の点検と保存整備
 - b 郷土文化研究会との連携
- 文化財新規指定の推進
 - a 文化財への新規指定
- 史跡女堀保存整備活用事業の推進
 - a 整備活用基本計画の策定
 - b 調査整備委員会の開催
- 田島弥平旧宅保存整備活用事業の推進
 - a 史跡整備活用の推進
 - b 調査整備委員会の開催
 - c 史資料調査等の実施
- 世界遺産の環境整備
 - a 来訪者対応の充実
 - b 周辺環境の整備
 - c 案内所の充実
- 史跡上野国佐位郡正倉跡保存整備活用事業の推進
 - a 保存活用計画の策定
 - b 調査整備委員会の開催

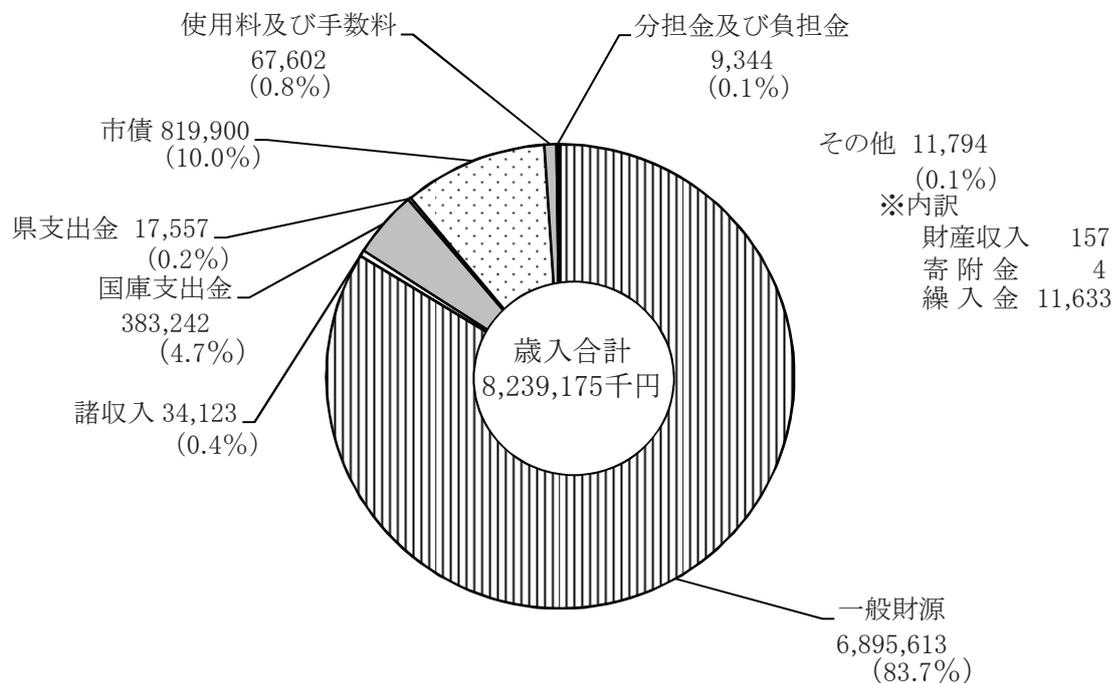


合同遺跡報告会

平成28年度教育費に係る一般会計予算

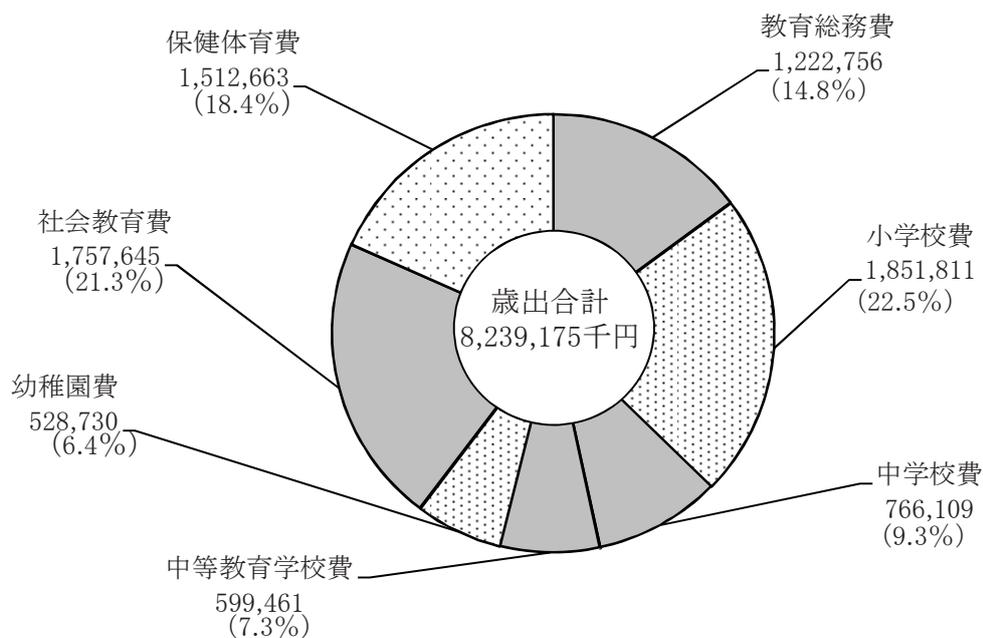
歳入

(単位:千円)



歳出 (給与等を除く)

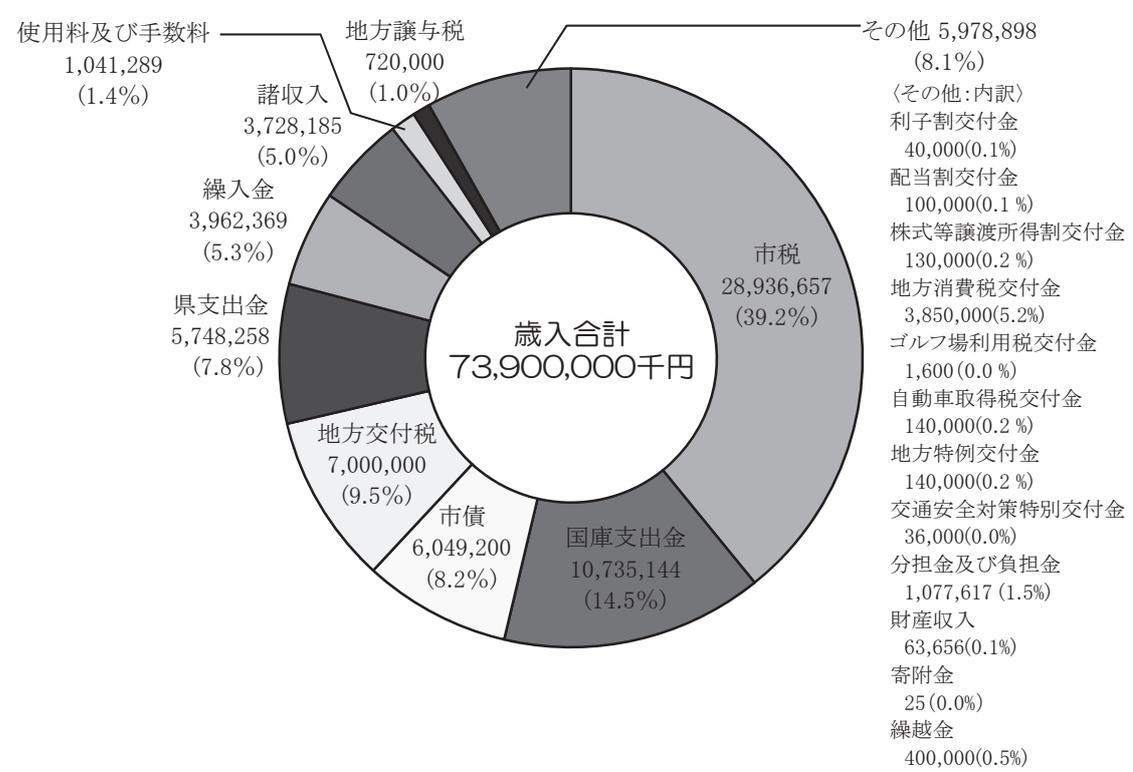
(単位:千円)



平成28年度伊勢崎市一般会計予算

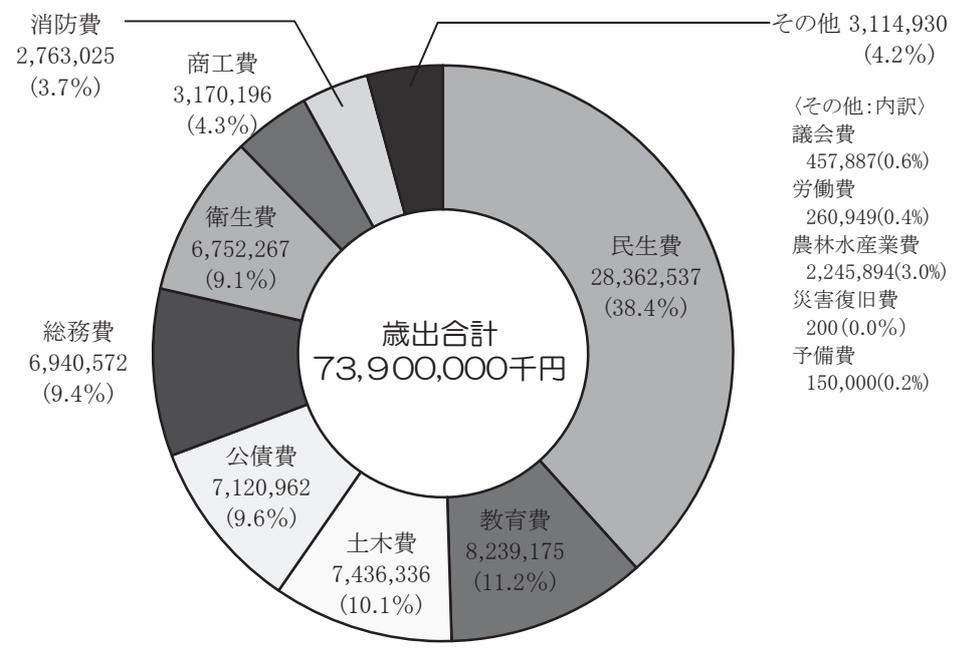
歳入

(単位:千円)



歳出

(単位:千円)



平成28年度 教育費項目別予算

項 目	年 度		平成28年度(A)		平成27年度(B)		比較 (A)-(B)	前年度比 (A) / (B)	平成27年度 決算見込額
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比					
1 教育総務費	千円 1,222,756	% 14.85	千円 1,324,906	% 14.72	千円 -102,150	% 92.29	千円 1,274,347		
1 教育委員会費	4,740	0.06	4,815	0.05	-75	98.44	4,252		
2 事務局費	843,035	10.23	947,398	10.53	-104,363	88.98	897,042		
3 教育指導費	302,204	3.67	303,142	3.37	-938	99.69	306,786		
4 教育研究所費	45,066	0.55	39,178	0.43	5,888	115.03	39,444		
5 臨海学校費	27,711	0.34	30,373	0.34	-2,662	91.24	26,823		
2 小学校費	1,851,811	22.48	2,326,603	25.86	-474,792	79.59	2,110,331		
1 学校管理費	1,379,935	16.75	1,947,757	21.65	-567,822	70.85	1,739,803		
2 教育振興費	325,376	3.95	373,346	4.15	-47,970	87.15	365,322		
3 学校建設費	146,500	1.78	5,500	0.06	141,000	0.00	5,206		
3 中学校費	766,109	9.30	595,335	6.62	170,774	128.69	636,156		
1 学校管理費	368,983	4.48	372,577	4.14	-3,594	99.04	430,773		
2 教育振興費	267,126	3.24	213,258	2.37	53,868	125.26	199,194		
3 学校建設費	130,000	1.58	9,500	0.11	120,500	1368.42	6,189		
4 中等教育学校費	599,461	7.27	703,578	7.82	-104,117	85.20	675,516		
1 中等教育学校総務費	472,489	5.73	467,944	5.20	4,545	100.97	452,548		
2 学校管理費	91,426	1.11	199,492	2.22	-108,066	45.83	189,297		
3 教育振興費	35,546	0.43	36,142	0.40	-596	98.35	33,671		
5 幼稚園費	528,730	6.42	1,078,728	11.99	-549,998	49.01	1,027,334		
1 幼稚園費	528,730	6.42	870,728	9.68	-341,998	60.72	819,812		
2 学校建設費	0	0.00	208,000	2.31	-208,000	0.00	207,522		
6 社会教育費	1,757,645	21.32	1,403,305	15.60	354,340	125.25	1,314,420		
1 社会教育総務費	1,091,955	13.25	890,378	9.90	201,577	122.64	824,755		
2 公民館費	243,321	2.95	187,899	2.09	55,422	129.50	193,468		
3 図書館費	198,772	2.41	165,736	1.84	33,036	119.93	144,042		
4 青少年対策費	24,185	0.29	22,805	0.25	1,380	106.05	20,864		
5 文化財保護費	199,412	2.42	136,487	1.52	62,925	146.10	131,291		
7 保健体育費	1,512,663	18.36	1,564,382	17.39	-51,719	96.69	1,490,519		
1 保健体育総務費	1,031,261	12.52	1,169,175	13.00	-137,914	88.20	1,085,215		
2 体育施設費	481,402	5.84	395,207	4.39	86,195	121.81	405,304		
計	8,239,175	100.00	8,996,837	100.00	-757,662	91.58	8,528,623		

教育費年度別決算額一覽

項 目	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (見込み)
		千円	千円	千円	千円
1 教育総務費		1,230,035	1,218,211	1,355,788	1,274,347
1 教育委員会費		4,542	4,398	4,361	4,252
2 事務局費		885,971	872,438	975,142	897,042
3 教育指導費		284,166	284,777	309,779	306,786
4 教育研究所費		35,399	34,675	38,764	39,444
5 臨海学校費		19,957	21,923	27,742	26,823
2 小学校費		2,117,429	1,235,516	1,694,773	2,110,331
1 学校管理費		1,715,894	953,865	1,427,702	1,739,803
2 教育振興費		271,536	281,651	267,071	365,322
3 学校建設費		129,999	0	0	5,206
3 中学校費		2,003,927	1,367,066	3,393,726	636,156
1 学校管理費		985,751	407,346	662,549	430,773
2 教育振興費		227,743	191,352	191,941	199,194
3 学校建設費		790,433	768,368	2,539,236	6,189
4 中等教育学校費		214,544	308,706	548,912	675,516
1 中等教育学校総務費		190,873	273,005	454,101	452,548
2 学校管理費		9,758	19,948	64,401	189,297
3 教育振興費		13,913	15,753	30,410	33,671
5 幼稚園費		516,480	534,990	547,169	1,027,334
1 幼稚園費		516,480	534,990	538,950	819,812
2 学校建設費		0	0	8,219	207,522
6 社会教育費		1,190,759	1,292,959	1,545,051	1,314,420
1 社会教育総務費		843,932	843,820	895,345	824,755
2 公民館費		122,571	142,430	333,160	193,468
3 図書館費		137,131	175,575	198,956	144,042
4 青少年対策費		22,149	20,867	22,392	20,864
5 文化財保護費		64,976	110,267	95,198	131,291
7 保健体育費		1,613,758	1,772,682	1,503,574	1,490,519
1 保健体育総務費		1,025,750	1,034,657	1,086,256	1,085,215
2 体育施設費		588,008	738,025	417,318	405,304
特別支援学校費		85,987	1,212	1,524	0
学校管理費		78,126	0	0	0
教育振興費		7,861	1,212	1,524	0
高等学校費		329,328	250,489	0	0
高等学校総務費		273,118	198,469	0	0
高等学校管理費		39,429	36,887	0	0
教育振興費		16,781	15,133	0	0
計		9,302,247	7,981,831	10,590,517	8,528,623

Ⅱ 教育施設



あずま幼稚園の改築工事



小学校のトイレ改修工事（殖蓮第二小学校）



宮郷中学校の天井改修工事



赤堀小学校の耐震補強工事

教育施設一覽

1 幼稚園

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男 人	女 人	計 人	教 員		
							男 人	女 人	計 人
第 一 幼 稚 園	曲輪町24番26号	明治23年 5月12日	2	17	22	39	0	5	5
南 幼 稚 園	上泉町116番地	昭和18年11月 1日	2	10	10	20	0	3	3
殖 蓮 幼 稚 園	上植木本町2740番地2	昭和25年 9月 1日	3	23	47	70	(1)	4	5
茂 呂 幼 稚 園	茂呂町二丁目2139番地1	昭和25年 6月21日	2	6	11	17	0	3	3
三 郷 幼 稚 園	波志江町1067番地	昭和30年 4月 1日	2	17	13	30	(1)	3	4
宮 郷 幼 稚 園	田中島町1486番地8	昭和31年 4月 1日	3	19	33	52	0	4(1)	5
名 和 幼 稚 園	堀口町260番地	昭和47年 4月 1日	2	11	14	25	(1)	3	4
豊 受 幼 稚 園	下道寺町163番地	昭和46年 4月 1日	2	4	8	12	0	3	3
あ か ぼ り 幼 稚 園	西久保町二丁目100番地	昭和50年 4月 1日	4	32	40	72	0	7	7
あ ず ま 幼 稚 園	東町2672番地1	昭和44年 4月 1日	3	28	51	79	0	6	6
合 計			25	167	249	416	3	41(1)	45

2 小学校

北 小 学 校	曲輪町28番24号	明治 6年 6月 9日	20	242	222	464	15	19	34
南 小 学 校	上泉町310番地	昭和 5年 4月 1日	15	177	180	357	7	16	23
殖 蓮 小 学 校	上植木本町2763番地	明治 6年11月 2日	22	346	281	627	12	18	30
茂 呂 小 学 校	茂呂町二丁目2169番地1	明治 6年11月 5日	29	359	390	749	14	25	39
三 郷 小 学 校	波志江町1620番地	明治 7年 2月28日	24	346	331	677	14	18	32
宮 郷 小 学 校	田中島町1475番地4	明治17年11月 6日	30	408	411	819	13	27	40
名 和 小 学 校	堀口町502番地1	明治 7年 2月	18	231	239	470	7	18	25
豊 受 小 学 校	馬見塚町1130番地	明治 7年 4月 7日	21	290	291	581	9	20	29
北 第 二 小 学 校	宗高町125番地	昭和50年 1月 1日	10	106	93	199	7	9	16
殖 蓮 第 二 小 学 校	下植木町1203番地	昭和53年 1月 1日	18	244	194	438	11	14	25
広 瀬 小 学 校	新栄町4074番地1	昭和54年 1月 1日	24	292	279	571	11	24	35
坂 東 小 学 校	除ヶ町422番地	昭和57年 4月 1日	20	231	260	491	10	18	28
宮 郷 第 二 小 学 校	連取町3069番地1	平成13年 4月 1日	30	399	400	799	15	26	41
赤 堀 小 学 校	西久保町一丁目72番地	昭和22年 4月 1日	24	349	281	630	13	22	35
赤 堀 南 小 学 校	堀下町264番地1	平成 3年 4月 1日	22	311	286	597	10	19	29
赤 堀 東 小 学 校	香林町一丁目260番地2	平成12年 4月 2日	16	180	212	392	8	16	24
あ ず ま 小 学 校	東町2770番地	明治 6年 7月15日	20	261	278	539	10	22	32
あ ず ま 南 小 学 校	三室町4290番地	昭和56年 4月 1日	22	337	283	620	12	17	29
あ ず ま 北 小 学 校	国定町二丁目1627番地	昭和62年 4月 1日	18	247	248	495	10	14	24
境 小 学 校	境515番地	明治 7年 3月 1日	14	190	172	362	12	12	24
境 采 女 小 学 校	境下淵名2020番地	明治22年 4月 1日	16	177	224	401	9	14	23
境 剛 志 小 学 校	境下武士831番地	明治 6年11月20日	14	182	181	363	8	12	20
境 東 小 学 校	境米岡253番地2	昭和32年11月 1日	14	182	159	341	9	11	20
合 計			461	6,087	5,895	11,982	246	411	657

3 中学校

第 一 中 学 校	茂呂町一丁目24番地1	昭和40年 4月 1日	17	271	270	541	18	15	33
第 二 中 学 校	堀口町237番地1	昭和42年 4月 1日	20	299	301	600	23	15	38
第 三 中 学 校	波志江町1903番地1	昭和46年 4月 1日	22	369	324	693	26	16	42
第 四 中 学 校	下道寺町26番地	昭和59年 4月 1日	19	304	288	592	24	13	37
殖 蓮 中 学 校	上植木本町2152番地2	昭和22年 4月29日	20	281	290	571	24	15	39
宮 郷 中 学 校	田中島町1065番地	昭和22年 4月29日	24	422	400	822	28	18	46
赤 堀 中 学 校	西久保町二丁目329番地1	昭和22年 4月 1日	25	406	393	799	27	19	46
あ ず ま 中 学 校	東町2707番地2	昭和22年 4月29日	25	404	406	810	26	20	46
境 北 中 学 校	境下淵名2011番地1	昭和22年 1月 1日	7	133	73	206	10	5	15
境 西 中 学 校	境下武士872番地2	昭和22年 4月29日	10	114	119	233	11	9	20
境 南 中 学 校	境188番地	昭和39年 4月 1日	11	173	157	330	14	9	23
合 計			200	3,176	3,021	6,197	231	154	385

平成28年5月1日現在

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
0	0	0	(1)	0	6	3,251	1,045		
0	0	0	(1)	0	4	3,409	849		
0	0	0	1	0	6	4,254	681		
0	0	0	(1)	0	4	3,966	592		
0	0	0	(1)	0	5	1,733	370		
0	0	0	(1)	0	6	3,400	904		
0	0	0	(1)	0	5	3,653	689		
0	0	0	(1)	0	4	5,435	748		
0	0	0	(1)	0	8	4,781	965		
0	0	0	(1)	0	7	7,823	976		
0	0	0	1(9)	0	55	41,705	7,819		

1	0	1	(1)	0	36	23,697	7,421	1,053	
1	0	1	(1)	0	25	26,101	5,204	900	
1	0	1	(2)	0	33	28,059	6,343	2,222	
1	0	1	(2)	0	42	24,705	5,853	895	
1	0	1	(2)	2	37	32,168	5,168	900	
1	0	1	(2)	0	43	29,482	6,060	910	
1	0	1	(1)	0	27	32,188	5,405	891	
1	0	1	(2)	0	32	34,284	5,700	891	
1	0	1	(1)	0	18	16,513	3,685	760	
1	0	1	(1)	0	27	33,319	5,319	870	
1	0	1	(2)	0	38	31,800	6,478	868	
1	0	1	(1)	0	30	32,999	5,022	900	
2	0	2	(2)	0	45	31,802	7,351	1,393	
1	0	1	(2)	0	38	16,122	4,949	844	
1	0	1	(1)	0	31	18,788	4,543	924	
1	0	1	1	2	28	28,223	4,559	1,116	
1	0	1	(1)	2	36	28,439	5,231	965	
1	0	1	1(1)	0	32	27,596	4,765	898	
1	0	1	1	0	26	26,478	4,305	908	
1	0	1	1	0	26	25,191	4,905	1,008	
1	0	1	(1)	1	26	22,416	4,674	1,100	
1	0	1	(1)	0	22	15,406	4,395	750	
1	0	1	(1)	0	22	15,323	4,090	746	
24	0	24	4(28)	7	720	601,099	121,425	22,712	

1	0	1	(1)	0	35	38,323	6,128	1,442	
2	0	2	(1)	2	43	48,551	7,715	1,450	
1	0	1	(1)	0	44	38,385	6,381	1,484	
1	0	1	(1)	0	39	43,976	7,602	1,450	
2	0	2	(1)	0	42	38,919	6,824	1,450	
2	0	2	(1)	0	49	50,727	6,996	1,559	
2	0	2	(1)	0	49	45,312	9,410	1,891	平成27年4月1日移転
2	0	2	(1)	0	49	36,339	8,832	1,495	
1	0	1	(1)	0	17	30,857	4,283	1,179	
1	0	1	(1)	0	22	26,385	3,627	1,159	
1	0	1	(1)	1	26	29,306	5,598	1,205	
16	0	16	(11)	3	415	427,080	73,396	15,764	

()内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

4 中等教育学校

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男	女	計	教 員		
				人	人	人	男	女	計
四ッ葉学園中等教育学校	上植木本町1702番地1	平成21年 4月 1日	24	365	390	755	49	21	70

5 教育研究所

区 分	所 在 地	設 置 (建 物) 年 月 日	敷 地 面 積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)
伊勢崎市教育研究所	鹿島町581番地1	昭和58年 4月 1日	2,515.46	929.19

6 臨海学校

伊勢崎市臨海学校	新潟県長岡市寺泊田ノ尻603番地	昭和48年5月31日	4,165.90	1,780.51
----------	------------------	------------	----------	----------

7 学校給食センター

第一学校給食調理場	堀口町500番地1	昭和45年12月	6,960.15	1,597.06
第二学校給食調理場	安堀町240番地	平成 5年 4月	6,797.00	1,948.36
赤堀学校給食調理場	西久保町二丁目74番地	昭和57年 4月	学校内	717.33
あずま学校給食調理場	田部井町二丁目689番地	昭和56年 4月	3,337.00	965.00
境第一学校給食調理場	境米岡272番地4	平成 9年 4月	2,027.87	675.00
境第二学校給食調理場	境下瀨名787番地	平成10年 4月	3,880.00	873.65

8 公民館等

北 公 民 館	平和町27番32号	昭和45年 6月20日	2,806.79	951.77
南 公 民 館	上泉町619番地1	平成 7年 4月 1日	4,194.49	525.96
殖 蓮 公 民 館	上植木本町2760番地	平成16年 3月22日	4,854.00	768.69
茂 呂 公 民 館	美茂呂町3032番地7	昭和62年 3月25日	3,334.72	513.05
三 郷 公 民 館	波志江町1029番地	平成 8年 3月29日	3,962.00	755.02
宮 郷 公 民 館	田中島町1164番地	昭和47年 3月31日	4,083.61	778.38
名 和 公 民 館	堀口町492番地	昭和55年 3月25日	5,317.24	509.36
豊 受 公 民 館	馬見塚町1296番地	昭和48年 3月25日	3,573.19	726(本館495,別館231)
赤 堀 公 民 館	西久保町二丁目81番地	昭和54年 2月28日	6,918.16	2,397.08
あ ず ま 公 民 館	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	3,428.70	1,563.48
境 公 民 館	境598番地 1	平成27年2月16日	8,729.14	769.04
境 采 女 公 民 館	境下瀨名2023番地1	昭和54年 2月28日	1,378.01	770.85
境 剛 志 公 民 館	境下武士862番地3	平成元年 3月17日	1,665.75	642.91
境 島 村 公 民 館	境島村2720番地	平成 6年 4月 8日	3,141.00	552.11
境 東 公 民 館	境米岡764番地1	平成 5年 4月 6日	2,410.00	758.75
広 瀬 生 涯 学 習 館	ひろせ町4080番地5	平成13年 4月 1日	3,001.00	770.25
あ ず ま ホ ー ル	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	1,210.10	1,229.57

9 集会所

今 井 町 集 会 所	今井町215番地1	平成26年10月31日	1,622.21	171.48
道 伝 集 会 所	山王町1484番地1	昭和50年 3月10日	803.00	168.00
宮 子 町 集 会 所	宮子町1713番地6	昭和52年 3月20日	982.00	336.00
柴 町 集 会 所	柴町953番地42	昭和52年 3月31日	1,038.00	165.00
連 取 町 集 会 所	連取町582番地2	昭和54年 3月25日	463.85	161.00
三 室 町 集 会 所	三室町6146番地1	昭和53年 3月 1日	877.30	149.00

10 青少年育成センター

青少年育成センター	波志江町2237番地6	平成18年 4月 1日	14,165.80	2,189.62
-----------	-------------	-------------	-----------	----------

11 図書館

伊勢崎市図書館	曲輪町22番21号	大正10年 4月11日	6,005.16	2,657.98
赤 堀 図 書 館	西久保町二丁目82番地1	平成 7年 4月 1日	7,308.60	400.50
あ ず ま 図 書 館	田部井町三丁目2901番地1	平成11年 4月 1日	4,790.21	1,837.85
境 図 書 館	境724番地1	昭和38年 8月 1日	4,582.81	1,433.90
境 絹 の 館	境724番地1	昭和61年 4月 1日	-	320.20

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
1	6	7	2(1)	0	80	59,681	7,461	4,021	※面積は市立高校に含む。

備 考
教科書センター併設

収容人数 220人

給食能力	副食	9,000食
"	副食	9,000食
"	副食	約2,500食
"	副食	約2,700食
"	副食	約2,000食
"	副食	約3,000食

対象地区人口(平成28年4月1日現在)	9,648 人
"	7,355 人
"	21,329 人
"	17,362 人
"	14,383 人
"	26,985 人
"	17,510 人
"	18,645 人
"	23,142 人
"	25,817 人
"	6,426 人
"	8,519 人
"	6,835 人
"	1,263 人
"	6,435 人
対象外地区人口	
"	

敷地は借地

建物面積(本館 1340.64㎡、プレイホール 794.98㎡ 野外炊事場 54.00㎡)

新築移転(昭和52年3月1日)
赤堀芸術文化プラザとの複合施設
新築(平成11年3月30日)
新築移転(昭和61年6月8日)
境図書館と同敷地

12 文化施設

区 分	所 在 地	設置(建物)年月日	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)
文 化 会 館	昭和町3918番地	昭和56年 4月 1日	27,047.00	6,696.88
赤堀芸術文化プラザ	西久保町二丁目82番地1	平成 2年 9月15日	7,308.60	2,581.70
境総合文化センター	境木島818番地	平成 8年 5月24日	28,461.45	5,515.39

13 赤堀歴史民俗資料館

赤堀歴史民俗資料館	西久保町二丁目98番地	昭和60年 4月 1日	1,925.00	1,192.72
-----------	-------------	-------------	----------	----------

14 青少年指導センター

青少年指導センター	昭和町1712番地2	昭和43年11月11日		33.75
-----------	------------	-------------	--	-------

15 体育施設

市 民 体 育 館	堤西町93番地	昭和54年10月	7,750.00	8,966.54
第 二 市 民 体 育 館	乾町75番地5	昭和47年 3月	3,972.00	2,199.00
庭 球 場	堤西町116番地	昭和60年 3月	9,855.50	1,274.71
野 球 場	堤西町41番地	平成10年 3月	17,323.00	3,160.00
陸 上 競 技 場	堤西町121番地	昭和43年 4月	39,000.00	4,612.18
ソフトボール場	堤西町39番地	昭和57年 3月	7,036.00	1,059.94
第二グラウンド	堤西町39番地	昭和57年 3月	5,098.00	
補助競技場	堤西町76番地	昭和63年 3月	11,191.00	
弓道場	堤西町141番地	平成 2年 3月	3,642.00	253.16
相撲場	堤西町7番地	平成 2年 8月	600.00	
市民プール	堤西町114番地	昭和46年 6月	7,781.62	1,242.24
赤堀体育館	西久保町二丁目81番地	昭和55年 5月	6,707.00	1,893.85
赤堀剣道場	西久保町一丁目乙64番地	昭和48年 1月	1,445.25	313.65
赤堀中央運動場野球場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	13,220.00	
赤堀中央運動場テニス場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	2,998.00	
あかぼり運動公園テニス場	西久保町二丁目334番地3	平成14年 7月	5,023.00	管理棟 103.90
あかぼり運動公園球技場	西久保町二丁目334番地3	平成16年 3月	6,277.50	
赤堀西部スポーツ公園野球場	下触町873番地1	平成 4年 8月	11,907.00	
赤堀西部スポーツ公園多目的広場	下触町873番地1	平成 4年 8月	6,058.00	
赤堀西部スポーツ公園ゲートボール場	下触町873番地1	平成 4年 8月	892.00	
赤堀西部スポーツ公園テニス場	下触町873番地1	平成 4年 8月	1,875.00	
赤堀香林運動公園	香林町二丁目1291番地6	昭和57年10月	12,457.00	
赤堀グラウンドゴルフ場	五日牛町104番地10	平成13年 3月	10,623.60	
赤堀コミュニティひろば	西久保町二丁目95番地	昭和61年 4月	17,055.00	
あずま体育館	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	5,059.65	2,150.24
あずま総合公園テニスコート	田部井町三丁目2091番地	平成元年 3月	2,797.00	
あずまスタジアム	田部井町三丁目1908番地	平成 6年10月	15,502.75	1,229.00
あずまサブスタジアム	田部井町三丁目1913番地1	平成 8年 3月	9,720.85	117.14
あずま弓道場	田部井町三丁目1905番地1	平成 6年10月	645.00	322.95
あずま総合運動場	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	17,320.10	69.30
三室西公園運動場	三室町6202番地	昭和57年 3月	10,023.00	20.30
三室西公園スケートボード場	三室町6202番地	平成18年 3月	1,947.00	
あずまゲートボール場	国定町二丁目2328番地1	平成 7年 4月	6,465.00	
つつみ公園グラウンドゴルフ場	国定町二丁目1940番地	平成11年 3月	7,406.00	8.16
あずまサッカースタジアム	東小保方町3236番地1	平成 8年10月	9,849.00	364.00
あずまウォーターランド	田部井町三丁目340番地	平成10年 5月	8,224.00	2,256.98
西小保方沼公園グラウンドゴルフ場	西小保方町692番地	平成28年3月	21,762.75	便所、倉庫外74.1
境体育館	境609番地1	昭和52年 2月	2,414.00	1,355.95
境武道館	境萩原1750番地2	平成 2年 3月	2,233.52	1,224.20
境いよく野球場	境伊与久3105番地	昭和52年 4月	9,300.00	
境いよくテニス場	境伊与久3105番地	昭和53年 6月	3,920.00	
境弓道場	境木島823番地	平成 9年 3月	4,808.49	208.76
境総合運動場	境上武士846番地	平成元年 5月	30,200.00	本部棟 200.00
境上武公園野球場	境上矢島678番地	昭和50年11月	8,700.00	
境上武公園テニス場	境上矢島678番地	昭和50年11月	1,600.00	
境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 4年 3月	10,238.00	
境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 7年 3月	5,120.00	
利根川河川境運動場	境平塚1073番地	昭和47年 4月	18,139.00	
境矢ノ原公園運動場	境東新井1048番地24	平成 2年 3月	7,140.00	
ラグビー場	境島村3454番地297	平成22年 5月	17,654.00	
境プール	境下武士853番地3	昭和57年 6月	5,500.00	管理棟 291.00

備 考
大ホール固定席 1,440 席、車椅子席 6席、母子席 8席、立見 76人 小ホール固定席 494席、立見 56人
ホール固定席 511席
大ホール固定席 708席、車椅子席 4席、小ホール移動席 208席

展示室2室、復元民家、研修室

平成11年4月1日、旧市立女子高校跡地へ移転

1F トレーニング室、小体育室(卓球10台・ボクシング)、剣道場、柔道場、会議室 2F メインフロア バスケットボールコート3面(バレーボール3面・バドミントン12面・テニス3面・外5種目競技可能)、3F ジョギングコース1周210m
バレーボール2面・外4種目競技可能
1,200人収容 人工クレイコート12面 夜間照明12基
硬式野球 内野3,200人・外野6,800人収容 両翼98m・センター122m ラバーフェンス 夜間照明6基
5,000人収容 公認二種 400mトラック(8コース)
1,334人収容 両翼・センター70m 夜間照明4基
ソフトボール場 両翼・センター70m
300mトラック(5コース)・ソフトボール2面・サッカー 100m×65m 1面
近的6人立
2面
公認50m(9コース)、25m(7コース)、流水120m、スライダー(ループ、ストレート)、子供プール、スライダープール
バスケットボール2面(バレーボール2面・バドミントン6面・テニス1面)、柔道場
1面
軟式野球 両翼90m 椅子席70 夜間照明7基
テニス 全天候2面、クレイ2面 夜間照明6基
人工芝8面(4面 夜間照明15基)
少年野球1面、フットサル2面 夜間照明6基
軟式野球 両翼90m・センター110m
多目的広場(サッカー1面)
ゲートボール2面
全天候3面
軟式野球 両翼88m
天然芝16ホール、東屋
300mトラック(6コース) クレー舗装
1F バスケットボール2面(バレーボール3面・バドミントン6面・テニス1面)、2F ギャラリー 卓球6台
人工芝2面、クレイ2面 夜間照明18基
硬式野球 両翼98m・センター122m 内野1,200人・外野2,300人収容 夜間照明6基
軟式野球 両翼85m・センター114m
近的6人立ち28m、遠的3人立ち60m
軟式野球2面・ソフトボール4面他 夜間照明14基
少年野球・ソフトボール1面、ゲートボール
スケートボード・インラインスケート・BMX
ゲートボール・グラウンドゴルフ
天然芝16ホール
人工芝 105m×68m 1面(少年用(72m×50m)2面) スタンド約300人収容 夜間照明4基
25m(6コース)、幼児用プール、スライダー、屋外プール、サウナ室 2F トレーニングルーム
常設グラウンドゴルフ場1面(8ホール×3コース)、多目的使用エリア、駐車場(2634.2㎡:102台)
バレーボール2面(バスケットボール1面・バドミントン3面)、卓球室、トレーニングルーム
剣道場2面(競技場面積466㎡)、柔道場2面(競技場面積476㎡)
軟式野球 レフト85m・ライト86m・センター98m 夜間照明6基
人工芝4面 夜間照明4基
近的6人立
400mトラック(8コース)・ソフトボール4面・サッカー100m×70m 1面 夜間照明14基
軟式野球 レフト80m・ライト80m・センター100m
クレイ4面
天然芝16ホール(セパレート)、ターゲットバードゴルフ場
天然芝16ホール(フラット)
ソフトボール・少年野球
軟式野球 レフト78m・ライト72m・センター90m
天然芝7,696㎡
流水プール、幼児用プール、スライダープール、スライダー

平成27年度施設建設等主要事業

実施した校舎建設等の主要事業は、次のとおりです。

(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
北第二小学校外プールろ過機五方弁改修工事	北第二小学校及び赤堀東小学校において老朽化したプールろ過機周辺機器の交換を行う工事	11,340,000				11,340,000
殖蓮小学校南校舎教室等梁クラック改修工事	南校舎教室内等の梁を補修する工事	13,392,000				13,392,000
赤堀南小学校空調設備改修工事	職員室、視聴覚室等の老朽化した空調設備を改修する工事	10,044,000				10,044,000
名和小学校放送設備外改修工事	経年劣化により不具合が生じている放送設備等を改修する工事	10,497,600				10,497,600
あずま南小学校プール水槽塗装改修工事	ステンレスプール水槽の塗替えをする工事(大プール 542.7㎡) (小プール 161.2㎡)、スタート台撤去、遮光ネット設置	9,115,200				9,115,200
宮郷小学校インターホン設置工事	インターホンの設置を行う電気通信工事	7,452,000				7,452,000
坂東小学校非常用放送設備及びインターホン改修工事	非常用放送設備及びインターホン設備の改修工事	6,264,000				6,264,000
南小学校外9校体育館照明器具落下防止対策工事	南小学校外9校の体育館照明器具の落下防止対策を行う工事	6,253,200				6,253,200
北小学校外8校体育館照明器具落下防止対策工事	北小学校外8校の体育館照明器具の落下防止対策を行う工事	5,315,760				5,315,760
南小学校非常用放送設備外交換工事	非常用放送設備と体育館音響設備の改修を行う電気通信工事	5,270,400				5,270,400
あずま南小学校音楽室床改修工事	あずま南小学校音楽室の床を改修する工事	4,527,360				4,527,360
南小学校外9校遊具・体育器具改修工事	南小学校外9校の遊具等を改修する工事	4,417,200				4,417,200
北小学校外壁タイル改修工事	北小学校の外壁を改修する工事	4,104,000				4,104,000
北第二小学校放送設備改修工事	老朽化した放送設備の改修を行う電気通信工事	2,980,800				2,980,800
殖蓮第二小学校都市ガス切替工事	ガス設備を都市ガスに切り替える工事	2,419,200				2,419,200
境采女小学校牛乳保冷庫交換工事	牛乳保冷庫の交換・照明施設入替え及び床張替えを行う工事	2,041,200				2,041,200

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
境東小学校電話設備改修工事	電話設備等の改修を行う電気設備工事	1,371,600				1,371,600
赤堀小学校電話設備改修工事	電話設備等の改修を行う電気設備工事	1,285,200				1,285,200
赤堀南小学校3階普通教室照明器具改修工事	3階教室の照明器具が老朽化しているため、LED照明に改修する工事	1,285,200				1,285,200
赤堀小学校体操着掛け設置等工事	教室に体操着掛けの設置等を行なう工事	1,274,400				1,274,400
境剛志小学校自動火災報知設備改修工事	自動火災報知設備を改修する工事	1,231,200				1,231,200
殖蓮小学校南校舎昇降口屋根改修工事	南校舎昇降口の屋根を改修する工事 ウレタン塗膜防水 (22.5㎡)	1,198,800				1,198,800
殖蓮第二小学校外構工事	外構を整備する工事 ・路盤工 (RC40-0) t=100 345.0㎡ ・表層工 (再生密粒アスコン) t=50 30.0㎡	1,134,000				1,134,000
豊受小学校体育館空管更新工事	体育館の消防設備に付帯する空管の更新工事	1,080,000				1,080,000
殖蓮第二小学校給排水設備改修工事	北校舎3階東側廊下手洗い場の給排水設備を改修する工事	1,026,000				1,026,000
境東小学校校舎耐震補強工事	校舎の耐震補強工事第Ⅱ期 南校舎 S50年度建設 RC造 地上2階建て 延床面積1,237㎡	39,420,000				
			9,070,000	27,200,000	-	4,716,000
境東小学校校舎耐震補強電気設備工事第Ⅱ期	校舎耐震補強工事に伴う電気設備工事	1,566,000				
豊受小学校校舎耐震補強工事	豊受小学校北校舎耐震補強工事 S51年度建設 RC造 地上3階 延床面積2,963㎡ 鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法 3箇所	121,046,400				
豊受小学校校舎耐震補強機械設備工事	耐震改修に伴う機械設備工事 空調設備、給水設備	21,870,000	22,873,000	115,500,000	-	8,399,000
豊受小学校校舎耐震補強電気設備工事	耐震補強に伴う電気設備工事 受変電設備改修、電灯コンセント設備、照明器具設備工事、撤去 外	3,855,600				
宮郷小学校校舎耐震補強工事	耐震補強工事に伴う建築・電気設備一式 S56年度 RC造 地上3階建 延床面積5,452㎡ 枠付鉄骨補強ブレースによる補強 1箇所	92,178,000	8,403,000	77,600,000		6,175,000
赤堀小学校校舎耐震補強工事	本校舎：S45年度建設 RC造 地上3階建 延床面積3,641㎡ 耐震補強ブレース23箇所 西校舎：S55年度建設 RC造 地上3階建 延床面積1,082㎡ 耐震補強ブレース2箇所	337,878,000				
赤堀小学校校舎耐震補強機械設備工事	衛生器具設備、給水設備、給湯設備、排水設備、消火栓設備、空調設備、換気設備、撤去工事	42,163,200	81,480,000	271,900,000	-	43,433,600
赤堀小学校校舎耐震補強電気設備工事	動力設備、電灯・コンセント設備、弱電設備等	16,772,400				

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
境剛志小学校 校舎耐震補強 工事	S54年度建築 RC造 地上3階 延床面 積2,052㎡ 鉄骨ブレースによる補強 2箇所 SRF柱巻きによる補強 1箇所 耐震スリットの設置 6箇所	55,112,400				
境剛志小学校 校舎耐震補強 機械設備工事	校舎耐震補強工事に伴う機械設備工事	7,538,400	9,217,000	50,900,000	-	6,897,000
境剛志小学校 校舎耐震補強 電気設備工事	校舎耐震補強工事に伴う電気設備工事	4,363,200				
北小学校トイレ 改修機械設 備工事	衛生器具設備工事、撤去設備工事	4,665,600	-	-	-	4,665,600
殖蓮第二小学 校トイレ改修 工事	いせさきトイレピカピカプロジェクト によるトイレ改修工事 改修箇所 10箇所	51,256,800				
殖蓮第二小学 校トイレ改修 機械設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事 給水設備、排水設備、衛生器具設置、 換気設備、撤去設備	49,680,000				
殖蓮第二小学 校トイレ改修 電気設備工事	トイレ改修に伴う電気設備工事 照明器具取付設備、電灯コンセント設 備、自動火災報知設備、撤去	5,432,400				
三郷小学校ト イレ改修工事	いせさきトイレピカピカプロジェクト によるトイレ改修工事 改修箇所 9箇所 多目的トイレ1箇所新設	46,278,000				
三郷小学校ト イレ改修機械 設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事 給水設備、排水設備、衛生器具設置、 屋内消火栓設備、換気設備、撤去設備	48,016,800				
三郷小学校ト イレ改修電気 設備工事	トイレ改修に伴う電気設備工事 電灯コンセント設備、自動火災報知設 備、撤去	5,918,400				
豊受小学校ト イレ改修工事	いせさきトイレピカピカプロジェクト によるトイレ改修工事 改修箇所 10箇所	35,802,000				
豊受小学校ト イレ改修機械 設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事 衛生器具設置、給水設備、排水設備、 撤去	45,457,200	-	406,000,000	-	31,043,600
豊受小学校ト イレ改修電気 設備工事	トイレ改修に伴う電気設備工事 幹線設備、照明器具取付、電灯コンセ ント設備、撤去	7,020,000				
あずま南小学 校トイレ改修 工事	いせさきトイレピカピカプロジェクト によるトイレ改修工事 改修箇所 7箇所 多目的トイレ1箇所新設	28,123,200				
あずま南小学 校トイレ改修 機械設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事 給水設備、排水設備、衛生器具設置、 換気設備、撤去	31,222,800				
あずま南小学 校トイレ改修 電気設備工事	トイレ改修に伴う電気設備工事 電灯コンセント設備、自動火災報知設 備、撤去	3,942,000				
茂呂小学校ト イレ改修工事	いせさきトイレピカピカプロジェクト によるトイレ改修工事 改修箇所 7箇所	41,979,600				
茂呂小学校ト イレ改修機械 設備工事	トイレ改修に伴う機械設備工事 給水設備、排水設備、衛生器具設置、 換気設備、撤去	31,730,400				
茂呂小学校ト イレ改修電気 設備工事	トイレ改修に伴う電気設備工事 照明器具取付、電灯コンセント設備、 自動火災報知設備、撤去	5,184,000				

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
第一中学校外1校柔剣道場天井改修工事	第一中学校及び第三中学校の柔剣道場において、地震による非構造部材の落下防止対策として、天井仕上材を撤去し、塗装仕上げをする工事 第一中学校 325.2㎡ 第三中学校 325.2㎡	15,433,200				
第一中学校外1校柔剣道場天井改修電気設備工事	第一中学校、第三中学校の柔剣道場の天井改修工事に伴う電気設備工事 電灯設備、自動火災報知設備、誘導支援設備、撤去	7,009,200				
第二中学校外1校柔剣道場天井改修工事	第二中学校および第四中学校の柔剣道場において、地震による非構造部材の落下防止対策として、天井仕上材を撤去し、塗装仕上げとするもの 第二中学校 325.2㎡ 第四中学校 325.2㎡	16,038,000				
第二中学校外1校柔剣道場天井改修電気設備工事	第二中学校、第四中学校の柔剣道場の天井改修工事に伴う電気設備工事 電灯設備、自動火災報知設備、放送設備、撤去	7,560,000	27,435,000	51,300,000	-	4,997,400
殖蓮中学校外1校柔剣道場天井改修工事	殖蓮中学校およびあずま中学校の柔剣道場において、地震による非構造部材の落下防止対策として、天井仕上材を撤去し、塗装仕上げとするもの 殖蓮中学校 353.7㎡ あずま中学校 381.8㎡	18,435,600				
殖蓮中学校外1校柔剣道場天井改修電気設備工事	殖蓮中学校、あずま中学校の柔剣道場の天井改修工事に伴う電気設備工事 電灯設備、自動火災報知設備、弱電設備、撤去	7,560,000				
宮郷中学校柔剣道場天井改修工事	柔剣道場において、非構造部材の落下防止対策として、天井仕上材を撤去し、塗装仕上げをする工事 工事対象面積 325.2㎡	11,696,400				
第一中学校北校舎外屋上防水改修工事	第一中学校北校舎外の屋根防水を改修する工事 既存の防水層を撤去し、ウレタン塗膜防水を施工 北校舎 517.6㎡ 車庫校舎 205.2㎡	15,141,600				15,141,600
第一中学校外6校体育館照明器具落下防止対策工事	第一中学校 直付式灯具 28箇所、第二中学校 直付式灯具 15箇所、第四中学校 直付式灯具 15箇所、殖蓮中学校 直付式灯具 15箇所、あずま中学校 直付式灯具 42箇所、境北中学校 直付式灯具 40箇所、境西中学校 昇降式灯具 30箇所	3,885,840				3,885,840
第二中学校理科室実験台改修工事	理科室実験台の天板を改修する工事	4,579,200				4,579,200
第二中学校防球ネット嵩上げ工事	防球ネットを嵩上げる工事	1,274,400				1,274,400
第二中学校外3校体育器具改修工事	第二中学校外3校の体育器具の改修を行う工事 第二中学校 サッカーゴール外 殖蓮中学校 テニス審判台外 境北中学校 テニス審判台外 境西中学校 サッカーゴール外	3,024,000				3,024,000
第四中学校自動火災報知(受信機)設備更新工事	第四中学校の自動火災報知(受信機)設備の更新工事 自動火災報知設備工事 一式 撤去工事 一式	2,840,400				2,840,400
殖蓮中学校技術室外床改修工事	殖蓮中学校技術室外床改修工事に伴う建築工事 床仕上げフローリング張 347.8㎡ 木製巾木塗装 SOP 142.5m	7,467,120				7,467,120
殖蓮中学校技術室間仕切壁設置工事	殖蓮中学校技術室に間仕切壁を設置する工事 新設間仕切壁 17.0㎡ アルミ製建具 1組 ホワイトボード 2枚	1,269,000				1,269,000
殖蓮中学校自動火災報知設備更新工事	殖蓮中学校の自動火災報知設備の更新工事 自動火災報知設備工事 一式 撤去工事 一式	4,104,000				4,104,000
宮郷中学校南校舎屋根防水改修工事	南校舎の屋根防水を改修する工事 既存の塩ビ系シート防水層を撤去し、ウレタン塗膜防水を施工 屋根A 275.8㎡ 屋根B 1,095.0㎡	26,319,600				26,319,600
宮郷中学校インターホン設備工事	インターホンの設置を行なう電気通信工事 インターホン設備、コンセント設備、撤去	8,640,000				8,640,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
あずま中学校図書兼IT室クランク改修工事	図書室兼IT室の柱及び梁のクラックを改修する工事 ピンク 16穴/m ² 1.6m ² ビニル浮 狭幅部 50 樹脂注入 ピンク 5穴/m ² 57.9m ² 777自動式低圧樹脂注入 51.4m	1,225,800				1,225,800
境北中学校グラウンド改修工事	グラウンドを改修する工事 ポイント舗装=100 1,000m ² ポイント工 15本 浸透樹 1箇所	3,078,000				3,078,000
南幼稚園放送設備改修工事	放送設備を改修する電気通信工事	1,026,000				1,026,000
宮郷幼稚園プール塗装改修工事	プール水槽等の塗替えを行なう工事 プール水槽：専用塗装41.5m ² 、 シャワー及び洗体槽：専用塗装17.9m ² 、 プールサイド改修：遮熱工法77.0m ²	3,099,600				3,099,600
あずま幼稚園低圧受電設備改修工事	低圧受電設備を移転する電気設備工事	1,274,400				1,274,400
名和幼稚園園舎耐震補強工事	園舎耐震補強工事に伴う建築工事 枠付きブレース補強 4カ所 軸ブレース補強 15カ所 柱脚補強 8箇所	50,360,400				
名和幼稚園園舎耐震補強機械設備工事	園舎耐震補強工事に伴う機械設備工事 耐震補強工事 空調設備、換気設備 撤去設備改修工事 衛生器具設備、給水設備、給湯設備、 排水設備、ガス設備、撤去設備	7,365,600	20,211,000	34,200,000	-	9,319,800
名和幼稚園園舎耐震補強電気設備工事	園舎耐震補強に伴う電気設備工事 幹線設備、動力設備、電灯設備、コンセント 設備、弱電設備、自動火災報知設備、 撤去	6,004,800				
豊受幼稚園園舎耐震補強工事	園舎耐震補強工事に伴う建築工事 枠付きブレース補強 6ヶ所 軸ブレース端部補強 30ヶ所 柱脚補強 8ヶ所	53,460,000				
豊受幼稚園園舎耐震補強機械設備工事	園舎耐震補強工事に伴う機械設備工事 給水、排水、ガス、空調、換気、撤去 設備 園舎改修機械設備工事 衛生器具、給水、給湯、排水、ガス、 空調、換気、撤去設備	7,473,600	20,782,000	38,600,000	-	6,681,600
豊受幼稚園園舎耐震補強電気設備工事	幹線設備、動力設備、電灯設備、コンセント 設備、弱電設備、自動火災報知設備、 撤去	5,130,000				
あかいぼり幼稚園園舎耐震補強工事	S52年建築 鉄骨造 平屋建834m ² 補強鉄骨ブレース 32箇所等	145,368,000				
あかいぼり幼稚園園舎耐震補強機械設備工事	衛生器具設備、屋外給水設備、屋内給 水設備、給湯設備、屋外排水設備 外	31,147,200	56,096,000	115,300,000	-	27,648,000
あかいぼり幼稚園園舎耐震補強電気設備工事	屋外幹線設備、幹線・動力設備、電灯 設備、弱電設備 外	22,528,800				
あずま幼稚園園舎改築工事	(改築前) 北園舎 昭和51年建築 鉄骨造 平屋 建て 248m ² 南園舎 昭和47年建築 鉄骨造 平屋建て 367m ² (改築後) 鉄骨造 平屋建て 646.03m ²	161,913,600				
あずま幼稚園園舎改築機械設備工事	衛生器具設備、屋外給水設備、屋内給 水設備、給湯設備、屋外排水設備 外	32,400,000	33,807,000	151,100,000	-	22,615,000
あずま幼稚園園舎改築電気設備工事	幹線動力設備、照明器具設備、電灯コ ンセント設備、放送設備、テレビ共聴 設備、外	13,208,400				
第二中学校給食調理場ボイラー改修工事	第二中学校給食調理場において、ボイ ラー1基を更新する工事。	10,476,000				10,476,000
第二中学校給食調理場換気設備改修工事	第二中学校給食調理場において、老朽化 した換気設備を改修する工事。	26,838,000				26,838,000
境第二中学校給食調理場自動ドア化改修工事	衛生管理徹底のため、下処理室外の扉 を自動ドアに改修する工事。	2,678,400				2,678,400

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
三郷公民館和室エアコン改修工事	三郷公民館和室のエアコンを改修する工事	1,533,600				1,533,600
赤堀公民館外非常用発電設備バッテリー交換工事	赤堀公民館及びあずま公民館の非常用発電設備始動用バッテリーの交換と機関部分の改修工事	1,674,000				1,674,000
あずま公民館工芸実習室エアコン改修工事	あずま公民館の工芸実習室のエアコン改修工事	1,587,600				1,587,600
四ツ葉学園空調機改修工事	校舎の室内機125台室外機34台を新しい空調機に改修する工事	69,660,000				69,660,000
四ツ葉学園体育館天井改修工事	アリーナ天井、多目的ホール天井、柔道場天井及びガラスブロックを改修する工事	40,780,800				40,780,800
四ツ葉学園体育館天井改修電気設備工事	天井改修工事に伴うLED照明器具85台を設置する工事	18,846,000				18,846,000
境采女公民館耐震改修外工事	境采女公民館の改修に伴う建築工事、集会室の改築工事	48,805,200				
境采女公民館改修電気設備工事	境采女公民館の改修に伴う電気設備工事	9,849,600	-	62,400,000	-	11,590,800
境采女公民館改修機械設備工事	境采女公民館の改修に伴う機械設備工事	15,336,000				
赤石楽舎・赤石楽舎体育館外壁改修工事	赤石学舎・赤石学舎体育館の外壁の改修工事	1,836,000				1,836,000
伊勢崎市境図書館書庫空調取付工事	伊勢崎市境図書館において書庫に空調機を取り付ける工事	1,156,000				1,156,000
赤堀歴史民俗資料館空調設備改修工事	老朽化した図書室、研修室、作業室等の空調設備を改修する工事	9,288,000				9,288,000
赤堀歴史民俗資料館非常灯改修工事	老朽化した非常灯を改修する工事	1,036,800				1,036,800
市民体育館非常用発電機取替工事	老朽化した市民体育館非常用発電機の取替を行う電気設備工事	7,366,000				7,366,000
赤堀西部スポーツ公園防球ネット撤去等復旧工事	突風により倒壊した赤堀西部スポーツ公園防球ネット等の撤去及び応急的な復旧工事	1,556,000				46,560,000
あずまウォーターランド温水ボイラー交換工事	老朽化したボイラーの交換工事。真空式温水器入れ替え及び配管一式	10,692,000				10,692,000
境いよくテニス場人工芝張替工事	老朽化した人工芝の張替工事。人工芝舗装撤去及び舗装3,646.1㎡外	34,312,000				34,312,000
赤堀西部スポーツ公園野球場防球ネット設置工事	撤去した防球ネットの復旧設置工事。コンクリートポール建柱10本、ネット取付900.0㎡外	7,614,000				20,153,000
赤堀中央運動場野球場内野改修工事	内野部の改修工事。グラウンド・コート舗装2,632.4㎡、砂舗装1,382.5㎡外	12,539,000				12,539,000
(仮称)西小保方沼公園グラウンドゴルフ場休憩所設置工事	利用者用休憩所設置工事。シェルターW6,060×D2,020 1基	1,037,000				1,037,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
(仮称)西小保方沼公園グラウンドゴルフ場倉庫設置工事	グラウンドゴルフ用具等倉庫設置工事。W5,300×D6,155 1基	1,286,000				1,286,000
伊勢崎市ラグビー場散水栓設置工事	芝生管理用散水栓設置工。HIVPφ=50mm L=25.0m、散水栓設置一式	1,296,000				1,296,000
伊勢崎市文化会館大ホールプロセニウムスピーカー改修工事	大ホールプロセニウムスピーカーの経年劣化により、場内において音の明瞭度や音圧が十分に確保できず、催し物に支障をきたしているため交換するものである。	6,966,000				6,966,000
伊勢崎市文化会館小ホール舞台吊物機構改修工事(第2期)	小ホールの吊物機構が経年劣化により、4期に分割して改修工事を実施する。	9,720,000				9,720,000
伊勢崎市文化会館大ホール壁劣化調査・診断業務委託	伊勢崎市民病院内壁タイル落下事故に伴い、伊勢崎市文化会館の内壁外壁を緊急調査した結果、調査の必要が生じました。そのため、文化会館大ホールタイル面全面の劣化調査・診断するものです。	1,976,400				1,976,400
伊勢崎市文化会館自動ドア制御用地震計設置工事	地震発生時等にリアルタイムで地震を感知しドアを開いた状態にする。	1,263,600				1,263,600
伊勢崎市文化会館内壁改修工事	伊勢崎市民病院内壁タイル落下事故に伴い、伊勢崎市文化会館の内壁を緊急調査した結果、修繕の必要が生じたため、改修工事を実施する。	20,692,800				20,692,800
伊勢崎市文化会館空調機コイルボックス交換工事	空調機のエリミネーター(水滴の飛散を防ぎ液滴を除去する装置)枠及びドレンパンの金属部分の腐食が進んでいるためコイルボックス部の交換をする。	10,692,000				10,692,000
赤堀芸術文化プラザ舞台機構改修工事(第2期)	本舞台機構は設置後約24年が経過し、磨耗劣化している部品が数多くみられることから安全を確保するための改修工事です。全2期で工事を予定しており、平成22年度に改修された箇所を除いた部分を改修する。	18,360,000				18,360,000
赤堀芸術文化プラザ周辺高木剪定委託料	施設周辺の木々が茂っており、建物へ接触し、外壁の損傷を与えており、且つ、枯枝の落下が多く危険な為、これらを剪定する。	1,879,200				1,879,200
赤堀芸術文化プラザ外壁タイル調査委託料	赤堀芸術文化プラザの外壁タイルが経年劣化している可能性があるため現状の調査を実施する。	4,212,000				4,212,000
展示室エアコン取付工事	一般展示室の天井2箇所にて4方向吹き出し口の室内機を2台設置および室外機1台を設置し、利用者の利便性を高めるために行うものです。	1,566,000				1,566,000
電話交換機交換工事	境総合文化センターは、平成8年会館以来18年が経過し、電話交換機の内部基盤等の部品が著しく劣化しており、開館時において全ての電話機が使用できなくなる状況が起きており、貸館業務にも影響を及ぼしております。そのため、交換機本体および電話機の交換と3箇所に回線を設ける工事を行うものです。	1,998,000				1,998,000
内壁タイル改修修繕	全館内壁タイルの浮き部分を調査し、利用者等に危害が考えられる箇所を改修修繕するものです。	4,374,000				4,374,000
境総合文化センター外壁タイル調査委託業務	全館外壁のうち、タイルの落下により利用者等に危害が考えられる箇所の点検をゴンドラおよび高所作業車等を使用し、ハンマーによる打診調査、目視調査を行うための調査です。	2,430,000				2,430,000
境総合文化センター大ホール音響調整卓改修工事	設置後19年が経過し、各部品の劣化が進み、接触不良、ノイズ、音のふらつきが起きています。音響卓の交換に伴い、パッチ盤も交換する。	13,392,000				13,392,000
境赤レンガ倉庫改修工事基本設計・実施設計業務委託料	境地区にある赤レンガ倉庫の活用に向けた基本設計及び実施設計を作成する。	17,280,000	8,640,000			8,640,000

平成28年度施設建設等主要事業計画

校舎建設等の主要事業は、次のとおりである。

- 1 南幼稚園プール給湯設備増設工事
- 2 あずま幼稚園プール排水改修工事
- 3 豊受幼稚園園舎北側通路改修工事
- 4 坂東小学校北校舎屋上防水改修工事
- 5 赤堀南小学校プール防護柵設置工事
- 6 境東小学校南側門扉改修工事
- 7 殖蓮小学校南校舎職員室等梁改修工事
- 8 茂呂小学校昇降口天井改修工事
- 9 広瀬小学校自動火災報知設備改修工事
- 10 境東小学校高圧受変電設備改修工事
- 11 南小学校外3校高圧引込ケーブル改修工事
- 12 三郷小学校浄化槽設置工事
- 13 赤堀南小学校外2校放送設備改修工事
- 14 あずま北小学校物置設置工事
- 15 境小学校玄関舗装工事
- 16 第三中学校プレファブ校舎屋根改修工事
- 17 第一中学校間仕切壁改修工事
- 18 境西中学校多目的室等天井改修工事
- 19 第二中学校浄化槽微細目スクリーン交換工事
- 20 第二中学校南校舎屋上防水工事
- 21 第一中学校校内インターホン設置工事
- 22 殖蓮中学校北校舎階段裏側改修工事
- 23 赤堀中学校旧校舎受変電設備等改修工事
- 24 旧赤堀中学校校舎解体整地工事
- 25 殖蓮小学校外1校トイレ改修工事
- 26 殖蓮小学校外1校トイレ改修電気設備工事
- 27 殖蓮小学校外1校トイレ改修機械設備工事
- 28 広瀬小学校外1校トイレ改修工事
- 29 広瀬小学校外1校トイレ改修電気設備工事
- 30 広瀬小学校外1校トイレ改修機械設備工事
- 31 赤堀東小学校外1校トイレ改修工事
- 32 赤堀東小学校外1校トイレ改修電気設備工事
- 33 赤堀東小学校外1校トイレ改修機械設備工事
- 34 境小学校外1校トイレ改修工事
- 35 境小学校外1校トイレ改修電気設備工事
- 36 境小学校外1校トイレ改修機械設備工事
- 37 三郷小学校プール改築工事
- 38 三郷小学校プール改築機械設備工事

- 39 空調機改修工事（旧赤堀中学校からの空調機移設工事）
- 40 第二学校給食調理場排水処理施設回転円盤装置カバー改修工事
- 41 境第一学校給食調理場機械室スチールドア交換工事
- 42 三郷公民館外柱上高圧気中開閉器・高圧ケーブル改修工事
- 43 北公民館耐震補強工事
- 44 北公民館耐震補強機械設備工事
- 45 北公民館空調設備改修工事
- 46 伊勢崎市あずま図書館空調機入替工事
- 47 伊勢崎市図書館外入館者数カウンター設置工事
- 48 赤堀歴史民俗資料館展示室空調設備設置工事
- 49 陸上競技場芝生規格改修工事
- 50 弓道場矢取り道等設置工事
- 51 華蔵寺公園運動施設入口アーチ撤去工事
- 52 市民体育館内防犯カメラ増設工事
- 53 赤堀体育館屋根防水等改修工事
- 54 あずま総合運動公園テニスコート照明設備・コート改修工事
- 55 あずまサッカースタジアムウォーミングアップ場整備工事
- 56 伊勢崎市文化会館小ホール舞台吊物機構改修工事【第3期】
- 57 赤堀芸術文化プラザ下水道切替工事
- 58 境総合文化センター外壁タイル補修工事
- 59 境総合文化センター案内看板設置工事
- 60 赤堀芸術文化プラザ外壁タイル補修工事

Ⅲ 学校教育



「伊勢崎ふるさと学習」

平成28年度 伊勢崎市の学校教育方針

伊勢崎市教育委員会

I 伊勢崎市の学校教育が目指す子ども像

教育基本法、学習指導要領などの法令等や、県の学校教育の指針及び市教育振興基本計画、市教育行政方針等に基づき、本市の目指す子ども像を次のとおり設定するとともに、公教育として踏まえなければならない各種事項の重点を下記II以下にまとめる。

「生きる力」を身に付け、実践する、自立した子ども

＜知＞

基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども

＜徳＞

人や環境を大切にして地域・社会に貢献する子ども

＜体＞

心身ともにたくましく生きる子ども

また、この学校教育方針の下、本市学校教育の独自性を発揮するために「伊勢崎教育構想」を別に策定し、創意工夫を生かした特色ある学校教育を推進する。

II 信頼される学校・園づくりの推進

1 学校・園運営の充実 **＜教育構想、スクール・クリエーションプラン＞**

- (1) 教育構想による教育活動を本市の共通性として踏まえるとともに、教育の質の向上を視点に学校・園経営を見直し、幼小中の連続性を大切にしたい創意工夫のある教育活動が実施できるよう、教育課程の編成・実施、評価の工夫・改善に努めます。
- (2) 経営の重点や家庭・地域の願い等を反映させた学校関係者評価の改善・充実を図るとともに、子どもたちの学習成果や活躍の様子を積極的に発信し、子どもたちの頑張りを保護者・地域の方々と共有化しながら、家庭・地域との連携による学校・園づくりに努めます。
- (3) 学校・園の課題について共通理解を図るとともに、その解決に向けて各種主任などのミドルリーダーをより一層活用して組織的な指導を活性化したり、教職員の意欲や資質能力の向上の観点から人事評価制度を活用したりするなど、教職員の参画意識の向上に努めます。
- (4) 学校安全計画及び学校災害対応マニュアルを地域等の実態に合わせて見直しを図るとともに、災害時・緊急時における対応訓練として、火災・地震・不審者侵入等の実践的な避難訓練を実施します。

2 教職員の資質向上

- (1) 学校・園が重点に掲げる目標及び課題と教職員一人一人の目標等を密接に連動させるとともに、課題解決のために教職員同士が協働して取り組む場や機会を意図的につくるなど、日常的な職務を通して教職員が互いに学び合い、職能成長が図れる職場環境づくりに努めます。
- (2) 教職員は各自の経験や能力、分掌等に応じた目標を設定し、その達成に向けて校内研修や研修講座等に主体的に参画したり、平素の管理職による授業参観及びその後の面談を活用したりしながら、自己の専門性や指導力のさらなる向上に努めます。

3 異校種間や地域社会との連携 **＜地域の学校いきいきプラン＞**

- (1) 中学校区内の学校・園が協働して推進委員会や協議会などを開催し、異校種間で情報交換したり、系統的・継続的な教育活動を実践したりするなど、各地域における幼小中の一貫した教育の充実に努めます。
- (2) 平素の授業・保育の様子や様々な教育活動への取組について、各学校・園だよりやWebページ、PTA集会等で保護者や地域に情報提供したり、授業公開や保育公開を計画的に実施したりするなど、地域に開かれた学校・園づくりに努めます。

- (3) 学校支援ボランティアや企業・大学関係者等の外部指導者（スマイルサポーター）を意図的・計画的に活用し、個別指導の充実や「未来力」学習講座の実施など、学校教育の質の向上を図ります。
- (4) ふるさと伊勢崎に誇りをもち、伊勢崎から世界に目を向けることができるよう、地域の様々な教育資源を活用し、地域の歴史や文化などを見つめ、気付いたことや考えたことを表現し互いに深め合う伊勢崎ふるさと学習を意図的・計画的に推進します。

Ⅲ 「生きる力」を育む指導の充実

1 学びの芽生えを大切にして、「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育 **＜ふたばすくすくプラン＞**

- (1) 園児が自分なりのイメージをもって主体的に活動できるよう、園児の思いに共感し挑戦しようとする姿を励ますなど発達の段階に応じた援助を行うとともに、教師が意図をもって環境を構成し、遊びを通して気付いたり、工夫したり、考えたりするなどの学びの芽生えの育成に努めます。
- (2) 絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動を意図的・計画的に行い、言葉の感覚やイメージを豊かにしたり、自ら体を動かす楽しさやみんなで一緒に活動しようとする意欲を育んだりするなど、生活や学習の基盤となる力を育て、小学校への滑らかな接続を図ります。
- (3) 地域の人たちとの交流を図るジョイふるタイムや未就園の親子を対象とした子育てふれあいタイムを積極的かつ計画的に実施するなど、交流と体験を重視した幼児教育の充実を努めます。
- (4) 保護者が子育ての楽しさや意義、幼児教育の重要性を学ぶとともに、子育ての不安や悩みについて相談し安心して子育てすることができるよう、保護者同士の交流の場を設けたり、預かり保育を実施したりするなど保護者への子育て支援に努めます。

2 「生きる力」を育む小学校・中学校教育

(1) 学力の向上 **＜学力パワーアッププラン＞**

- ア 学力向上委員会等を中心として具体的な方策を立て、組織的・計画的に校内研修や研究授業等を推進し、教師の指導力の向上を図るとともに、実態に応じたパワーアップタイムを計画的に実施するなど、学校全体で学力向上対策の充実を図ります。
- イ 「なぜ?」「なるほど!」を大切にした授業づくりとして、5W（読む・聞く・考える・書く・話す）を視点とした交流活動や振り返る活動を重視し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。
- ウ 教科分担制や少人数による指導を実態に応じて取り入れ、教科の魅力を十分に味わえるようにするとともに、学習意欲の向上を図るために、取り組みの様子や次の学習への目標などを子ども、保護者、学校で具体的に共有していきます。
- エ 小学校「英語科」と中学校の連続性を重視した指導や、担任などを中心に、外国語指導助手（ALT）を有効活用した授業の充実により、小中9年間の一貫した英語教育を一層推進し、グローバル社会に対応する英語コミュニケーション能力の育成を図ります。
- オ 家庭学習の手引きを活用し、学んだことを振り返ったり次の学習の見通しを持ったりする家庭学習を推進することで、自分なりの目標をもって学習に取り組む姿勢を育成し、分かる喜びやできる楽しさを味わわせ、家庭学習への意欲を高め、主体的な学習習慣の定着を図ります。

(国語) 言語活動の充実を図り、思考力・表現力を育てる指導の工夫

- 単元で身に付けさせたい力の育成に適切な言語活動を設定し、目的意識をもって課題解決に取り組みせるとともに、交流活動を一層充実させ、思考力・表現力を育てる指導の工夫に努めます。

(社会) 社会的な見方や考え方を育てる指導の工夫

- 疑問や驚きから課題を設定する活動や資料を比較・関連・総合して社会的事象の特色や意味を考え、表現する活動を充実させ、社会的な見方や考え方を育てる指導の工夫に努めます。

(算数、数学) 数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫

- 既習事項などを基に解決方法や結果の見通しをもたせて課題を追究する中で、言葉や式、図など数学的な表現を用いて、自他の思考過程を根拠を明確にして説明・比較・検討するなどの算数的（数学的）活動を一層充実させ、数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫に努めます。

（理科）科学的な見方や考え方を育てる指導の工夫

○児童生徒の気付きや疑問から学習課題を設定できるように導入の活動を工夫するとともに、観察・実験などの体験活動と予想や考察における言語活動をバランスよく行い、学習課題と整合性のあるまとめをすることで、科学的な見方や考え方を育てる指導の工夫に努めます。

（生活）気付きの質を高める指導の工夫

○人や社会、自然へのかかわりを深める多様な学習活動を取り入れ、一人一人の思いや願い、驚きや発見などを丁寧に見取り、気付けたいことを明確にして体験や振り返りの活動を設定するなど、気付きの質を高める指導の工夫に努めます。

（音楽）音楽のよさや美しさを感じ取り、表現する力を高める指導の工夫

○児童生徒の気付きや発言から〔共通事項〕等で示された音楽の要素に着目した音楽的な感受の学習を基に、思いや意図をもって音楽表現したり、音楽全体を味わって聴いたりするなど、思考・判断し表現する場を大切にしたい指導の工夫に努めます。

（図画工作、美術）生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感できる指導の工夫

○主体的に材料と関わることができる「試しの場」を設けるとともに、形や色を捉え、イメージをもつなど、教師が児童生徒の思いを深めたり意欲を高めたりする言葉掛けによる個別指導を行い、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感できる表現や鑑賞の指導の工夫に努めます。

（家庭、技術・家庭）実生活で活用できる力を育てる指導の工夫

○一人一人が体験できる実践的・体験的な学習活動を工夫したり、「試しの場」や「活用の場」を意図的・計画的に位置付け、習得した知識や技能・技術の習熟を図ったりする問題解決的な学習を展開し、実生活で活用できる能力と態度を育てる指導の工夫に努めます。

（体育、保健体育）運動の楽しさやできる喜びをともに味わえる指導の工夫

○児童生徒同士のかかわり合いを大切にしながら、各運動の行い方や技能のポイントを理解させたり、運動量を十分に確保したりして、運動の楽しさやできる喜びをともに味わえる授業展開に努めます。
○学んだ知識を活用する学習活動となるよう工夫するとともに、課題解決的な学習や実験、実習などを取り入れ、実践的・科学的に理解できるよう指導の工夫に努めます。

（英語）小中9年間で英語コミュニケーション能力を高める指導の工夫

○小学校では、市共通の展開例を有効活用するとともに、外国語指導助手（ALT）や英語支援助手のネイティブな音声や英語表現に多く触れさせながら、英語でコミュニケーションをする楽しさや自分の伝えたい内容が表現できたという達成感・成就感が得られる指導の工夫に努めます。
○中学校では、小学校での学習内容を踏まえたコミュニケーション活動を計画的に実施するとともに、既習の表現を用いて、自分の意見や考えなどを積極的に伝え合う言語活動を取り入れ、英語コミュニケーション能力を高める指導の工夫に努めます。

（総合的な学習の時間）地域の特色を踏まえた単元構成と探究的な学習活動の工夫

○地域の特色を踏まえて単元の精選・重点化を図り、各教科等との関連した指導の充実に努めるとともに、スマイルサポーターの活用や観察・実験、見学・調査、整理・分析、発表や討論などの多様な活動を展開させるなど、探究的な学習活動の一層の充実に努めます。

（2）豊かな心の育成 <「愛」燦々プラン>

ア 豊かな心を育む道徳教育

○感動や葛藤を生み、心に響く魅力的な資料の活用や体験的な活動を中核に置くとともに、明確な価値観・児童生徒観・資料観に基づいた授業展開や発問構成を工夫し、道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の充実に努めます。
○道徳教育推進教師を中心に道徳の時間を要として教育活動全体を通して道徳教育を推進し、スマイルサポーターを積極的に活用するなど、学校と家庭・地域が連携を深め、向上する心、やりぬく心、大切にしたい心の育成に向けた環境の醸成に努めます。

イ 社会性の育成を図る特別活動

○よりよい学校生活や安心できる人間関係を築くために、計画委員などを中心とした話し合い活動を積極的に設定し、児童生徒同士で主体的に考え、決定し、行動していく自発的・自治的な態度の育成に努めます。
○学校と家庭・地域が連携し、目指す姿を明確にした交流活動や体験活動を計画的に取り入れ、児童生徒のよさや可能性を認め、励ますことで、自主的・実践的な態度の育成に努めます。

ウ 自主・自立を促し、問題行動等の未然防止・解決を目指す生徒指導

- 日常の学校生活の様々な場面において、自己選択や自己決定の場や機会を設け、自分たちの課題を解決する経験を繰り返していけるようにすることで、自主・自立の精神の育成に努めます。
- 児童生徒の実態や情報を共有化したり、相談員や関係機関との連携を深めたりするなど、教育相談機能を充実させ、学校全体でいじめ・不登校や問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に努めます。
- 学校・園と家庭・地域が協働して、「幼小中一貫生活・学習13のルール」や「携帯電話3つの基本ルール」を活用し、規範意識の育成に努めます。
- 教育活動に5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の時間を位置付け、気持ちのこもったあいさつや言葉遣い、「いせさきトイレピカピカプロジェクト」の実践等により、きれいな心ときれいな学習環境づくりに努めます。

エ 将来の生き方を育むキャリア教育

- 「未来力」学習講座を意図的・計画的に実施するなど、全校体制でキャリア教育を推進し、将来の夢や希望を具体的な目標や目的に変え、児童生徒が自己の生き方について考えることができるようにします。
- 仕事調べや職場見学、職場体験や奉仕活動等、ねらいや意義を明確にした体験活動を工夫したり、事前・事後の学習活動をより一層充実させたりするなど、発達の段階に応じた望ましい職業観や勤労観の育成に努めます。

オ 人権尊重の意識を高める人権教育

- あいさつや言葉遣い等において範を示すなど、常時指導を一層充実させるとともに、授業や学校行事等と人権教育との関連を図り、互いのよさを認め合える温かい学級・学校づくりに努めます。
- 模擬体験活動や様々な人々との交流活動を実施したり、「みんなの願い」等の人権教育資料を活用した同和教育を実践したりするなど、人権尊重の意識を高める指導の充実に努めます。
- 虐待防止のため、児童生徒の状況や変化を的確に捉える校内体制を整備するとともに、関係機関と連携を図りながら、虐待の早期発見・早期通告等、迅速な対応に努めます。

カ 互いの文化を理解し、共生する態度を育てる国際理解教育

- ALTの有効活用や外国籍児童生徒との交流活動を充実させるなど、国際的な視野から互いの文化を理解し合い、共生していこうとする態度の育成に努めます。
- 一人一人の日本語の習得状況に応じた「特別の教育課程」による指導や、外国籍児童生徒学校生活適応指導助手を有効活用した日本語教室の指導体制の充実を図り、外国籍児童生徒の学校生活への適応や日本語指導の改善に努めます。

キ 環境保全に配慮して自ら考え行動できる実践力を育てる環境教育

- 環境教育全体計画に基づき、各教科や総合的な学習の時間等を通して、実生活に生かすことができる取組の推進に努めます。
- 家庭・地域と連携した環境美化活動やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりすることを通して、身の回りの環境に配慮して自ら考え行動できる実践力の育成に努めます。

ク 情報活用能力と情報モラルを育てる情報教育

- 各教科や領域等において、ICT（電子黒板やタブレットPC、ネットワーク等）の効果的な活用を通して、情報活用能力の育成に努めます。
- 各教科や領域等の年間指導計画に基づいた系統的な情報モラル育成のための授業を実施するとともに、インターネットやSNSの利便性や危険性についての情報提供を行い、家庭と連携して安全に情報社会に参画する態度の育成に努めます。

ケ 主体的に読書しようとする心を育む読書活動の推進

- 図書主任や司書教諭、学校図書館事務職員と連携し、魅力ある学校図書館づくりを組織的・計画的に進めるとともに、年間指導計画を基に授業のねらいに沿った資料を整備し、授業における学校図書館の活用を推進するなど、考えを広め深める読書活動の一層の充実に努めます。
- 日々の読書活動において、「伊勢崎市親子が推薦する図書101」や学校等で選定した「おすすめ本」を積極的に活用したり、「家読」（家族ふれあい読書）を推進したりするなど、「読書の街いせさき」の充実を図り、日常的に読書に親しみ、幅広く読書しようとする態度の育成に努めます。

(3) 健康教育の推進

ア 学校保健活動の充実

- 児童生徒の健康課題を的確に捉えた学校保健計画に基づき、家庭や地域関係機関と連携した学校保健活動に組織的・計画的に取り組み、心と体の健康づくりに努めます。
- 平常時及び緊急時対応について校内体制を整備し、日常の健康観察や保健指導を適切に行うとともに、家庭や関係機関と連携して、感染症や食物アレルギー、熱中症等の予防対策の徹底を図ります。
- 健康教育充実プランに基づき、重点的指導内容（食育等の保健教育）に対して、小中9年間を見通した系統的・継続的な指導を実践し、健康に関する自己管理能力の育成に努めます。

イ 学校における食育の推進

- 家庭・地域と連携し、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、実践できる児童生徒の育成に努めます。
- 食に関する指導の学年別年間指導計画を作成し、教職員の共通理解の下、指導方法や内容を工夫しながら、教科等の授業の中で食に関する指導の6つの目標との関連を意識した指導を行います。
- 学校と調理場が連携し、給食の時間や各教科、特別活動等の授業で学校給食を生きた教材として活用する指導に努めます。

ウ 学校安全の徹底

- 普通救命講習等、教職員研修を盛り込んだ総合的な学校安全計画の作成並びに、学校安全3領域（生活安全、交通安全、災害安全）に関する内容を盛り込んだ学校独自の危険等発生時対処要領を整備します。
- 教職員、児童生徒、保護者、学校支援ボランティア等の協働による学校施設、校庭、通学路の安全点検を実施します。
- 児童生徒の危険回避能力を培うための日常的な安全指導（廊下歩行、一時停止の遵守）の徹底と教育活動全体を通じた安全学習の推進を図ります。

エ 体力の向上

- 体力向上プランに基づき、組織的な体力向上の取組を充実させたり、「ともに体を動かす仲間づくり」を促進したりして、運動の楽しさを味わえるように努めます。
- 体力向上に関する各種調査を基に児童生徒の体力の現状を的確に把握し、体力の向上の必要性についての認識を高めるとともに、体力アップメニューや実態に応じたトレーニングを活用するなど、児童生徒が継続して体力向上に取り組めるように努めます。

3 一人一人の障害や特性等に配慮した特別支援教育

- (1) 校園長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となり、校内（園内）研修会や校内（園内）教育支援委員会を計画的に開催し、園児児童生徒に対する共通理解と全校的な支援体制の充実を図ります。
- (2) 関係機関の助言・援助を受けたり、保護者との連携を図ったりしながら、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を工夫・改善し、一人一人の指導目標や指導内容・方法を明確にしたきめ細かな指導・支援を行います。
- (3) 園児児童生徒の生活や学習上の困り感を理解し、行動の背景にある気持ちに寄り添い、生活や授業の中で活躍できる場を設けるなど、学級内における温かい人間関係に基づく個に応じた授業展開等に努めます。
- (4) 特別支援学校との居住地校交流や特別支援学級との交流などを積極的に実施し、障害の有無にかかわらず児童生徒がお互いの理解を深めるための交流及び共同学習の推進に努めます。



伊勢崎教育構想 2016

Building Hearts!
Building the Future!

つむ
夢を紡ぎ
つな
未来へ絆ぐ

平成28年度 伊勢崎市教育委員会

伊勢崎教育構想2016 全体構想

「夢や希望の実現に向け生き生きと学ぶ、
自立した子ども」の育成

確かな学力 健康な体
豊かな心

3プラン 9施策 による学校教育の充実!

学力 パワーアッププラン	「愛」 ^{あふ} 「燃々」 ^も プラン	地域の学校 いきいき プラン
考え表現する力 づくり	温かい学級 づくり	夢や希望 づくり
英語力 づくり	社会性の基盤 づくり	やる気と元気 づくり
家庭学習 づくり	健康な体 づくり	魅力ある学び づくり

ISESAKI WAY

～伊勢崎市の学校教育で大切にしたい共通の価値観～

- 1 教育の質を高め、一人一人の学びを充実
- 2 ふるさと伊勢崎に誇りをもち、国際社会で活躍できる基盤づくり
- 3 幼小中連携による一貫教育の推進
- 4 子ども、家庭・地域、学校の協働による教育活動

子どもたちの「心と未来を」創ります

発行者／伊勢崎市教育委員会(学校教育課) 〒372-8501 伊勢崎市今泉町二丁目410 TEL0270-24-5111



夢があるから
人は輝く!

1

教育の質を高め、
一人一人の学びを充実

- 確かな指導力に基づいた魅力ある授業づくり
- 特別支援教育の考え方に基づいた支援の充実

2

ふるさと伊勢崎に
誇りをもち、
国際社会で活躍できる
基盤づくり

- 伊勢崎ふるさと学習の推進
- 小中学校英語科の充実

3

幼小中連携による
一貫教育の推進

- 5S・5Wの展開
- 幼小中一貫した生活・学習習慣の定着

4

子ども、
家庭・地域、学校の
協働による教育活動

- 家庭学習・読書活動の習慣化
- カリキュラムパートナーとの連携

目標があるから
人は輝く!

伊勢崎市の学校教育で大切にしたい共通の価値観

ISESAKI WAY

学力

パワーアッププラン

豊かな学力を育てます



《考え表現する力づくり》

「なぜ?」「なるほど!」を大切にした授業で考え表現する力の育成

- 授業において、児童活動を通して、子どもの「なぜ?」「なるほど!」を大切にします。
- 学習活動に深い思考を促し、自分で言葉で取り返す方法を習得することにより、自分のことばで思考を述べられるようになります。

一人一人に「分かる喜び」や「できる喜び」を実感させる指導体制の充実

- 教科や単元の中核となる内容を積極的に取り入れ、教科の面白さや学習の楽しさを味わえるようにします。
- 子どもの理解度及び習得に合わせた、個別の適切な指導の仕方もより一層取り、個々の学習活動を促して、子ども一人一人の学力を伸ばします。

考える力の基礎をつくる等の設定

- パワーアッププランにおいて、基礎力に重点を置いて、知識・技能の習得や活用を図ります。
- 子どもが学びえる人間関係をつくりますとともに、主体的に学習に取り組めるようになります。

【学習活動】(1)【教材】(2)【授業】(3)【評価】

《英語力づくり》

コミュニケーションを重視した学習の充実

- 教科の面白さや学習の楽しさを積極的に取り入れ、教科の面白さや学習の楽しさを味わえるようにします。
- 教科や単元の中核となる内容を積極的に取り入れ、教科の面白さや学習の楽しさを味わえるようにします。

小中学校間の連続性を重視した授業の充実

- 「小中一貫」の観点から「英語」を連携し、小中学校の各教科の学習を連携します。
- 小中学校での学習内容や進度も、小中学校で「英1」「英2」「英3」「英4」のレベルを統一します。

《家庭学習づくり》

自ら学ぶ家庭学習のスキルと習慣の育成

- 家庭学習の内容や方法を指導し、授業で学んだことを振り返り振り返り学習の成果をもたせることが出来るようにすることを重視し、自分なりの目標をもって取り組めるようにします。
- 家庭学習のやり方を指導し、自ら学ぶ力を伸ばす機会を創出し、自主的に学習や読書活動に取り組めるようになります。

「愛」燦々 プラン

豊かな心と健康な
体を育てます



《温かい心づくり》

一人一人の子どもを大切にしたい授業・生徒の充実

- 子どもと心を通いあう中で、互いに「愛」を育みます。これを大切にして、助け合いを育みます。
- 子ども一人一人に対する理解を深め、家庭や地域、学校関係など関係者による、一人一人の「個性」が大切にされます。

特別支援教育の考え方に基づいた生徒の充実

- 一人一人の学習特性に応じた支援体制を整備し、全ての子どもが活躍できるようにします。
- 自ら学ぶ習慣が必要な子どもに対して、授業や活動に合わせた適切な支援も実施していきます。

《社会性の基礎づくり》

豊かな交流活動や体験活動の充実

- 学校内外の活動において、自ら、あるいは互いに交流活動や体験活動に積極的に参加し、思いやりや助け合い、互いに尊重しあう心を育みます。
- 子ども一人一人が主体的に活動する体験活動を積極的に取り入れ、人とのつながりや、責任感、礼儀、尊敬の心などを育成します。

生涯学習やボランティアの定着

- 「愛」の授業で、「ボランティア」などについて、授業活動を通じて学びを深めていくように指導し、よりよい生活や学習の仕方を身に付けていくようにします。
- 子ども一人一人が主体的に学校生活やボランティア活動に積極的に参加する機会を創出します。
- インターネットやSNSの活用が児童性について指導するとともに、保護と連携し、情報もつらる機会を創出します。

【学習活動】(1)【教材】(2)【授業】(3)【評価】

《健康な体づくり》

健康教育の充実と進んで運動する習慣の定着

- 健康な生活が出来るよう、健康な心と体をつくらせるための学習活動を充実させます。
- 子ども一人一人が主体的に運動する機会を創出し、進んで運動に取り組めるようになります。

地域の学校

いきいき プラン

保護者・地域、企業・大学の
力が子どもを笑顔に
します



《夢や希望づくり》

伊勢崎ふるさと学習の全国的・計画的な実施

- 地域の活性化や発展のために、子ども一人一人が活躍出来るような環境を創出します。
- 地域の歴史、文化、伝統文化、産業などについて、子どもが主体的に学び、ともに学びあう機会を創出します。

「未来力」学習活動の展開

- 地域活性化や発展のために、子ども一人一人が活躍出来るような環境を創出します。
- 子ども一人一人の夢や希望を育み、主体的に取り組んで自分たちの未来や学習に主体的に取り組めるようにします。

《やる気と元気づくり》

スマイルサポーターと協働した教育活動の充実

- 保護者や地域の力を活用し、学習活動を充実させます。
- 地域の活性化や発展のために、子ども一人一人が活躍出来るような環境を創出します。

地域との絆づくりの促進

- 地域活性化や発展のために、子ども一人一人が活躍出来るような環境を創出します。
- 地域の活性化や発展のために、子ども一人一人が活躍出来るような環境を創出します。

《魅力ある学びづくり》

カリキュラムパートナーとの連携の充実

- 企業や大学などと連携し、教育活動を充実させます。
- 企業や大学などと連携し、教育活動を充実させます。

平成28年度 主要事業

伊勢崎市教育委員会

1 全市的な研修

- ①幼小中連携研修：教育構想等の展開に向けた各中学校区の学校園による連携研修
- ②小中教科等研修：小13、中13、小中合同2（養護教諭、特別支援教育）
- ③実技等研修：授業改善に向けた実技指導力の向上を目指した研修
- ④幼稚園1日研修：保育の改善・充実のための保育研究（会場：宮郷幼稚園）

2 学校訪問

- ①経営訪問：市教委の方針説明、経営課題の協議、授業参観
- ②要請訪問：随時要請に応じて実施、学校課題に基づく協議、授業研究会、個別指導等
- ③幼稚園訪問：経営課題の協議、保育参観、保育研究会

3 指定校等

＜文部科学省・県教育委員会等指定校＞

- ①茂呂小学校：「確かな学力」研究推進校（県教委義務教育課 H26～28）
- ②名和小学校：道徳教育総合支援事業（県教委義務教育課 H27～28）
- ③宮郷第二小学校：ぐんまの子どもの体力向上推進事業体力向上推進モデル校（県教委健康体育課 H27～29）
- ④殖蓮中学校：チーム学校（県教委学校人事課 H27～28）
- ⑤広瀬小学校・坂東小学校：小・中学校初任者研修に係る調査研究（県総合教育センター H28）
- ⑥第二中学校：「社会福祉協力校（単年度学校指定モデル事業）」（社会福祉協議会 H28）

＜市教育委員会指定校＞

- ①宮郷幼稚園：「特色ある幼稚園教育実践指定園」（H28）
- ②境南中学校：「食育実践研究会」（H28）

4 伊勢崎教育構想2016における最も重点的な取組

＜温かい学級づくり＞ 北小、南小、宮郷小、名和小、豊受小、殖蓮第二小、広瀬小、あずま北小、境小、第一中、赤堀中

＜社会性の基盤づくり＞ 三郷小、名和小、坂東小、赤堀南小、赤堀東小、あずま南小、境東小、第二中、第三中、宮郷中、境南中

＜健康な体づくり＞ 宮郷第二小

＜考え表現する力づくり＞ 南小、殖蓮小、茂呂小、名和小、豊受小、北第二小、坂東小、赤堀小、赤堀東小、あずま小、あずま北小、境小、境采女小、境剛志小、境東小、第一中、第二中、第三中、第四中、殖蓮中、宮郷中、赤堀中、あずま中、境北中、境西中、

＜夢や希望づくり＞ 南小、豊受小、赤堀東小、境小、境東小、第三中、宮郷中

5 市教委主催の研修等

- ①管理職研修
- ②生徒指導主任研修
- ③研修主任研修(確かな学力向上推進委員会)
- ④生徒指導主任研修
- ⑤人権教育主任研修
- ⑥安全教育担当教員研修
- ⑦情報教育主任研修
- ⑧健康教育担当者研修
- ⑨教科等指導員研修
- ⑩小学校英語研修
- ⑪日本語教室担当教員研修
- ⑫学社連携推進担当研修
- ⑬学校経営研修
- ⑭事務職員研修
- ⑮特別支援教育コーディネーター研修
- ⑯通級指導教室担当教員連絡協議会
- ⑰外国籍児童生徒学校生活適応指導助手研修
- ⑱食育推進担当者研修

学力向上

本市では、学力向上対策推進事業として、「伊勢崎教育構想2016」における教育プランの一つとして「学力パワーアッププラン」を実施する。「学力パワーアッププラン」は、本市で目指す子ども像「『生きる力』を身に付け、実践する、自立した子ども」の具現化に向けて、「基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども」の育成に重点を置き、教師・子ども・保護者の三者が一体となり、「確かな学力」を培おうとするものである。事業の内容は、①学力検査結果の分析等による児童生徒の実態把握に基づいた学力向上対策の計画的な推進を図ること、②5Words（読む・聞く・考える・書く・話す）活動を重視したり、考えを交流し高めたりする「「なぜ？」「なるほど！」を大切に授業」を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図ること、③教師の専門性や特技・特性を生かした「教科分担制」の導入等により授業の質を高めること、④「パワーアップタイム」を子どもの実態に応じて設定し、学習プリントの活用や読書活動により考える力の基盤をつくること、⑤外国語指導助手(ALT)や英語支援助手を有効活用した授業を行うなど、小中一貫した指導により英語コミュニケーション能力の育成を図ること、⑥家庭学習の手引きの活用や子どもたちの取り組みのよさを認め合う活動などを通して、「分かる喜び」や「できる楽しさ」を味わい、学習意欲を高める「自ら学ぶ家庭学習」に取り組みせ、学習習慣の育成を図ること、以上6点である。

学力向上対策にかかわる全市的な教職員研修としては、「中学校区別研修会」を開催し、市内11中学校区ごとにそれぞれの校区の幼稚園・小学校・中学校の教員が全員参加して、連携した継続性のある教育活動の在り方を検討する。また、「共通授業研究会」を小・中学校の各校種で教科別に実施し、授業研究を基にして指導力向上を図るとともに、「実技等研修」を実施し、教員の資質や専門的な能力の向上を図る。幼稚園については、「幼稚園一日研修」を実施し、保育研究を基にして保育改善を図る。

各学校園の校園内研修を支援する体制としては、研修主任を委員とした「確かな学力向上推進委員会」を設置し、研修の計画・実施・まとめ、基礎・基本の確実な定着、学習習慣の定着化などについて協議できるようにする。

学校訪問については、学校経営上の課題解決を支援するための「経営訪問」を1学期に、校内研修で取り組んでいる学習指導上の課題解決を支援するための「要請訪問」を2学期に全小中学校で実施する。

児童生徒に基礎・基本の確実な定着を図るために、標準学力検査を実施し、結果等を分析し授業改善の方策を具体化して、実際の指導に役立てる。また、小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語では、「学力向上プリント」を授業や家庭学習等で活用していく。



学校での授業風景

学校・幼稚園訪問

1 趣 旨

学習指導要領・幼稚園教育要領、群馬県教育委員会の「学校教育の指針」、本市教育委員会の「学校教育方針」及び「伊勢崎教育構想2016」に基づいた学校・幼稚園経営、教育課程の編成実施、教職員の指導力の向上、学力向上、生徒指導等の改善・充実を図るために、事務局職員等が学校・幼稚園に直接出向いて指導援助に当たる。

2 各訪問の概要

<小・中学校>

(1) 経営訪問（1学期）

学習指導要領や「伊勢崎教育構想2016」に基づいた学校経営（教育課程の編成・実施、学力向上、学習指導、生徒指導等を含む）上の課題やその解決策等について協議を行う。

(2) 要請訪問

学習指導上の課題解決のための援助を中心に、校内研修、指定研修への対応、授業研究等、学校からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

<幼稚園>

(1) 幼稚園訪問（1・2学期）

幼稚園教育要領や「伊勢崎教育構想2016」に基づいた幼稚園経営（教育課程の編成・実施、園内研修）上の課題やその解決策等について協議を行うとともに、園内研修の課題を踏まえて、指導力向上のための保育参観及び研究協議を行う。

(2) 要請訪問

幼稚園経営の課題解決のための援助を中心に、園内研修、指定研修への対応、保育研究等、園からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

進路指導

子どもに自らの進路を切り開こうとする意欲や態度を育てるためには、学校と家庭・地域社会が連携し、子ども一人一人の能力・適性を多面的に捉え、個性を伸ばす進路指導を行うことが大切である。また、子ども自身が、将来の生き方を自己の意志で選択し、自分で選んだ生き方については自分自身で責任をとることができる資質や能力を身に付けられるよう、学校の教育活動全体を通して指導・支援する必要がある。

そのために、小学校では、児童が将来への夢や職業へのあこがれをもてるよう、進路に関する学習を意図的・計画的に行うなど、小学校段階における望ましい勤労観の育成に努めている。中学校では、学級活動における進路学習と各種職場体験事業などの啓発的活動との関連を図りながら、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。

また、夢や希望を抱き、その実現に向けて挑戦する意欲や態度を「未来力」と規定し、子どもの「未来力」を高めるために、企業や大学をはじめ、地域で活躍する人が人間の生き方や社会のしくみ等を教える「『未来力』学習講座」を、小中9年間の全学年において実施する。

人権教育

本市では、多様化する人権問題の解決を図るため、市人権教育方針に基づいて、学校における人権教育の一層の改善と充実に努めている。

1 基本方針

- (1) 人権教育とは、人権を相互に尊重し合う人権共存の考え方を理念とし、人権という普遍的文化を構築するための教育活動であり、日常的・体験的な活動を通して推進する。
- (2) 学校教育においては、子どもの発達の段階に即し、各教科の特質に応じ、全教育活動を通じて生命や人権を尊重する心や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育成するとともに、一人一人を大切にされた教育の充実に努める。
- (3) 人権教育の推進に当たっては、生涯学習の観点に立ち、地域の実態に即して積極的に推進されるよう努

めるとともに、公教育としての主体性を守り、関係諸機関・団体との連携を図り総合的に推進する。

2 取組の概要

本市では、人権尊重の精神に基づいた教育行政を行うとともに、「伊勢崎教育構想2016」の3つの教育プランとして「『愛』燦々プラン」、「学力パワーアッププラン」、「地域の学校いきいきプラン」を位置付けている。そして、小中学校が連携した9年間の一貫教育を実施することにより、学校と家庭、地域社会が協働して、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいる。また、講演会等を開催し、教師の人権意識の高揚と指導力の向上を図っている。

各学校・園においても創意工夫ある人権教育を推進するため、人権教育全体計画、推進計画及び年間指導計画の改善を図り、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を確立できる子どもの育成を目指している。さらに、教師自身も地域の人権教育・啓発に関する社会教育活動に参加し、自らの人権意識の高揚を図るとともに、学校・学年・学級通信や授業公開、懇談会等を通して、保護者や地域住民への啓発活動を行うよう努めている。

なお、各学校・園においては、人権に関わる講演会や校長講話、ビデオ視聴、人権標語やポスターの作成、いじめに関するアンケートや友だちの良さや頑張りを認め合う活動、老人ホームへの訪問、外国籍児童や特別支援学校との交流や車いす体験など、子どもの発達の段階に即した創意工夫ある様々な人権教育を推進している。

環境教育

環境を大切に作る心と実践力を育てる環境教育を推進するため、各学校において、伊勢崎市クリーン作戦やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりするなど、環境保全を尊重する心と循環型社会づくりに向けた実践力の育成に努めている。

平成20年度には、「第1回群馬銀行環境財団教育賞最優秀賞」を境南中学校が受賞している。地域と連携した平野部での里山づくりで平成22年度「第3回群馬銀行環境財団教育賞特別賞」、平成23年度「第4回群馬銀行環境財団教育賞優秀賞」を殖蓮中学校が受賞している。またビオトープによる環境学習で平成23年度「第4回群馬銀行環境財団教育賞優秀賞」、平成24年度には「群馬県環境功績賞」を赤堀東小学校が受賞している。

学習環境の改善や心の教育推進のために、全ての小・中学校のトイレの全面改修・洋式化と共にトイレピカピカプロジェクトを実施し、環境教育の一環としてグリーンカーテンなどのエコ活動に子どもたちとともに取り組んでいく。

また、総合的な学習の時間における児童生徒の主体的な環境に関する追求活動をはじめ、それぞれの学校が家庭や地域とも連携しながら特色ある活動を行っていく。

情報教育

将来の高度情報通信ネットワーク社会において、子どもたちが主体的に対応できるよう必要な資質を養うことや情報機器を自他の生活の向上に適切に利用することなど、情報社会に適切に対応していくことは今日の重要な課題となっている。

本市では、情報教育指導体制を充実させ、効果的なICT（Information and Communication Technology）機器（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の活用などにより、子どもたちの情報活用能力の育成を図っている。また、道徳や各教科等の年間指導計画に情報モラル育成のための授業を系統的に位置づけ、携帯電話やパソコンなどによるインターネットやSNSの利便性や危険性の情報提供や啓発事業を行い、家庭と連携して児童生徒が安全に情報社会に参画する態度の育成を図っている。

一方、各教科等の目標を達成する際に効果的にICT機器を活用することについては、ICT環境の整備を進めるとともに、情報教育主任会を中心に、ICT機器を活用した授業実践研究などの情報提供を行うことで、教員のICT活用能力の向上も図っていく。

また、校務の情報化や事務の効率化に向けて、タブレット型PCの導入、PCサポーター活用の推進、校内LANの拡充、教員研修の実施、県総合教育センターとの連携などの事業を充実させていく。

特別支援教育

本市には、知的障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由の各特別支援学級がある。それぞれの特別支援学級では、特別な教育課程を編成し、個々の児童生徒の実態に合ったきめ細かな指導ができるように配慮している。

知的障害特別支援学級は、現在、小学校22校、中学校11校に設置されている。自閉症・情緒障害特別支援学級は、小学校23校、中学校9校に、また、肢体不自由特別支援学級は、小学校1校に設置されている。個々の障害等の状況に応じ、知的障害が軽度の児童生徒は、主として特別支援学級に入級しているが、中度・重度あるいは知的障害を主障害とした重複障害のある児童生徒は、県立特別支援学校に入校している。

また、通級指導教室では、言語や情緒の面で、一部特別な支援を必要とする幼児や児童に対して指導を行っている。現在、北小学校（言語、情緒、LD・ADHD）、赤堀小学校（言語、LD・ADHD）、あずま小学校（言語、LD・ADHD）、境小学校（言語、情緒）の4校に「こども発達相談室」という名称で設置されている。

現在、各学校とも、学校長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となり、発達障害等（LD・ADHD）の理解のための研修を行ったり、校内の支援体制を整えたりするなど、関係機関との連携を深め、教育環境の整備に努めている。

平成25年度に県立移管された県立伊勢崎特別支援学校（旧市立伊勢崎養護学校）では、今まで同様に、本市における特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、来校相談や訪問相談等の相談業務、諸検査や教材開発等の支援業務、講師派遣や校内研修の参加等の研修業務も積極的に行っている。

障害のある子どもの就学に係る教育支援にあたっては、学校、幼稚園等で作成した就学に係る教育支援基礎資料を基に市教育支援委員会で審査を行っている。また就学先の決定に際しては、審査結果等の情報を本人・保護者に提供すると共に、障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえ総合的な観点から、入級・入校等の就学方針を決定している。

外国語指導助手

今日、経済・社会等のグローバル化が進展する中、子どもたちが21世紀を生き抜くためには、国際的共通語である英語によるコミュニケーション能力の基礎を身に付けることが必要であり、このことは子どもたちの将来のためにも、本市の発展のためにも非常に重要な課題である。

そこで、本市では、ネイティブスピーカーである外国語指導助手の有効活用に重点を置いた施策を展開し、合計20名の外国語指導助手を市内小学校、中学校、四ツ葉学園中等教育学校に配置し、子どもたちの発達の段階に応じた英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に努めている。

1 市立中学校11校における英語指導

11名の外国語指導助手を各中学校に配置し、各学校の英語担当教員とのチーム・ティーチングにより、英語コミュニケーション能力を養うために、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく身につけさせる授業を展開していく。



ネイティブな英語に触れる授業

また、通常の授業指導に加えて、英語弁論大会に向けての音声指導などの支援も行っている。日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、生徒との会話を積極的に図りながら、生徒の英会話能力の育成を目指している。

2 四ツ葉学園中等教育学校における英語指導

四ツ葉学園中等教育学校には3名の外国語指導助手が年間を通じて常駐し、英語担当教員とのチーム・ティーチングによる英語指導を行っている。また、部活動でも英語部の顧問として、英会話指導に継続して当たっている。これらにより、四ツ葉学園中等教育学校の生徒が、生きた英語を学べる魅力ある学校生活を送れるよう努めている。

3 市内小学校23校における英語指導

子どもたちが英語の授業を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることを目指して、小学校専任6名、小中学校兼務2名、合計8名の外国語指導助手が各小学校へ週1回程度の訪問指導を行っている。

各学校の学級担任とのチーム・ティーチングでは、ネイティブな音声や英語表現に多く触れさせ、英語を使いながら活動を楽しむことに指導の中心を置いている。また、市共通の展開例を有効活用し、英語指導の充実を図っている。



英語を使いながら楽しく学ぶ英語授業

4 国際理解教育の推進

市内小学校・中学校・四ツ葉学園中等教育学校の児童生徒及び各学校の教職員に対して、20人の外国語指導助手が直接外国の生活や文化について伝える機会を設け、国際理解教育の推進を図っている。授業中における情報提供だけでなく、日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、外国の言語や文化について学ぶ機会を提供している。さらに、アメリカ姉妹都市のスプリングフィールド市の学校と相互に代表が訪問し合ったり、継続的に文化交流したりするなど、国際的に開かれた学校としての取組を行うことが計画されている。また、スプリングフィールド市内にあるミズーリ州立大学で実施する海外研修へは、本市70名の中学生と120名の中等生が参加している。

外国籍児童生徒学校生活適応指導助手配置事業

1 趣 旨

本事業は、外国籍園児児童生徒や帰国児童生徒等日本語指導が必要な園児児童生徒が学校生活に適応できるように、学校生活適応指導助手24人を配置し、日本語の習得や日常の生活習慣を中心に指導・援助を行う。

2 事業内容

- (1) 本事業の対象となる園児児童生徒を学校園ごとに調査・把握し、それぞれの状況に適する適応指導助手の採用及び配置に努める。ただし、本事業の対象は、市内小中学校及び幼稚園に在籍する外国籍園児児童生徒及び帰国児童生徒の中で、日本語が全く、あるいはほとんど通じない者など、学校生活への適応が困難な者とする。
- (2) 適応指導助手による指導・援助は、原則として該当校へ出向いて行うものとする。その計画は、事前に該当校園関係者と協議して決めるものとする。
- (3) 該当校園における指導・援助は、園長、校長及び関係学級担任の指導のもとに、原則として個別指導（取り出し指導）を中心に行うものとする。ただし、実情に応じて効果のある指導形態を工夫する。
- (4) 適応指導助手による訪問指導は、原則として午前4時間、午後2時間をそれぞれ単位として、週2～5回、1ヶ月を一単位の継続指導とする。また、必要に応じて延長することができるものとする。

3 外国籍園児児童生徒数（5月1日現在）

(1) 該当校園数および該当園児児童生徒数

※公立学校に限る。 ※（ ）は内、適応指導を必要とする数。

幼稚園	9/10園	27 (18)	前年比	±0園	+ 2名
小学校	23/23校	622 (273)		±0校	-14名
中学校	11/11校	325 (57)		±0校	+25名
中等教育学校	1/1校	3 (0)			+ 2名
合 計	44/45校園	977 (348)			+15名

(2) 言語系列および国籍別園児児童生徒数 [日本国籍を含む]

①スペイン語 [ペルー・アルゼンチンなど]	320 (92)	前年比	-10名
②ポルトガル語 [ブラジルなど]	303 (131)		+13名
③ベトナム語	145 (35)		+ 8名
④タガログ語	101 (56)		+16名
⑤その他 [パキスタン・中国・イランなど]	108 (54)		+ 7名

地域の教育力の活用

1 学校支援センター制度 ～家庭と地域の方で学校教育の充実を！～

本市では、合併後、各小中学校において「学校支援センター制度」に積極的に取り組んできた。これは「地域の学校いきいきプラン」の一環として、学校の教職員だけを子どもたちの「先生」としてとらえるのではなく、家庭や地域の方々にも「先生」として学校における教育活動に協力していただくものである。これにより児童生徒の指導に当たる大人の数を飛躍的に増加させ、学校の教育力の充実はもとより、開かれた学校運営を通じた地域から信頼される学校づくりを大きく前進させることができた。

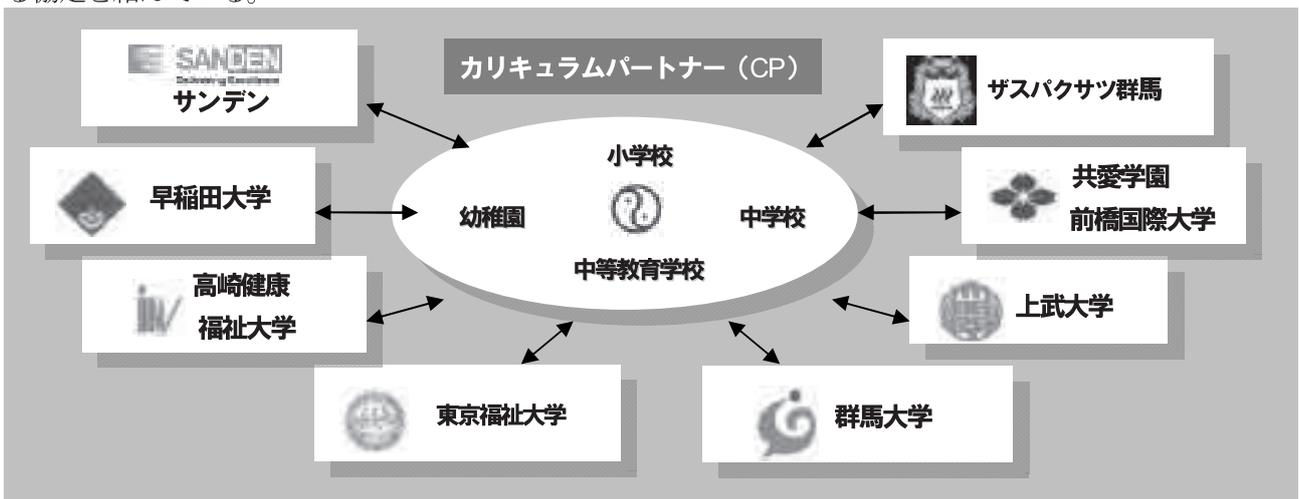
各学校では、教育力の充実と信頼される学校づくりの拠点として「学校支援センター」を設置するとともに、PTAや地域に「学校支援ボランティア」としての参加を呼びかけ、平成27年度の登録人数は15,244人であり、多くの方々の協力をいただくことができた。

2 カリキュラムパートナー制度 ～企業と大学の方で学校教育のさらなる充実を！～

企業や大学は専門性を持つ人材の宝庫で、様々な分野において最先端の取組を行っている人材がたくさんいるとともに、小中学校では考えられないような素晴らしい施設・設備を保有している。学校による活用の工夫によっては、今まで考えられなかったような大きな教育力を発揮してくれる可能性がある。

このようなことから、保護者や地域の方を学校支援ボランティアとして活用する「学校支援センター制度」に加え、もう一つの地域の教育力として、企業人や大学教授・学生を外部指導者・支援者として活用する「カリキュラムパートナー制度」を、「地域の学校いきいきプラン」の一環として、平成20年度に導入した。

現在、地元伊勢崎市やその近隣に本拠地・活動拠点を置くサンデンホールディングス株式会社と株式会社草津温泉フットボールクラブ(ザスパクサツ群馬)の2企業、群馬大学教育学部・同社会情報学部や共愛学園前橋国際大学、上武大学、東京福祉大学、早稲田大学、高崎健康福祉大学の6大学と包括的協力関係に関する協定を結んでいる。



このカリキュラムパートナー制度を推進させる原動力として、「教育改革・いせさき未来会議」を設置し、これからの教育の方向性やカリキュラムパートナーとの連携事業について意見交換をしている。カリキュラムパートナーとの主な連携事業は、次のようなものがある。

サンデンホールディングス	：サンデンフォレスト自然体験、サンデンインターナショナルUSA への訪問、 キャリア講話
ガスパクサツ群馬	：プロのコーチによるサッカー教室、サッカー授業プログラム開発、キャリア講話
共愛学園前橋国際大学	：学生ボランティア、小中一貫英語力づくりプログラム開発、 プレゼンテーション講座、海外進学 TOEFL 講座
上武大学	：キャリア講話、元オリンピック選手による体育授業、駅伝選手による体育授業
群馬大学教育学部	：古典・伝統文化授業
群馬大学社会情報学部	：多文化理解講座・キャリア講話
早稲田大学	：小中一貫英語力づくりプログラム開発、アカデミックキャンプ共同授業
東京福祉大学	：学生ボランティア（夏休み勉強塾・保健室・通常授業）、人間関係作り講座 r t r
高崎健康福祉大学	：食育に関する授業、キャリア講話

3 スマイルサポーター制度

本市では、学校教育をさまざまな面から支援してくれる家庭・地域や企業・大学などの地域人材をすべて「指導者」と位置付け、学校支援センターとカリキュラムパートナーの人材を合わせて「スマイルサポーター」と名付けて指導体制の改善・充実を図っている。この制度は、多様な外部人材により児童・生徒の笑顔を引き出す教育活動の充実を図るためのものである。

これまでもカリキュラムパートナーの協力により、たくさんの外部指導者や学生ボランティアが学校に入り、「できた」「分かった」「よかった」という子どもたちが笑顔になる支援をしてもらった。例えば、平成27年度に小・中学校で実施した夏休み勉強塾では、東京福祉大学をはじめとする100人を超える大学生が児童・生徒の学習支援を行ってくれた。英語活動や日本語教室にも、学生ボランティアが授業支援をしてくれた。そして、大学の先生や企業の方から話を聞く授業では、「すごい」「分かった」「もっと知りたい」といったやる気や笑顔があちこちであふれていた。家庭・地域の外部指導者・学校支援ボランティアの授業やカリキュラムパートナー（企業・大学）の外部指導者の授業でも同様である。これらの取組を継続し、さらに充実させることをねらっている。

4 「未来力」学習講座 ～ 夢や希望をもち、学習や生活の向上に自ら取り組む児童生徒を～

家庭・地域やカリキュラムパートナー（企業・大学）などのスマイルサポーターが、自己の生き方や専門分野などについて教える「未来力」学習講座を、平成23年度から小・中学校の全ての学年において実施している。これは、多種多様な外部講師とのふれあいを通して、児童生徒が夢や希望を膨らませ、それに迫るための目標に向かって努力することの大切さ、素晴らしさを感じることができるようにするものである。

例えば、憧れのサッカー選手から、成功した話だけでなく、壁にぶつかり挫折して苦しんだ話を聞く。グローバル展開している企業の方から、就職するまでの足跡や仕事上の喜びや厳しさ、現在の自分の夢やそれをかなえるために努力していることについての講話を聞く。また、生活科や社会科の現地学習でスーパーマーケットの店長さんから仕事内容の話とともに、仕事上の喜びや大変さなどの話を聞く。そうすることにより、児童生徒が、未来の自分の進路を夢や希望として考えるとともに、それをかなえるために目標をもち、自らの学習や生活の向上に日常的に取り組むようになることをねらっている。

各種補助・援助

1 要保護及び準要保護就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、就学援助として、学用品、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、医療費等を給付し、円滑な義務教育の実施を目的として行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
平成27年度事業	543	35,028,240	64,508	382	47,462,164	124,246
平成28年度事業計画	719	54,739,230	76,132	375	55,604,530	148,278

2 特別支援教育就学奨励

小、中学校の特別支援教育の特殊事業に配慮し、特別支援学級等の就学に必要な保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を目的として、国の援助を受けて行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
平成27年度事業	151	4,567,284	30,246	61	2,603,858	42,686
平成28年度事業計画	192	6,292,285	32,772	100	5,227,445	52,274

3 幼稚園就園奨励

(1) 私立幼稚園就園奨励費補助事業

幼稚園教育の振興充実を図るため、幼稚園に就園する3、4、5歳児及び満3歳児（満3歳に達した幼児が翌年度の4月を待たずに年度途中に入園する場合）の保護者に対し、所得に応じて国の定めた基準により保育料の減免（補助）を行っている。

平成28年度幼稚園就園奨励費補助金の保育料補助（減免）表

市民税額による階層区分		国庫補助限度額		
		第1子	第2子	第3子以降
生活保護世帯		308,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)
非課税世帯		272,000円 (308,000円)	290,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)
所得割非課税世帯				
所得割課税額が77,100円以下の世帯		115,200円 (217,000円)	211,000円 (308,000円)	308,000円 (308,000円)
小学校1年生から3年生までの兄・姉がいる ※1	所得割課税額が211,200円以下の世帯	0円	185,000円 (185,000円)	308,000円 (308,000円)
	上記区分以外の世帯		154,000円 (154,000円)	308,000円 (308,000円)
小学校1年生から3年生までの兄・姉がいない ※2	所得割課税額が211,200円以下の世帯	62,200円 (62,200円)	185,000円 (185,000円)	308,000円 (308,000円)
	上記区分以外の世帯	0円	154,000円 (154,000円)	308,000円 (308,000円)

※1 小学校1年生から3年生までの兄・姉から数えて対象園児が第何子かを決定します。

※2 就学前の子どもを上から数えて第何子かを決定します。（小学校4年生以上は兄・姉の人数には含まれません。）

平成 27 年度 事業実績

<私立幼稚園> 補助対象者 988 人 (19 園) 補助金額 121,721,520 円

(2) 私立幼稚園第3子以降保育料軽減事業

幼稚園就園奨励費補助金と同様に、私立幼稚園に第3子以降の子どもを就園させている世帯に対して、保育料の一部補助を行っている。ただし、就園奨励費補助金と合わせて 308,000 円を減免(補助)する。

平成 27 年度 事業実績

<私立幼稚園> 補助対象者 63 人 (8 園) 補助金額 7,536,310 円

4 奨学金制度

本市の奨学金制度は、旧伊勢崎市、旧赤堀町、旧東村、伊勢崎佐波広域組合にあった制度を統合し、平成 17 年 1 月 1 日伊勢崎市奨学金条例が設けられた。

貸与額

区 分	金 額
高等学校 年額	120,000 円
大学 年額	300,000 円

給与額

入学時給付金	30,000 円
--------	----------

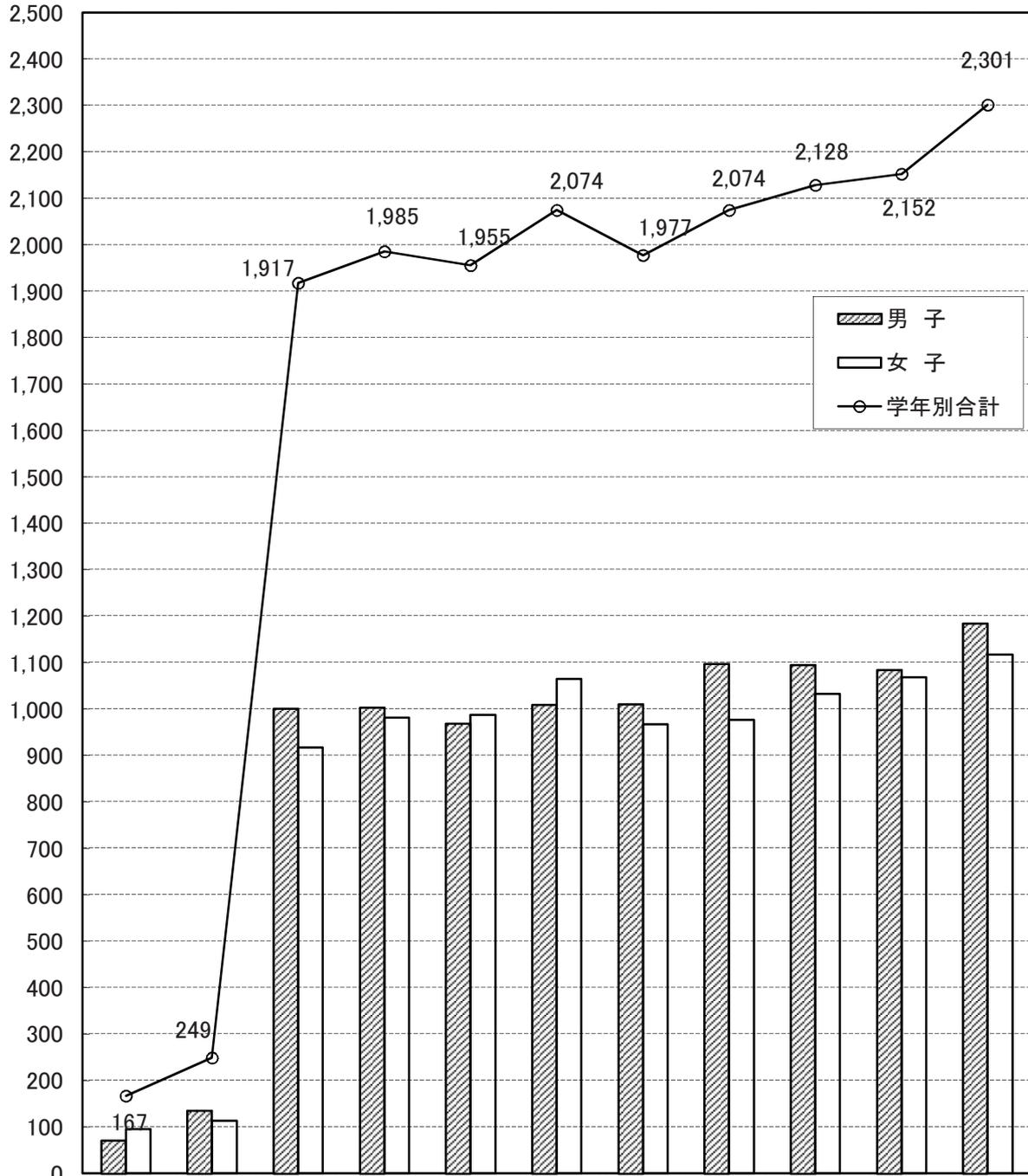
貸与利用状況

	高等学校	大 学	計
平成 27 年度	7 人	10 人	17 人
平成 28 年度	4 人	13 人	17 人

園児・児童生徒数

学年別・男女別構成図

平成28年5月1日現在



人	園市四立歳幼稚児	園市五立歳幼稚児	一小学生	二小学生	三小学生	四小学生	五小学生	六小学生	一中学生	二中学生	三中学生
男子	71	135	1,000	1,003	968	1,009	1,010	1,097	1,095	1,084	1,184
女子	96	114	917	982	987	1,065	967	977	1,033	1,068	1,117
合計	167	249	1,917	1,985	1,955	2,074	1,977	2,074	2,128	2,152	2,301

※中学1年生～3年生の生徒数には、中等教育学校の1年生～3年生の生徒数を含んでいます

園児・児童・生徒数等の推移

1. 幼稚園

(各年5月1日現在)

年度 施設名	19		20		21		22		23		24		25		26		27		28	
	児童 幼児数	学級数																		
第一幼稚園	52	2	40	2	30	2	28	2	34	2	41	2	34	2	26	2	29	2	39	2
南幼稚園	48	3	52	2	47	2	47	2	38	2	39	2	34	2	26	2	21	2	20	2
殖蓮幼稚園	73	3	59	3	49	2	50	2	50	2	52	2	57	3	56	2	66	4	70	3
茂呂幼稚園	45	2	50	2	50	2	43	2	41	2	41	2	29	2	34	2	28	2	17	2
三郷幼稚園	38	2	37	2	30	2	29	2	32	2	33	2	31	2	35	2	31	2	30	2
宮郷幼稚園	69	3	64	3	53	2	58	2	62	3	50	3	52	2	63	3	62	3	52	3
名和幼稚園	47	2	37	2	24	2	19	2	25	2	28	2	27	2	25	2	26	2	25	2
豊受幼稚園	27	2	31	2	24	2	24	2	24	2	20	2	21	2	17	2	12	2	12	2
あかぼり幼稚園	140	6	139	6	148	6	128	5	120	5	132	5	110	4	103	4	86	4	72	4
あずま幼稚園	142	6	113	5	85	4	86	4	91	4	86	4	100	4	98	4	92	4	79	3
合計	681	31	622	29	540	26	512	25	517	26	522	26	495	25	483	25	453	27	416	25

2. 小学校

※伊勢崎市立境島小学校は平成28年3月31日をもって閉校しました。

北小学校	289	14	311	15	354	16	376	17	412	16	427	17	443	17	460	17	468	19	464	20
南小学校	442	15	434	15	420	16	409	16	398	16	389	13	381	14	373	14	377	15	357	15
殖蓮小学校	751	27	774	27	776	27	757	27	755	28	739	27	717	25	660	24	664	23	627	22
茂呂小学校	690	23	712	25	706	25	727	26	739	27	733	28	736	28	734	25	747	28	749	29
三郷小学校	692	24	730	25	742	26	752	27	743	26	738	25	717	26	729	27	696	25	677	24
宮郷小学校	977	30	967	31	951	32	925	31	884	30	870	31	837	31	798	30	799	29	819	30
名和小学校	459	15	465	16	481	19	475	19	505	20	495	20	500	21	480	20	473	18	470	18
豊受小学校	751	26	744	26	721	25	689	25	670	24	641	23	635	23	584	21	589	21	581	21
北第二小学校	309	14	301	14	281	14	259	14	256	14	245	14	229	12	218	10	199	10	199	10
殖蓮第二小学校	470	18	480	17	463	17	462	18	457	17	456	17	461	17	453	18	426	18	438	18
広瀬小学校	916	31	894	30	867	31	839	30	789	29	702	26	659	25	607	23	578	22	571	24
坂東小学校	561	20	565	22	577	21	576	22	550	21	536	21	542	20	541	19	515	19	491	20
宮郷第二小学校	926	31	995	34	985	34	969	33	936	32	912	33	891	33	861	31	809	30	799	30
赤堀小学校	647	21	666	22	660	24	672	25	671	23	663	24	645	25	631	24	633	24	630	24
赤堀南小学校	454	15	460	15	512	18	540	19	562	21	584	21	595	21	603	21	606	22	597	22
赤堀東小学校	400	14	418	15	429	16	422	16	418	16	431	17	433	17	416	16	402	16	392	16
あずま小学校	538	19	555	19	552	19	583	21	561	20	561	20	570	21	565	21	559	21	539	20
あずま南小学校	644	22	689	23	681	24	658	23	655	24	641	23	656	23	632	22	638	23	620	22
あずま北小学校	514	19	520	18	511	19	491	18	473	18	478	19	485	18	478	17	488	17	495	18
境小学校	383	14	378	14	368	14	351	14	338	14	343	15	335	15	339	14	352	14	362	14
境采女小学校	448	16	457	16	453	17	454	18	438	17	437	18	437	17	406	16	397	16	401	16
境剛志小学校	469	18	479	18	463	19	473	19	455	17	434	17	426	17	410	17	397	16	363	14
境島小学校	38	6	36	3	34	4	29	3	23	3	19	3	20	3	17	3	10	3		
境東小学校	341	13	348	13	328	13	334	13	335	14	316	14	313	13	332	14	343	14	341	14
合計	13,109	465	13,378	473	13,315	490	13,222	494	13,023	487	12,790	486	12,663	482	12,327	464	12,165	463	11,982	461

3. 中学校

第一中学校	500	14	547	16	554	15	561	16	553	17	561	18	566	18	569	18	538	17	541	17
第二中学校	639	19	646	19	667	20	638	21	605	21	634	20	634	19	655	20	619	21	600	20
第三中学校	651	19	610	19	612	19	608	19	614	20	639	20	638	19	668	21	672	22	693	22
第四中学校	637	20	652	20	641	19	636	19	613	19	608	20	600	20	586	19	606	19	592	19
殖蓮中学校	608	18	584	17	575	17	559	16	570	18	554	17	553	18	565	18	568	18	571	20
宮郷中学校	730	22	777	23	811	24	840	24	847	25	868	26	889	26	915	27	887	26	822	24
赤堀中学校	616	17	644	18	668	19	680	20	708	22	713	22	763	23	766	23	788	25	799	25
あずま中学校	752	22	768	24	794	24	774	22	781	23	756	22	776	24	787	26	802	26	810	25
境北中学校	263	10	234	8	219	8	202	7	217	8	224	9	219	8	215	8	209	7	206	7
境西中学校	191	7	213	7	216	7	221	7	223	8	223	8	227	8	235	8	228	9	233	10
境南中学校	425	13	405	13	402	12	392	13	398	13	369	13	343	11	329	12	313	10	330	11
合計	6,012	181	6,080	184	6,159	184	6,111	184	6,129	194	6,149	195	6,208	194	6,290	200	6,230	200	6,197	200

4. 中等教育学校

四ツ葉学園中等教育学校					128	4	254	8	382	12	509	16	630	20	749	24	753	24	755	24
-------------	--	--	--	--	-----	---	-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

参考

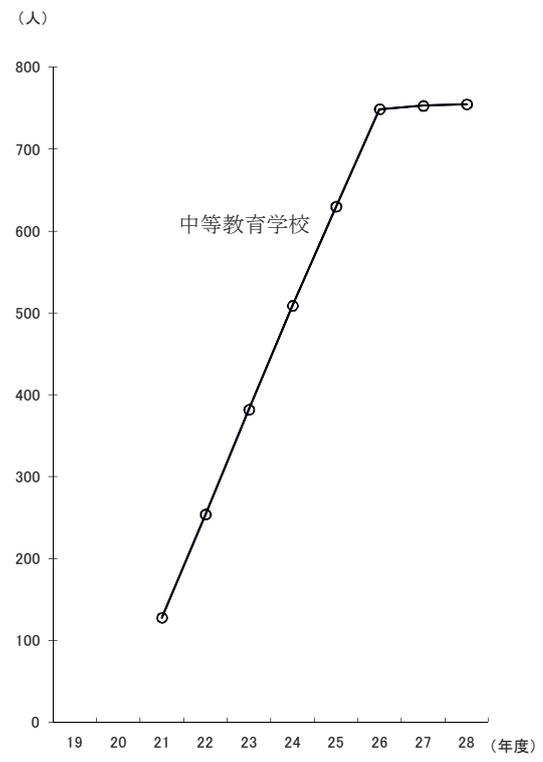
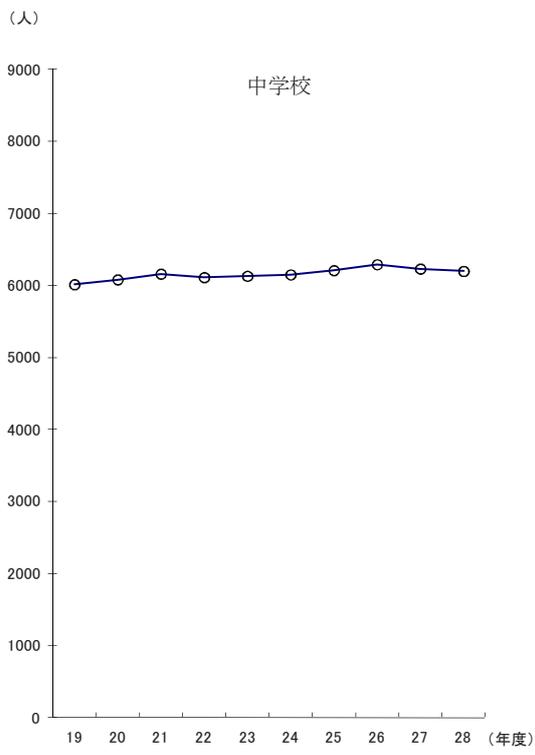
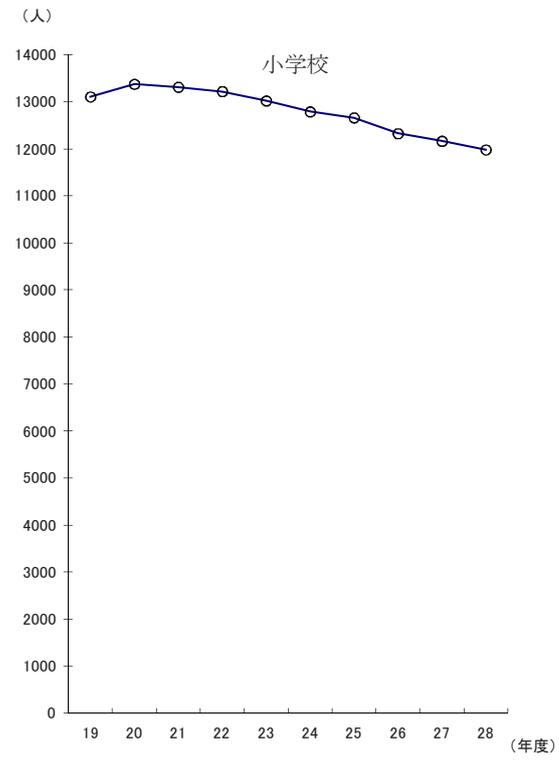
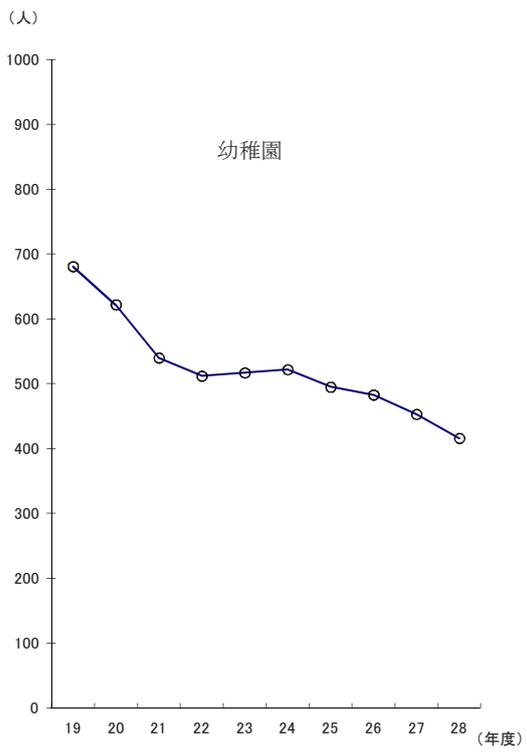
※伊勢崎市立伊勢崎高等学校は平成26年3月31日をもって閉校しました

伊勢崎高等学校	570	15	579	15	539	15	491	15	443	15	295	10	140	5						
---------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	---	--	--	--	--	--	--

※伊勢崎市立伊勢崎養護学校は、平成25年4月1日に県へ移管され「群馬県立伊勢崎特別支援学校」となりました

伊勢崎養護学校	56	19	53	18	55	18	67	22	70	22	73	23								
小学部																				
中学部	40	12	41	12	44	13	40	12	43	13	41	12								

Ⅲ 学校教育



平成28年5月1日現在児童生徒数 男女別

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
小学校	北小	40	29	69	35	44	79	54	33	87	41	35	76	32	38	70	40	43	83	242	222	464
	南小	26	20	46	33	28	61	35	41	76	31	33	64	25	27	52	27	31	58	177	180	357
	殖蓮小	40	47	87	66	49	115	51	38	89	61	46	107	58	47	105	70	54	124	346	281	627
	茂呂小	56	69	125	63	64	127	54	66	120	53	68	121	61	61	122	72	62	134	359	390	749
	三郷小	57	48	105	53	60	113	68	61	129	41	53	94	74	50	124	53	59	112	346	331	677
	宮郷小	80	70	150	62	72	134	61	61	122	76	68	144	66	81	147	63	59	122	408	411	819
	名和小	45	31	76	36	39	75	30	32	62	37	56	93	36	38	74	47	43	90	231	239	470
	豊受小	51	39	90	56	50	106	36	44	80	49	57	106	43	51	94	55	50	105	290	291	581
	北二小	24	13	37	13	12	25	19	13	32	20	22	42	12	20	32	18	13	31	106	93	199
	殖二小	51	34	85	23	33	56	37	37	74	50	32	82	28	30	58	55	28	83	244	194	438
	広瀬小	52	44	96	42	54	96	40	48	88	45	57	102	54	36	90	59	40	99	292	279	571
	坂東小	31	47	78	43	37	80	42	42	84	38	55	93	33	34	67	44	45	89	231	260	491
	宮二小	68	57	125	62	64	126	58	78	136	72	62	134	58	75	133	81	64	145	399	400	799
	赤堀小	63	54	117	55	41	96	52	50	102	56	42	98	61	48	109	62	46	108	349	281	630
	赤南小	48	55	103	60	43	103	46	46	92	52	53	105	62	39	101	43	50	93	311	286	597
	赤東小	29	27	56	32	33	65	22	31	53	36	43	79	32	34	66	29	44	73	180	212	392
	あずま小	44	41	85	43	42	85	43	53	96	43	45	88	44	51	95	44	46	90	261	278	539
	あずま南小	55	34	89	69	41	110	51	50	101	54	62	116	51	48	99	57	48	105	337	283	620
	あずま北小	41	38	79	47	43	90	38	42	80	42	44	86	37	44	81	42	37	79	247	248	495
	境小	26	29	55	28	33	61	29	31	60	26	28	54	45	30	75	36	21	57	190	172	362
	境采女小	32	34	66	25	36	61	26	29	55	30	44	74	34	43	77	30	38	68	177	224	401
境剛志小	22	32	54	28	32	60	40	28	68	30	36	66	29	24	53	33	29	62	182	181	363	
境東小	19	25	44	29	32	61	36	33	69	26	24	50	35	18	53	37	27	64	182	159	341	
小学計	1000	917	1,917	1003	982	1,985	968	987	1,955	1009	1065	2,074	1010	967	1,977	1097	977	2,074	6,087	5,895	11,982	
中学校	第一中	97	81	178	88	82	170	86	107	193									271	270	541	
	第二中	90	100	190	102	97	199	107	104	211									299	301	600	
	第三中	118	110	228	115	120	235	136	94	230									369	324	693	
	第四中	100	83	183	99	106	205	105	99	204									304	288	592	
	殖蓮中	87	97	184	91	85	176	103	108	211									281	290	571	
	宮郷中	137	100	237	150	134	284	135	166	301									422	400	822	
	赤堀中	143	139	282	123	136	259	140	118	258									406	393	799	
	あずま中	127	137	264	134	123	257	143	146	289									404	406	810	
	境北中	35	24	59	44	24	68	54	25	79									133	73	206	
	境西中	38	41	79	31	36	67	45	42	87									114	119	233	
	境南中	61	55	116	45	59	104	67	43	110									173	157	330	
	中学計	1033	967	2,000	1022	1002	2,024	1121	1052	2,173									3,176	3,021	6,197	

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中等	四ツ葉学園	62	66	128	62	66	128	63	65	128	62	64	126	61	64	125	55	65	120	365	390	755

幼稚園

園名	4歳児			5歳児			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計			
第一	6	11	17	10	12	22	16	23	39
南	6	4	10	6	4	10	12	8	20
殖蓮	5	18	23	28	19	47	33	37	70
茂呂	3	3	6	8	3	11	11	6	17
三郷	9	8	17	7	6	13	16	14	30
宮郷	5	14	19	17	16	33	22	30	52
名和	5	6	11	10	4	14	15	10	25
豊受	2	2	4	3	5	8	5	7	12
あかぼり幼	17	15	32	23	17	40	40	32	72
あずま幼	13	15	28	23	28	51	36	43	79
幼稚園計	71	96	167	135	114	249	206	210	416

学校体育保健

1 主要事業

1 体力の向上

(1) 指導の充実と環境づくり

各学校の体力の現状に応じて、児童生徒が自主的・継続的に体力向上に取り組めるよう指導の充実と環境づくりを図る。

(2) 運動部活動の充実と指導者及び選手の育成

中学校における適正な部活動運営に基づき、学校と地域・家庭、外部指導者等と積極的に連携しながら、県・関東・全国大会に出場できる選手の育成を図る。

2 健康・安全教育の推進

(1) 健康診断の充実と健康管理の徹底

健康診断の事前指導・事後措置を徹底し、児童生徒の健康状態を把握して、自己管理および健康の保持増進に努める。

日常の健康観察から、児童生徒の健康状態を的確に把握し健康管理に努め、心身の健康問題を抱える児童生徒に対して、迅速に健康相談を実施し問題解決にあたる。

また、家庭や関係機関と連携して、感染症や食物アレルギー、熱中症等の予防対策に努める。

(2) 薬物乱用防止教育及び性教育に関する指導（エイズを含む）の徹底

飲酒・喫煙・薬物乱用防止に関する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるよう関係機関と連携した薬物乱用防止教育の実施に努める。

発達段階に応じた性に関する指導（エイズ含む）を実施し、自他の生命を重んじる指導の充実に努める。

(3) 学校保健会の充実

学校・医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健所との連携を深め、児童生徒の健全育成の支援を図る。

(4) 生活安全指導の徹底

各学校・園の部活動、クラブ活動、休憩時間等の日常生活における事故防止の徹底に努める。危機管理マニュアルの見直しを図り、実効性を高めるための工夫した避難訓練（火災・地震）、防犯訓練（不審者侵入）の充実に努める。

(5) 登下校における安全管理の徹底

伊勢崎市通学路交通安全プログラムに則り、通学路上の危険箇所を把握し、各学校・園と保護者、地域、関係各課、警察署、交通指導員、土木事務所等の連携による通学路の安全確保に努める。

交通安全については、自転車の安全利用（ヘルメット着用、一時停止励行等）の徹底を図るとともに、交通規則の厳守・励行の指導強化及び危険回避能力を育成するための安全教育の充実に努める。

(6) 自動体外式除細動器（AED）のメンテナンスとAED普通救命講習会の受講

全学校・園へ配備された自動体外式除細動器（AED）のバッテリーやパッド交換のメンテナンスを行う。また、定期的に教職員を対象とした普通救命講習会を開催し、AEDの使用・心肺蘇生法などの応急手当に関する知識技能の向上を図り、万一の時に備えた万全の体制を整える。

(7) 学校安全、学校保健・学校給食の点検の徹底

学校施設の点検を例月実施して、その結果を点検集約票にまとめるとともに施設整備や遊器具の安全確保に努める。又、学校保健・学校給食については、日々の点検や学期毎の点検集約を通して、学校環境の衛生管理に努める。

3 食育の推進

(1) 望ましい食習慣育成のための食育の充実

「いせさき家族で『いただきます』の日」の推進を図り、基本的な生活習慣の確立、心身の成長や健康の保持増進、家族のコミュニケーションを通じた親子の信頼関係の構築等、豊かな人間形成の基礎づくりに努める。

(2) 食に関する指導の充実

地場産農作物を活用した給食の提供や栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進を図り、食に対する興味関心を高め、児童生徒自身の食生活の見直しに努める。

4 学校体育・保健関係団体の充実

(1) 小学校体育研究会の充実

児童の水泳・陸上記録会の開催とザスパクサツ群馬との体育実技講習会やなわとび指導者講習会等の実施及び研究会の充実を図る。

(2) 中学校体育連盟の充実

春季大会、総合体育大会、新人大会の運営の充実と生徒の競技力の向上を図る。

(3) 小・中学校体育主任会の充実

学校体育・保健体育の指導及び部活動等、児童生徒の体力向上に関して小・中学校並びに伊勢崎市教育研究所との連携を図る。

5 臨海学校の充実

(1) 集団宿泊学習の充実

海水浴の訓練、キャンプファイヤー、レクリエーション、水族博物館見学、係活動等を通して、集団行動の楽しさや秩序の大切さを指導する。

(2) 臨海学校運営委員会・実施校合同会議の開催

臨海学校の充実、発展のために伊勢崎市・玉村町教育委員会と伊勢崎市・玉村町 28校の連携と連絡を図る。

(3) 臨海学校指導者研修会の実施

臨海学校の目的を達成するために、入校学年の教諭等を対象とした事前研修の充実を図る。

(4) 臨海学校金山海水浴場ボランティア清掃の実施

23 小学校の児童・保護者を対象に、児童の活動場所である金山海水浴場の清掃をボランティア活動として行い、美化の一助とするとともに、臨海学校周辺地域への感謝の意を表する。

日本スポーツ振興センター

学校管理下における児童・生徒の負傷に備え、日本スポーツ振興センターに加入しております。

1. 月別災害発生件数（平成27年度）

（単位：件）

月 區別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
	幼稚園	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	
小学校	43	41	53	33	6	37	51	60	33	37	45	26	465
中学校	35	37	53	42	32	57	53	27	39	28	28	33	464
中等教育学校	5	2	14	4	5	12	6	6	10	3	2	1	70
合 計	83	80	120	79	43	106	111	94	83	68	75	60	1,002

2. 傷害発生件数（平成27年度）

（単位：件）

種別 區別	捻挫		骨折		打撲	挫傷・挫創	擦過傷	裂創・切傷	頭部外傷	脱臼	歯牙損傷	眼球外傷	その他	合 計
	上肢	下肢	上肢	下肢										
幼稚園	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
小学校	46	61	101	27	43	75	3	18	15	3	22	22	29	465
中学校	41	80	115	42	34	45	4	5	6	6	5	20	61	464
中等教育学校	5	11	10	2	6	10	0	1	1	0	4	5	15	70
合 計	92	152	227	71	84	131	7	24	22	9	31	47	105	1,002

3. 災害発生の場合別件数（平成27年度）

（単位：件）

場合別 區別	各教科 (保育中)	特別活動	部活動	休憩時間		始業前 授業終了後	登下 校中	その他	合 計
				業間	昼食時				
幼稚園	3	0	0	0	0	0	0	0	3
小学校	121	43	2	82	86	61	48	22	465
中学校	99	27	251	16	9	19	28	15	464
中等教育学校	20	9	29	2	1	2	7	0	70
合 計	243	79	282	100	96	82	83	37	1,002

四ツ葉学園中等教育学校

1 概要

所在地 群馬県伊勢崎市上植木本町 1702 番地 1
職員数 校長、教頭 2 人、事務長、教諭 64 人、養護教諭 2 人、事務職員 6 人 合計 76 人
生徒数 755 人（1 年 128 人、2 年 128 人、3 年 128 人、4 年 126 人、5 年 125 人、6 年 120 人）

2 教育理念

未来・世界にはばたく、高い知性と道徳性を身に付けた教養人を育成する。

3 教育目標

教育理念の実現に向け、4 つの目標（四ツ葉）を柱に、6 年間の一貫教育を推進する。

(1) 自 学

高い志をもち、自ら考え、真理を追求する生徒

(2) 自 律

自由な精神のもと、自らを律し、正義を貫く生徒

(3) 共 同

共に学び合い、共に協力し合い、創造する生徒

(4) 共 生

博愛の精神のもと、個性を認め合い、共に磨き合える生徒

4 特色ある教育

(1) 中等教育学校のメリットを最大限に活用

- ① 6 年間の一貫教育で夢と希望を実現
 - 発達段階に応じた 3 段階の学習ステージ（「基礎期」「充実期」「発展期」）
- ② 高校入試の影響を受けない教育活動
 - 継続的・効率的な学習・部活動等の実施
- ③ 中等教育学校ならではの教員配置
 - 前期課程から義務校及び高等学校にて豊かな経験を有する教師をバランスよく配置
- ④ 上級生と下級生の交流の充実（サポートリーダー制）
 - 上級生から下級生へ、学習・生活・進路面等についてアドバイスする機会を設定
- ⑤ 教育効果を高める充実した施設
 - セミナーハウス（宿泊室・浴室・和室）、トレーニングルーム、進路指導室など

(2) 一人ひとりの学力を徹底的に伸ばす SUP や学習合宿

学習習慣の定着や基礎学力の養成、そして、さらなる学力向上のため、授業以外の学習時間を確保する取組として、スキルアッププログラム（SUP）を導入しています。具体的には、毎朝の始業前に読書などを行う「朝 SUP」、放課後に学習内容を補充したり英検・数検・漢検などの検定試験学習をしたりする「放課後 SUP」、土曜日に各教科のさらなる学力向上を図る「土曜 SUP」、夏季休業中に基礎学力の強化や発展的学習による学力向上を図る「夏季 SUP」を実施しています。

また、自律した学習者になるために必要な、自ら立てた計画に基づいた学習をやり切る力を身に付ける「学習合宿」を、夏季休業中に後期課程生徒を対象として実施しています。

(3) 知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びをつかみとるチャレンジ学習

伊勢崎市とカリキュラムパートナー関係にある企業及び大学や地域の方々と連携し、学校では学ぶことのできない専門的な知識や技能の習得にチャレンジする授業の実施など、特色ある教育活動を展開しながら生徒の知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びを実感できるようにします。

1年生は、サンデン株式会社と連携し、環境についての探究学習「森に学ぶ」を行います。2年生は、各大学と連携した「アカデミックキャンプ」において、「環境」「ものづくり」「伝統文化」「多文化理解」の4領域で最先端の知識・技能に触れる活動を行います。3年生は、首都圏の総合大学や一流企業を訪問する「キャリアディスカバリー」を行い、社会人としての資質の向上を図るとともに、一人ひとりの将来へのビジョンを具体化します。



(4) グローバル社会を見据え、世界で活躍できる人材づくり



これからの世の中はグローバル化が一層進みます。子どもたちの視野を世界に広げ、国際社会で活躍のできる生徒の育成を目指します。

そこで、3年生の希望者30名は米国ミズーリ州スプリングフィールド市にある**ミズーリ州立大学付属の語学学校(ELI)**における、2週間の語学研修に参加します。

4年生では9月に2泊3日の「**グローバルスタディーズキャンプ**」を高山村で実施し、英語のコミュニケーション能力の向上とグローバル化する社会に対応する資質を培います。

5年生では、ミズーリ州立大学で11日間の**海外グローバルリーダー研修**を実施します。現地ではグローバルな課題(環境、貧困など)について、講義やフィールドワークを通して体験的に学びます。

5、6年生では、高齢化などの社会問題についてビジネスの観点から解決策を考える、**ソーシャルビジネス**について学習します。これらの6年間の活動を通して、生徒の英語力の向上はもちろん、視野を世界に広げ、生徒が自分の未来に、そして世界にはばたいていける教育を推進します。

5 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4月	始業式、入学式、新入生歓迎会 中体連春季大会、避難訓練	10月	中間試験、学校公開 マラソン大会
5月	高校総体、中間試験、宿泊オリエンテーション(1年) 母校訪問(1年)、海外グローバルリーダー研修(5年)	11月	小学校対象入学者選抜説明会 キャリアディスカバリー(3年)
6月	学校説明会、進路セミナー 四ツ葉杯、期末試験	12月	期末試験 合唱コンクール
7月	中体連総体、非行防止教室 学習合宿、夏季SUP(前期)	1月	百人一首大会 入学者選抜検査
8月	海外語学研修(3年) 夏季SUP(後期)	2月	入学予定者オリエンテーション 社会人への取材活動(2年)、期末試験
9月	アカデミックキャンプ(2年) グローバルスタディーズキャンプ(4年)	3月	卒業式、関西伝統文化研修(3年) 終業式、春季SUP

教育研究所

1 概要

- (1) 根拠条例 伊勢崎市教育研究所条例（平成17年1月1日条例第95号）
伊勢崎市教育研究所条例施行規則（平成17年1月1日教育委員会規則第28号）

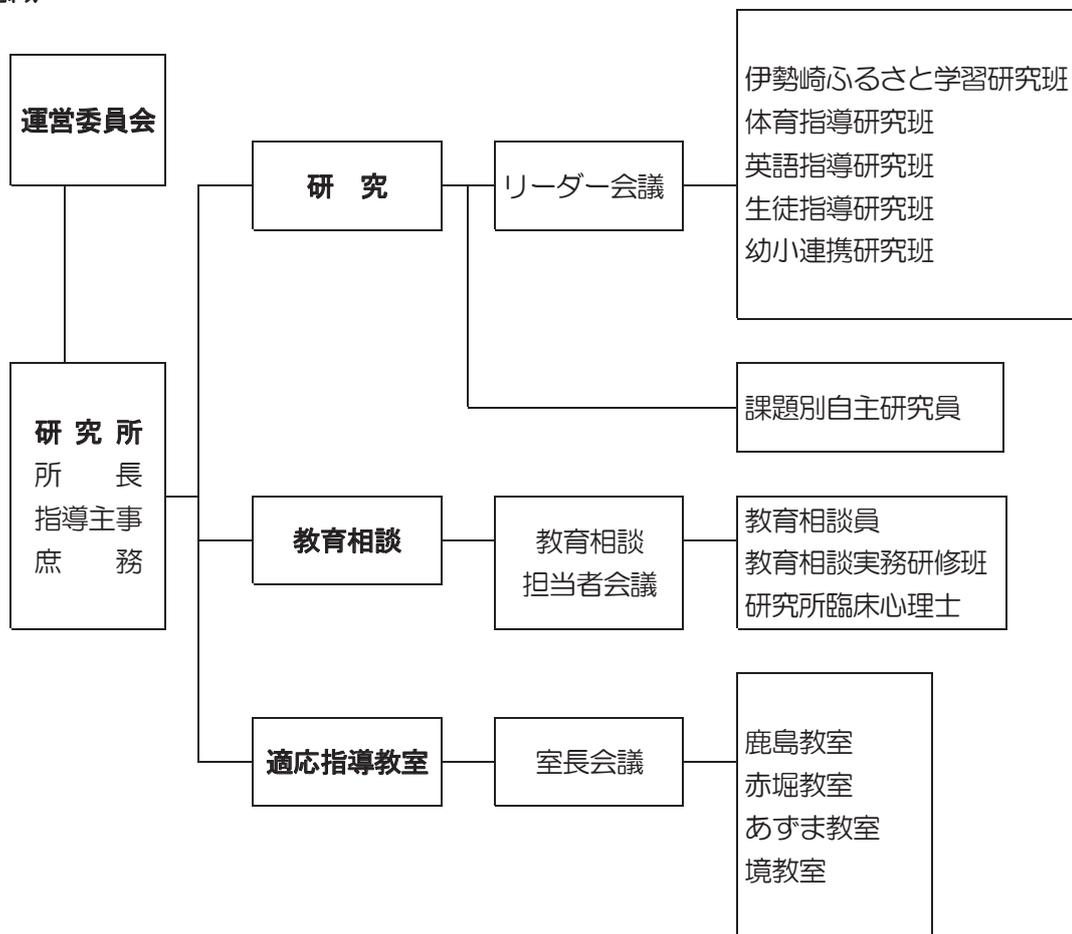
(2) 基本方針

伊勢崎市教育行政方針を踏まえ、教職員の資質の開発、向上及び学校教育の課題解決に寄与するために、研究事業、教育相談事業、不登校対策事業、研修講座事業、教育資料提供事業を実施する。

(3) 努力点

- ア 学校の教育課題の即時解決に向けた情報発信及び情報収集に努める。
- イ 教育相談体制の改善・充実に努める。
- ウ 不登校児童生徒の集団への適応力を培うために、体験活動を重視するなど子どもに寄り添った指導を行う。

(4) 組織



〈運営委員会〉	小学校長顧問、中学校長顧問、幼稚園長顧問、 小学校教頭顧問、中学校教頭顧問 学校教育課長、教育企画係長、教職員係長、指導係長、管理主事、指導主事、 所長、研究所担当指導主事
〈リーダー会議〉	研究班リーダー、所長、研究所担当指導主事
〈教育相談担当者会議〉	教育相談員、教育相談実務研修員、教育相談担当指導主事、 研究所担当指導主事、研究所臨床心理士
〈室長会議〉	適応指導教室室長、所長、研究所担当指導主事

2 研究事業

(1) 研究班

ア 研究テーマ

(ア) 伊勢崎ふるさと学習研究班

自分たちの生活する「ふるさと伊勢崎」に目を向け、生き生きと学ぶ子どもの育成
～「地域人材」の活用に着目した年間指導計画の改善を通して～

(イ) 体育指導研究班

「運動好きな児童の育成」

～ともに体を動かす仲間づくりの実践を通して～

(ウ) 英語指導研究班

伊勢崎式 小・中一貫英語力向上カリキュラムの作成を目指した英語指導の充実Ⅱ

～「学ぶ」から「できる」へ・各段階において目標となる言語活動の設定と教材の開発～

(エ) 生徒指導研究班

いじめ・不登校の未然防止に関する実践研究

～自分の居場所のある温かい学級づくりを通して～

(オ) 幼小連携研究班

「幼小の滑らかな接続を図るための実践的研究」

～アプローチ・スタートカリキュラムの作成・実践を通して～

(カ) 課題別自主研究班

日本語指導が必要な児童生徒に対する「特別の教育課程」の取組と、個に応じた指導方法について実践を通して検証する。

イ 研究日及び研究時間

水曜日 15:30～16:45

ウ 研究の報告

○随時、教育研究班だより等により発信。

○年度ごとに研究の記録としてまとめる。

3 教育相談事業

(1) 教育研究所教育相談員による教育相談

○学校及び適応指導教室との連携に努める。

○教育相談実務研修員と協力しながら教育相談に努める。

(2) 教育相談実務研修員による教育相談

○教育相談技術の向上と教育相談技術中級以上の取得を目指す。

○火～金曜日（14:30～16:45）に教育研究所教育相談員と2人体制で実施する。

4 不登校対策事業

(1) 適応指導教室の運営

○乗馬体験や自然体験活動等の体験活動を効果的に取り入れ、児童生徒相互のかかわり合いを深めることにより、集団に適応する力を培う。

○研究所臨床心理士を活用し、専門家から得た助言等を指導・支援に生かす。

○室長会議や教育相談研究協議会を定期的に開催し、適応指導教室間及び適応指導教室と学校との連携を図ることにより、不登校の未然防止・早期解決に努める。

(2) サポートケース会議

○不登校児童生徒の自立及び学校復帰にかかわる諸問題の早期解決を目指し、心療内科医師、臨床心理士、児童相談所職員等の専門家を招聘し、今後の支援等について協議する。

(3) 教育相談研究協議会

- 学校関係者との共通理解の下、以下の内容について重点的に研究協議し、不登校・いじめの未然防止、早期発見に努める。
- ・適応指導教室と学校・家庭・関係機関との具体的な連携のあり方について。
- ・不登校問題の未然防止、不登校の早期解決に向けた取り組み方について。

5 研修講座事業

(1) 教育相談研修講座

- 期 日 年間計画により実施（年9回12講座程度）
- 内 容 教育相談技術初級取得並びに教育相談技術の向上のための講座
- 対 象 各幼稚園、各学校から初級未取得者1名程度

(2) 幼保小連携研修講座

- 期 日 7月22日（金）の午後実施
- 内 容 保育に関わる教職員の資質の向上、指導方法の工夫改善・充実。
保育と小学校の学びが滑らかに接続していける指導方法の工夫
- 対 象 市内公立教職員（市内私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園にも紹介）

(3) 夏季研修講座

- 期 日 8月4日（木）、5日（金）の午後実施
- 内 容 市教育課題の解決（社会で求められる能力等）
- 対 象 市内公立教職員から、教職経験年数や校務分掌に応じて2人以上の参加者を募集
教育研究所研究員・研修員
学校経営研修講座受講者

(4) 特別研修講座

- 期 日 10月5日（水）の午後実施
- 内 容 市教育課題の解決（学力向上等）
- 対 象 教育研究所研究員等

(5) 伊勢崎教師塾

- 期 日 5月19日（木）、6月3日（金）、10月25日（火）、11月8日（火）、1月26日（木）
の午後実施
- 内 容 学校教育が抱える課題と改善策をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 各学校（園）から、教職経験年数に応じて自主参加者を募集（臨時含む）

(6) 外国籍児童生徒の理解講座

- 期 日 6月14日（火）、10月18日（火）の午後実施
- 内 容 外国籍児童生徒への理解を促進し、学校教育が抱える課題の解決を図るための講習会を実施する。
- 対 象 市内公立教職員から、参加者を募集（日本語教室担当者及び日本語教育研究班含む）

6 教育資料提供事業

- (1) 教育資料の整備・充実
- (2) 学校及び市民への情報提供

7 その他

- (1) 群馬県総合教育センター、群教連、関教連との連携
- (2) その他の機関との連携

IV 学校給食



給食準備の様子

学校給食の充実

1 基本方針

発育期にある児童・生徒が健全な心と身体を培い、未来や国際社会に向かって羽ばたくことができるようにするとともに、心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切です。

2 重点施策

(1) 学校給食を活用した食育指導の充実

- ア 栄養教諭、学校栄養職員による食に関する指導の実施
- イ 地場産農作物を利用した給食の提供



給食時食育指導の様子

(2) 平成28年度給食実施計画

ア 給食実施校

幼稚園	2 園
小学校	23 校
中学校	11 校
特別支援学校	1 校
計	37 校(園)

給食予定回数 幼・小・中・特別支援学校 200回以内

調理場	給食対象校
第一学校給食調理場 (給食能力 9,000食)	南小学校・茂呂小学校・名和小学校・豊受小学校・広瀬小学校・ 坂東小学校・特別支援学校(小学部)、第一中学校・ 第二中学校・第四中学校・特別支援学校(中学部) 10校
第二学校給食調理場 (給食能力 9,000食)	北小学校・殖蓮小学校・三郷小学校・宮郷小学校・北第二小学校・ 殖蓮第二小学校・宮郷第二小学校、 第三中学校・殖蓮中学校・宮郷中学校 10校
赤堀学校給食調理場 (給食能力 2,500食)	あかぼり幼稚園、赤堀小学校・赤堀南小学校・赤堀東小学校、 赤堀中学校 5校
あずま学校給食調理場 (給食能力 2,700食)	あずま幼稚園、あずま小学校・あずま南小学校・あずま北小学校、 あずま中学校 5校
境第一学校給食調理場 (給食能力 2,000食)	境小学校・境東小学校、 境南中学校 3校
境第二学校給食調理場 (給食能力 3,000食)	境采女小学校・境剛志小学校、 境北中学校・境西中学校 4校

イ 給食費

年間給食回数 200回以内

幼稚園(旧佐波)年間44,400円 小学校 年間44,400円

中学校 年間53,000円

ウ 給食の状況（平成28年4月現在）

区 分	第一学校 給食調理場	第二学校 給食調理場	赤堀学校 給食調理場	あずま学校 給食調理場	境第一学校 給食調理場	境第二学校 給食調理場
幼稚園園児数			73	79		
幼稚園職員数			9	8		
小学校児童数	3,209	4,011	1,617	1,654	699	763
小学校教職員数	199	258	108	108	68	51
中学校生徒数	1,725	2,058	795	785	334	437
中学校教職員数	126	141	55	55	37	44
特別支援学校 児童生徒数	145					
特別支援学校 教職員数	81					
調理場職員数	39	39	23	20	15	13
合 計	5,524	6,507	2,680	2,709	1,153	1,308

エ 栄養摂取基準量

区 分	小 学 校 (中学年)	中 学 校	1日の栄養所要量に対す る学校給食の割合 (%)
エネルギー (Kc a l)	640	820	33
たんぱく質 (g)	24	30	
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25%~30%		
食塩相当量 (g)	2.5 未満	3.0 未満	33%未満
カルシウム (m g)	350	450	50
鉄 (m g)	3	4	33
マグネシウム (m g)	80	140	50
食物繊維 (g)	5.0	6.5	
亜鉛 (m g)	2	3	33
ビタミンA (μ g RE)	170	300	40
ビタミンB1 (m g)	0.4	0.5	40
ビタミンB2 (m g)	0.4	0.6	40
ビタミンc (m g)	20	35	33



「学校給食ぐんまの日
(10月24日)に合わせた献立」

【献立名】

背割れこめっこパン、みそだれ
伊勢崎ごぼうコロッケ、牛乳
おっきりこみ、おかかあえ

オ 学校給食運営委員会 委員数15人

事業計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食センターの運営に関し、必要な事項を審議する。

会議は、年2回以上開催する。

カ 学校給食年間指導計画

平成28年度の教育行政方針に基づき、学校給食の充実を図るため、学校給食年間指導計画を作成し、成長過程にある児童・生徒が、食生活の正しい理解と望ましい食習慣を身に付けられるよう、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行う。

平成28年度 学校給食年間指導計画

月	目 標	ね ら い	学級訪問 放送資料 掲示物 等	献立作成		
				献立作成 の留意点	おもな行事	群馬県の伝統食 日本の郷土料理 世界の料理 リクエスト給食
4	給食について知ろう	給食時の身支度や配膳の方法、食事のマナーを知り、楽しい学校給食にする	学校給食について・入学、進級祝い・すいとん・徳島県	旬の食べ物	入学・進級	群-すいとん 郷-徳島県
5	衛生に注意しよう	正しい手洗いや身支度、食中毒予防について考える	衛生について・端午の節句・ソースかつ・福岡県・中国	日本型食生活	端午の節句	群-ソースかつ 郷-福岡県 世-中国
6	よくかんで食べよう	歯の働きについて知り、よくかんで食べることの大切さを知る	歯と口の健康週間・食育月間・混ぜごはん・宮城県・ポルトガル	かみごたえのある食べ物	歯と口の健康週間	群-混ぜごはん 郷-宮城県 世-ポルトガル
7・8	夏の健康と食生活について考えよう	夏の食事と健康について考え、暑さに負けない体をつくる	夏の食事について・七夕・沖縄県・インド	食欲増進	七夕	郷-沖縄県 世-インド
9	食生活の見直しをしよう	朝食の大切さを知り、望ましい食習慣を身につける	鉄分について・十五夜・ごまよごし・韓国・愛知県	鉄分強化	お月見運動会	群-ごまよごし 世-韓国 郷-愛知県
10	群馬県の食と農を知ろう	群馬県や伊勢崎市の特産物について知り、食と農に興味や関心を持つ	学校給食ぐんまの日・焼きまんじゅう・青森県	地場産物活用	学校給食ぐんまの日	群-焼きまんじゅう 郷-青森県 リクエスト
11	感謝して食べよう	食べ物の命や、給食が届くまでに関わる人へ感謝して食べ、食べ残しについて考える	食物繊維について・いせさき家族でいただきますの日・呉汁・鹿児島県	食物繊維強化	収穫祭	群-呉汁 郷-鹿児島県 リクエスト
12	冬の健康と食生活について考えよう	冬の食事を考え、寒さに負けない体をつくる	体を温める食材について・冬至・すきやき・北海道	ビタミン強化	冬至	群-すきやき 郷-北海道
1	給食の歴史を知ろう	給食の生い立ちと歩みを知り、給食に関心を抱く	学校給食週間・小正月・おつきりこみ・ドイツ	旬の食べ物	小正月 学校給食週間	群-おつきりこみ 世-ドイツ
2	バランスの良い食事をしよう	バランスのよい食事について知り、好き嫌いをなく食べる	大豆・大豆製品について・節分・伊勢崎銘仙・秋田県	大豆・豆製品の活用	節分	群-伊勢崎神社コロッケ 郷-秋田県 リクエスト
3	1年間の給食の反省をしよう	自分の食生活を見直し、改善しようという意欲を持つ	食生活を振り返ろう・ひな祭り・卒業祝い・みそパン・新潟県	栄養バランス	ひな祭り 卒業祝い	群-みそパン 郷-新潟県

月	地場産・季節の食べもの	教科・学級活動 (食生活教材)	家庭・地域との 連携
4	～春～ 菜の花・みつば・春キャベツ・たけのこ・ にら・さわら・新玉ねぎ・清見オレンジ他	学活 楽しい給食が始まるよ(小1)	給食だより
5	～春～ アスパラ・たけのこ・さやえんどう・ 夏みかん・グリーンピース・あじ・かつお・ 河内晩柑・いわし他	保健 けがの防止(小5) 保健 病気の予防(小6) 家庭科 見直そう! 毎日の食事(小6) 学活 望ましい食習慣を身に着けよう(中1) 学活 食の自己管理を身に着けよう(中3)	給食だより
6	～夏～ アスパラ・トマト・夏ごぼう・たまねぎ・ かぼちゃ・とうもろこし・かつお・たこ・ 梅・さくらんぼ他	学活 おはようんち(小3) 学活 よくかんで食べよう(小4) 学活 食の自己管理能力を身に着けよう(中2)	①給食だより 「食育月間」
7・8	～夏～ ピーマン・パプリカ・いんげん・ かぼちゃ・じゃがいも・ゴーヤ・ ズッキーニ・とうもろこし・ 枝豆・なす・すいか・たこ他	保健 けんこうな生活(小3) 保健 育ちゆくわたし(小4) 学活 おいしいおやつどんな食べ方がいいのかな (小2)	給食だより
9	～初秋～ 秋なす・いわし・かつお・きのこ・ かぼちゃ・さといも・たちうお・ぶどう・ プルーン・おはぎ・なし他	社会 はたらく人とわたしたちの暮らし(小3) 社会 住みよいくらしをつくる(小4) 学活 やさいとなかよし(小2) 学活 一日のスタートは朝ごはんから(小5)	給食だより
10	～秋～ さつまいも・きのこ・ごぼう・ぎんなん・ ちんげんさい・れんこん・さといも・栗・ さんま・さけ・さば・柿・りんご他	家庭科 まかせてね! きょうのごはん(小6) 学活 家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう(小4) 学活 郷土料理を知ろう(中2)	②給食だより 『学校給食ぐん まの日』
11	～秋～ さつまいも・さといも・ごぼう・きのこ・ さけ・さば・ほっけ・りんご他	国語 すがたを変える大豆(小3) 国語 アップとルーズ(小4) 学活 元気のひみつはなあに?(小1)	③給食だより 『感謝して食べよう・ いせさき家族でいた だきますの日』
12	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ ブロッコリー・下植木ねぎ・菊・ごぼう・ かぶ・ぶり・みかん他	学活 健康を考えたおやつ(小6)	給食だより
1	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ねぎ・ にんじん・ブロッコリー・カリフラワー・ 水菜・キャベツ・春菊・ぶり・ わかさぎ・鮭他	学活 日本食のよさをみつけよう(小5)	④給食だより 『給食の歴史を 知ろう』
2	～冬～ 大根・小松菜・菜の花・水菜・ カリフラワー・さわら・ あさり・いよかん他	学活 バランスよく食べよう(小3) 学活 どんな食べ方がいいのかな(小6)	給食だより
3	～春～ 菜の花・キャベツ・あさり・ ほたて・にしん・いちご他		給食だより

3 平成 27 年度実績

(1) 学校給食を活用した指導の充実

ア 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進

(ア) 給食時の指導

	調理場名	回数
1	第一学校給食調理場	72 回
2	第二学校給食調理場	195 回
3	赤堀学校給食調理場	225 回
4	あずま学校給食調理場	197 回
5	境第一学校給食調理場	77 回
6	境第二学校給食調理場	104 回

(イ) その他の指導

	主な指導内容	回数
1	学校保健委員会等における講師	28 回
2	小・中学校家庭科授業等の講師	133 回
3	P T A 等給食試食会の講師	22 回
4	P T A 等給食試食会の参加者	893 人

イ 地場産農作物を活用した給食の提供 (伊勢崎市産)

調理場地区	平成 26 年度実績			平成 27 年度実績		
	総使用量	地場産使用量	比率	総使用量	地場産使用量	比率
伊勢崎地区	389,700kg	171,200kg	43.9%	364,600kg	162,700kg	44.6%
赤堀地区	83,500kg	34,500kg	41.3%	81,400kg	33,700kg	41.4%
あずま地区	83,800kg	41,800kg	49.8%	80,100kg	45,700kg	57.0%
境地区	81,800kg	31,700kg	38.8%	76,200kg	33,500kg	43.9%
全地区	638,800kg	279,200kg	43.7%	602,300kg	275,600kg	45.7%

※平成 24 年度から伊勢崎市内で収穫された米を米飯給食に 100%使用しています。

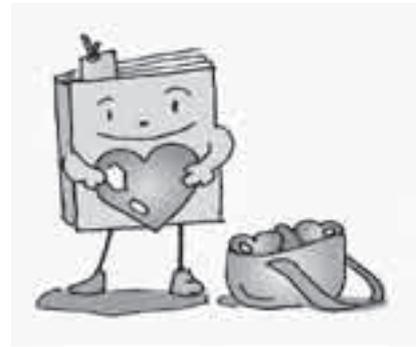


伊勢崎市農業会議所による
学校給食用ジャガイモの寄贈



殖蓮小3年生による
ジャガイモの収穫体験

V 生涯学習



読書の街いせさきイメージ
キャラクター「ブックン」



北小学校赤石楽舎放課後子ども教室

生涯学習の充実

1 基本方針

市民の多様な学習意欲に応え、市民が主体となった学習機会を支援することで、いつでもどこでもだれもが生きがいを持ち学べる環境づくりに努めます。

2 重点施策

(1) 市民が主役の生涯学習の充実

- ア 学習活動の支援
- イ 学習機会の拡充
- ウ 学習環境の充実

(2) 子どもの徳育の充実

- ア 家庭や地域との連携による心の育成
- イ 地域ぐるみの子どもの健全育成

(3) 読書の街づくりの推進

- ア 豊かな心を育む読書活動の推進

3 平成27年度事業実績

(1) 市民が主体となった学習機会の支援

ア 学習支援体制の整備

(ア)生涯学習支援事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習大会	<p>学びの楽しさを伝え、地域の学びの輪を広げることを目的に、市民グループによる学びの成果を活かしたステージ発表やまなびい先生の作品展示、地域の生涯学習活動の取り組みの紹介や読書の街いせさきの啓発活動等を通して、生涯学習の推進、充実をめざす。(会場 境総合文化センター)</p> <p>○ステージ発表 各地区から選出された団体の発表と、生涯学習支援ボランティアまなびい先生の発表</p> <p>○ロビー展示 生涯学習支援ボランティアまなびい先生の作品展示 (パソコン絵画・ポーセラーツ・押し花・フラワーアレンジメント、工芸盆栽・パステル和アート・ぐんま島村蚕種の会の写真展示等) 生涯学習の取り組み、読書啓発パネル展等 茶道サークルからの抹茶サービス</p>	1月16日	市 民	870人

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
出前講座	「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」のまちづくりを基調に、市民の学習活動を支援するために、市民の求めに応じて市職員を講師として派遣し、市の施策等を情報提供した。 21 課、61 のメニュー、申し込み件数 143 件	4 月～3 月	市 民	5,166 人
生涯学習 支援ボラ ンティア まなびい 先生	地域で活動している人たちの知識や技術・技能を登録、データベース化し活用していくことで、「いつでも」「どこでも」「だれもが」「なんでも」教え合う市民版出前講座を開設し、市民の手による学びの輪を広げ学習機会の充実をめざした。 まなびい先生登録者 131 人 メニュー数 182 件 活用件数 140 件	4 月～3 月	市 民	6,312 人
	楽しく学びを実践していくために、生涯学習支援ボランティアまなびい先生自らが企画し、市民へ身近な学びの場を提供する「まなびい先生自主企画事業まなびい塾」を開催した。 24 講座 延べ 42 回	4 月～3 月	市 民	344 人
高等教育 機関との 連携事業 (公開講 座)	地域の教育的機能を持つ上武大学並びに東京福祉大学との連携を図り、市民の自己啓発を推進するための公開講座を開催した。	上武大学 2 月 20 日 2 月 27 日	市 民	延べ 30 人
	・上武大学「スポーツコンディショニング講座」(全 5 回) ・東京福祉大学「健康等に関する 6 講座」	東京福祉 大学 10 月 3 日 ～ 11 月 28 日	市 民	延べ 330 人
生涯学習 だより 「まなび い」の発 行	編集ボランティアの協力を得て、生涯学習情報誌「まなびい」を年 1 回発行し、毎戸配布している。 編集ボランティア 6 人 編集会議 5 回	発行日 3 月 16 日	市 民	発行部数 78,700 部



まなびい塾「機織り教室」



出前講座「伊勢崎市の歴史と文化について」

イ 公民館による学習機会の提供

市民にとってもっとも身近な社会教育施設（生涯学習施設）として、利用者ニーズを把握しながら各種学級・講座を企画実施し、学習機会の提供を行った。

また、生涯学習ボランティアなど地域活動サークルの育成や各種行政団体等との連携を行った。

(ア) 公民館運営審議会

社会教育法第 29 条に基づく公民館運営審議会を設置し、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議を行った。

◆構成メンバー 学校教育関係者 1 人、社会教育関係者 21 人、家庭教育の向上に資する活動を行う者 3 人、学識経験者 5 人の計 30 人

◆開催回数 4 回

(イ) 公民館による学級・講座開設

事業名	主な内容	参加者数	実施公民館
セカンドライフセミナー	急激に変化する社会の中で、高齢者が豊かで生きがいのある生活を過ごすための学習。(料理教室・輪投げ教室等)	2,202 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
女性学級	女性としての視野を広め、社会における役割を考える。(ビーズアクセサリ教室・フラワーアレンジメント教室等)	1,654 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
家庭教育学級	幼稚園児、小中学校の児童生徒の親を対象に、心身ともに健康な子どもの育成を目指して、子どもの育て方、親のあり方を学ぶ。(親子体操教室・読み聞かせ教室等)	4,713 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
子どもクラブ	地域での、様々な活動を通して、子ども達の自主性、社会性を養う。(子ども農業体験・子ども将棋教室等)	4,648 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
健康促進講座	スポーツ等を通して、地域住民の交流と健康増進を図る。(スポーツ吹矢教室・ウォーキング教室等)	3,213 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
IT講習	急激なIT社会に住民が十分対応できるよう基礎技能を修得する。(ワード、エクセル講座・インターネット講習等)	1,675 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま
市民講座	多角的な視点からの学習を通して、総合的な教養と学習意欲の充実を図る。(文化歴史散歩・外国語教室等)	6,573 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
第 14 期あかぼり大学塾	住民の多種多様なニーズに応えるために設立され、共通する課題を教授・生徒で共に学ぶことにより、住民相互の交流を図る。	14,050 人	赤堀

(ウ) 地域団体等との連携

各公民館が地域の各種行政団体、青少年育成関係団体、社会体育関係団体と連携を図り、納涼祭や文化祭、運動会等、地域住民の交流を支援し、地域づくり、ふるさとづくりの推進に努めた。

(エ) 公民館の利用状況

公民館名	公民館事業		サークル支援事業			各種団体事業		計	
	主催・共催事業 (学級・講座)		サークル活動			各種団体活動			
	開催 件数	参加 者数	サー クル 数	利用 件数	利用 者数	利用 件数	利用 者数	開催 ・ 利用 件数	参加 ・ 利用 者数
北	件 76	人 1,976	団体 62	件 2,092	人 30,423	件 247	人 6,866	件 2,415	人 39,265
南	52	801	43	998	16,354	228	5,027	1,278	22,182
殖蓮	102	2,788	64	1,548	24,756	441	18,185	2,091	45,729
茂呂	73	1,709	39	901	11,101	268	15,573	1,242	28,383
三郷	71	1,218	49	1,286	16,457	373	9,939	1,730	27,614
宮郷	103	2,447	57	1,631	20,624	621	23,510	2,355	46,581
名和	67	1,283	42	1,200	13,670	338	13,233	1,605	28,186
豊受	75	1,697	47	1,427	18,973	240	15,501	1,742	36,171
赤堀	1,507	16,635	50	1,228	10,749	598	21,070	3,333	48,454
あずま	183	4,051	89	2,287	25,119	525	22,931	2,995	52,101
境	24	845	73	2,164	24,517	220	7,809	2,408	33,171
境采女	21	561	25	42	494	37	2,504	100	3,559
境剛志	47	877	31	1,219	13,760	159	6,950	1,425	21,587
境島村	39	997	13	267	2,490	131	4,092	437	7,579
境東	33	843	34	1,084	12,273	165	6,274	1,282	19,390
計	2,473	38,728	718	19,374	241,760	4,591	179,464	26,438	459,952



ベビーダンス教室



ストレッチ体操

(2) 生涯学習推進体制の整備

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習推進協議会	生涯学習の推進に関する施策について広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及を図るため。	6月30日	委員	34人
生涯学習推進協議会幹事会	推進協議会の下部組織として生涯学習に関する計画・立案及び調整を行う。	4月28日	委員	16人
生涯学習推進員	地域住民のニーズや実態に応じた生涯学習活動の世話役として区長より推薦され、その役割は行政区にある既存の生涯学習活動への支援、学習情報の提供、地域の人材発掘と活用など、地域における生涯学習のまちづくりの中心として生涯学習推進の一翼を担う。	年間	生涯学習推進員	170人
生涯学習推進員研修会	地域の学びのボランティアとして活躍する生涯学習推進員の資質の向上を目指し、伊勢崎空襲を後世に語り継ぐ活動をしている会の代表者を招いて、講演会を行い市民の自己啓発を図った。	10月4日	生涯学習推進員	60人
生涯学習推進事業	地域に根ざした生涯学習の確立を目指し、各行政区の生涯学習推進員さんを中心に、市民一人ひとりが生きがいをもって積極的に参加できる身近な学習づくりを推進するために具体的な活動を展開する。(各行政区と生涯学習推進事業委託を結び推進している)	年間	市民	170行政区
赤石楽舎活用推進事業	赤石楽舎の利用については、北小学校の児童が授業で使用したり、地域の文化・スポーツサークルの方々が、子ども達を交えた活動を行っている。 また、生涯学習支援ボランティアまなびい先生による自主企画事業「まなびい塾」や、伊勢崎燈華会、伊勢崎銘仙の日等の市民団体によるイベント会場としても活用されている。 利用件数 1,557件	年間	市民子ども	93,296人

(3) 社会教育の充実

充実した余暇を過ごすために、今日的な課題や社会連帯の意識の高揚、積極的な社会参加、生きがいを実現するための学習をとおして、社会の変化に対応し、心豊かな市民の育成をめざす。

ア 社会教育委員会の開催

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から選出され、社会教育に関する諸計画を立案、審議した。

委員 20人 年3回 開催

イ 子どもの健全育成と家庭教育の充実および地域づくりへの支援

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数	
子どもの健全育成	少年の主張大会	市内中学生が日頃感じている事や夢、希望などの発表を通して社会の一員としての自覚を高めると共に少年に対する市民の理解を深める。併せて第四中学校合唱団によるミニコンサートを実施した。	6月27日	中学生 市民	発表者12人 参加者370人
	放課後子ども教室推進事業	放課後の子どもたちの安全安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て勉強や体験活動などを行う。 北小学校地区で29日間実施した。	5月～3月	対象者	児童 延べ1,132人 教育活動推進員等 延べ116人
	養護学校等青年教室	養護学校等卒業生の青年を対象に手をつなぐ育成会と連携を図り、社会人として自立していくための事業（ミュージックケア等）を開催した。	10月～1月	対象者	133人
	定時制教育振興事業	伊勢崎佐波地区における定時制教育の振興を図る、生徒への文化、スポーツ活動を支援した。	4月～3月	対象者	104人
家庭教育振興事業	家庭教育人権教育推進委託事業	幼稚園・小中中等特別支援学校PTAに対し、家庭教育と人権教育の推進事業を委託した。	4月～3月	幼稚園・小中中等特別支援学校PTA会員	
	家庭教育講演会	教育委員会、教育振興会、市PTA連合会の共催により、群馬県立女子大学文学部総合教養学科・准教授の山崎隆広先生を招き、「ソーシャル・メディアを考える」と題した家庭教育講演会を実施した。	10月24日	市民	190人



少年の主張大会



北小学校赤石楽舎放課後子ども教室

ウ 読書の街いせさき推進事業

地域や家庭、学校に読書活動を普及し本に親しむ活動を定着させる。

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数
親子ふれあい読書活動の推進	一冊本を読んだら、読書マラソンカードにシールをはり、30枚はると、読書マラソン完走。それを市の図書館に提出、記念品と交換することで、親子での読書活動のきっかけづくりを行った。	年間	親子	7月～3月 マラソンカード 提出数 1,159枚
親子でびよんびよん事業	幼児期から本に親しむことを目的に、乳幼児の10か月児健康相談時に絵本を配布するブックスタート事業のフォロー事業として、地域の読み聞かせグループと連携を図り、公民館の子育て支援事業として実施した。	年間	幼児・幼児を持つ親	76回 延べ1,526人
家族ふれあい読書新聞の募集	各家庭で取り組んできた読書活動を振り返るきっかけ作りとして、家族ふれあい読書新聞の募集をした。また、応募作品の選考については、市PTA連合会読書推進委員会に依頼し、選考を実施した。	7月～9月	小・中学生 ・一般	116点の応募 25点の入賞
いせさき街角文庫の展開	「街が図書館」をスローガンに、市民がいつでも、どこでも本に親しめる場所を市内に作り、読書活動を通して、市民が交流できる場の確保と地域の活性化を図るために、駅や趣旨に賛同する事業所などに設置した。市民から提供された本を活用し、市民ボランティアの手による配本、並びに書棚の整理整頓活動を行った。	年間	市民	市内12ヶ所 4,516冊利用

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
イベントにあわせた読書の街いせさきの啓発	赤石楽舎「サマーフェスタ」 七夕まつりの開催に合わせ、読書サポーターによる絵本の読み聞かせ、まなびい先生による講座、まゆドーム職員による体験活動等を実施した。	7月18日	市 民	来場者 300人
読み聞かせボランティア交流会	読み聞かせに関心のある方、市内で活動する読み聞かせボランティア等の交流を深めるために、読み聞かせボランティア交流会を実施した。	2月29日	市 民	41人
読み聞かせスキルアップ講座の開講	地域や学校で読み聞かせを行っている読書ボランティアを対象にしたスキルアップ講座を実施した。	1月20日	市 民	19人
まゆドームでの読み聞かせ	読書サポーターの協力を得ながら来園者への読み聞かせを実施した。	第二土曜日	市 民	計18回 223人
幼稚園での読み聞かせ	市民読書サポーター（読み聞かせボランティア）による市立幼稚園での読み聞かせを実施した。	各園ごと	幼稚園児	計65回 2,519人
いせさき読書まつり	<p>読書の街いせさきの象徴的事業として、絵本作家による講演会、読書感想画展、読書サポーターの読み聞かせなど、子どもから大人まで楽しめる本に親しむ様々な活動を展開した。</p> <p>(1) 発表・展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読書サポーターの読み聞かせ ○民話の紙芝居の読み聞かせ ○家族ふれあい読書新聞入賞作品展示と入賞者の交流会 ○絵本作家による講演会 「もったいないばあさんのおはなし会」 講師 真珠まりこ さん ○小・中学生の読書感想画の展示 ○伊勢崎市親子が推薦する図書 101の展示 ○2015 ベストセラーの展示 <p>(2) 創作・体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作って楽しもう（葉づくり） ○科学に触れよう（科学実験） ○ブックコート体験 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リサイクル本の配布 	3月5日	市 民	800人



読書サポーターの読み聞かせ



家族ふれあい読書新聞入賞者の交流会

	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発しおりの配布 ○生涯学習支援ボランティアまなびい先生のコーナー ○絵本とくつろごう ○みんなでシネマ上映会（ビデオ上映会）等 	 <p>絵本作家による講演会</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

エ 人権教育・啓発の推進

市民の人権問題に対する理解・認識をさらに深めるため、学習の場の提供を積極的に図るとともに、集会所管理運営事業のより一層の充実を図った。

(ア) 人権教育推進委員会

人権教育及び人権啓発の積極的な推進を図り、女性、子ども、高齢者、障害者、同和関係者、外国籍の人等の様々な人権問題の解決に努めるため、伊勢崎市人権教育推進委員会を設置。

委員構成は、33人以内 内訳は、学校教育関係者9人以内、PTA会長5人以内、その他教育委員会が適当と認める者10人以内、市職員9人以内。

(イ) 人権教育啓発事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
PTA家庭教育人権教育推進委託事業	家庭教育の主役であるPTA会員を対象として、正しい人権教育の理解を図り「家庭における人権教育」を推進することを目的に実施した。	4月～3月	幼稚園・小中中等特別支援学校PTA会員	
集会所における人権問題学習講座	市内6集会所において、人権に関するビデオの視聴や講座を延べ12回開催した。	5月～9月	市民	262人
親子で学ぶ人権問題学習講座	夏休みに親子を対象にした人権に関するビデオの視聴を6集会所において実施した。	8月	市民	127人
人権のまちづくり講演会	市民を対象とした啓発事業。映像による啓発や講演会等を組み合わせ実施。(会場市民プラザ)	8月22日	市民	400人
地区別人権学習会	地区毎に巡回した人権啓発事業。人権啓発講演会を行い、市民の人権意識の高揚を図った。(5地区で実施)	10月	市民	310人

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
人権について考える集い（隣保館集会所事業成果発表会委託事業も同時開催）	<p>基本的人権にかかわる人権・同和問題について、正しい理解と認識を深めるために、講演会と隣保館集会所事業成果発表会を開催した。</p> <p>講演：「伝えたいこと ～部落問題、その現実から～」</p> <p>講師：NPO法人 人権センターながの 事務局長 高橋 典男 先生</p>	1月24日	市 民	600人
人権啓発ポスター、人権啓発標語の募集（人権啓発カレンダー作成）	<p>小・中学生から人権啓発ポスターと人権啓発標語を募集し、子どもたちの人権に対する興味や関心を高めるとともに、その入選作等で人権啓発カレンダーを作成し、市内全校児童生徒に配布した。併せて人権啓発イベント等での作品展示を行った。</p>	<p>人権ポスター 7月～9月</p> <p>人権標語 11月～12月</p>	小中学生	<p>人権ポスター 小学生 436点 中学生 405点</p> <p>人権標語 小学生 11,156点 中学生 6,293点</p>

(ウ) 集会所管理運営事業

人権問題の早期解決をめざすため、運営委員会に事業運営を依頼し、人権問題ビデオ学習会や交流教室等を開いた。

施設名	事業名					参加者数
	内 容	回数	交流教室	講座数	実施回数	
今井町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	8	244	3,197人
道伝集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	3	128	736人
宮子町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	10	212	2,311人
柴町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	9	217	1,695人
連取町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	6	174	1,729人
三室町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	5	93	3,521人
総 計		18		41	1,068	13,189人

※ 人権問題学習講座のうち各1回は、夏休み親子ビデオシアターとして開催した。

4 文化の振興と発信

(1) 公民館文化事業の充実

ア 公民館サークル等作品展及び芸能発表会の開催

公民館利用サークルを中心とした地区の文化活動の成果を公開することにより、広く市民に対して公民館活動の認識を深めるとともに、より一層の公民館活動の活発化を図るため、各地区で公民館作品展及び芸能発表会を開催した。

作品展出品数	11,859 点
入場者数	16,390 人
芸能発表出演者数	4,257 人
入場者数	6,864 人



あずま公民館文化祭

関連施設

(1) 広瀬生涯学習館

利用状況：開館日数 359 日

学習館主催事業		サークル支援事業			その他		合計	
開催件数	利用者数	サークル数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	開催・利用件数	利用者数
件 0	人 0	団体 53	件 1,921	人 28,344	件 199	人 2,246	件 2,120	人 30,590

(2) あずまホール

利用状況：開館日数 336 日

主催事業：11月23日 あずまふるさと寄席

参加者数 361 人

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
音楽	14	2,980
舞踏	4	1,135
演芸会	2	661
大会	8	2,700
講演会	1	250
研修会	7	1,165
練習	234	7,045
準備	13	404
その他	0	0
合計	283	16,340



あずまホール

(3) 青少年育成センター

利用状況：開館日数 336 日

	日帰り	宿泊	合計
利用件数	1,563 件	133 件	1,696 件
利用者数	27,266 人	9,375 人	36,641 人

主催事業

実施日	事業名	参加者数
5月17日	キンボール大会	25人
8月14日～16日	夏休みおもしろ教室	43人
9月27日	野外料理教室	27人
10月10日～11日	親子防災体験キャンプ	25人
10月31日	子ども体験遊びリンピック	25人
11月8日	子どもそば打ち教室	30人
11月29日	オープンデー	184人
12月13日	オリジナル年賀状づくり教室	32人
1月24日	わくわく体験教室	24人
2月21日	オリジナルカップづくり教室	31人
3月6日	ボランティア育成事業	17人
合計		463人



青少年育成センターの外観



夏休みおもしろ教室
キャンプファイアー

図 書 館

図書館サービスによる生涯学習の推進

伊勢崎市の図書館は、伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されている。

伊勢崎市図書館は、大正10年4月伊勢崎尋常高等小学校（現北小学校）の付属図書館が町立図書館として認可された。昭和11年4月に篤志寄付により校庭の一角に新築されたが、戦災により焼失した。その後再建されるが、昭和52年現在位置に新築移転した。他の3館は公民館図書室に由来する。赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設として平成7年4月に開館、あずま図書館は平成11年4月に現在位置に新築開館した。境図書館は昭和38年8月旧町役場跡に開館し、敷地の寄付を受け昭和61年6月現在位置に新築移転した。平成19年4月から赤堀図書館に指定管理者が指定された。

平成23年4月機構改革により図書館課が新設され、管理係、奉仕係が設置された。

	伊勢崎市図書館	赤堀図書館	あずま図書館	境図書館
竣工年月日	昭和51年10月	平成7年4月(設置)	平成11年3月	昭和61年3月
建物構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	6,005.16㎡	—	4,790.21㎡	4,582.81㎡
延床面積	2,657.98㎡	400.50㎡	1,837.85㎡	1,433.90㎡
学習室	99席	コーナー	コーナー及び24席	コーナー及び講座室
調査相談室	18席	コーナー	コーナー	コーナー
軽読書コーナー	有	有	有	有
新聞雑誌室	有	無	有	有
視聴覚コーナー	無	有	有	有
資料展示	有	ロビー(共用)	ロビー	境絹の館
集会室・会議室	集会室約100席	会議室20席(共用)	視聴覚室約100席	講座室46席
駐車場	90台	105台(共用)	57台	28台

赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設

1 基本方針

家庭、地域、学校との連携を深めながら、それぞれの図書館の特色を生かし、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信基地として奉仕活動に努めた。

2 重点施策（図書館サービスの充実）

(1) ライフステージに合わせた支援サービス

課題解決支援サービスとして、ビジネス支援コーナー及び子育て支援コーナーを充実し、それぞれに役立つ情報の提供に努めた。

(2) 親子読書の推奨・推進

ブックスタートを実施するとともに、親子で参加できる事業を行い、親子読書を推進した。

(3) 市民協働の図書館活動

館内業務や読み聞かせなどの事業を、市民ボランティア等と協力しながら実施した。



ブックスタート

3 平成27年度事業実績

(1) 図書館協議会

図書館協議会は、館長の諮問に対して答申を行う諮問機関である。定員は10人で、構成は学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者4人、学識経験者4人からなる。平成27年度は3回開催

- 第1回 平成27年7月24日（金）午前10時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員10人
平成26年度事業報告について
平成27年度教育行政方針（図書館）について
平成27年度事業計画について

- 第2回 平成27年11月26日（木）藤岡市みかぼみらい館 出席委員6人
第13回群馬県図書館大会参加

- 第3回 平成28年3月17日（木）午前10時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員9人
平成27年度事業報告について
小中学校図書室との連携事業について
平成28年度事業計画について

(2) 図書館資料の構成・貸出

ア 蔵書構成

購入25,434点、寄贈等1,546点の受け入れと、16,737点の除籍等を行い、全館所蔵点数は611,462点である。

一般図書の構成は、全館通して文学の割合が高く、約42%を占めている。特に境図書館で約48%、赤堀図書館で約44%と高くなっている。文学以外では、全館で社会科学が約12%と割合が高く、次いで芸術、歴史の順となっている。

児童書では、文学と絵本に重点を置いた構成となっており、合わせて約70%を占める。特に、境図書館では文学の割合が高く約37%となっている。

視聴覚資料では、全館ともビデオテープが減少し、DVDが増加している。これは利用者の映像鑑賞機器の変化に伴うものであり、蔵書についても、これらに対応した傾向となっている。

イ 個人貸出

貸出数は965,181点で、前年度と比較して約1.9%増加した。また、貸出人数は264,161人で、前年度と比較して約2.4%増加した。

全体として貸出数が増加した中で、60代の貸出冊数が5.2%、70代以上は11.6%の伸びが見られた。来館者に向けた館内の企画や時季に合わせた展示等の充実、リクエスト等ニーズの把握による蔵書の充実と、それぞれの成果が現れたものであると考えられる。

ウ 団体等貸出

貸出数は37,621冊で、前年度と比較して約61%の増加となった。市内幼稚園、保育園、児童関連施設、社会福祉施設等へ向けて、図書館から図書を届ける、若しくは来館により貸し出している。今後もより多くの市民により広く図書が届くようサービスを展開していきたい。

エ 学校連携

11月から小中学校へ向けて、学校支援サービスを開始した。本の提供サービスとして、児童・生徒、先生が必要とする資料を選書のあと配送し回収する。学校図書室へのサービスとしては、さまざまな情報を発信しながら、学校図書室事務職員の相談に応じより効果的な学校図書室の運営を支えていく。学校現場に寄り添い充実したサービスとしていきたい。

オ 視覚障害者サービス

視覚に障害があり活字を読むことが困難な人を対象に、希望する図書等をボランティアに依頼して朗読テープを作成し、貸し出している。平成27年度の貸出数は、朗読テープ419点、CD208

点で、利用者は延べ60人だった。

カ 配達サービス

来館できない高齢者・障害者及び介護保険制度での「要支援」以上の市民を対象に、図書やCD等を自宅まで届けるサービスで、貸出期間は通常と同じ2週間である。平成27年度の貸出数は、図書925点、雑誌72点で、利用者は延べ285人だった。

キ インターネット予約

インターネット予約の件数は、伊勢崎市図書館11,864件、赤堀図書館3,744件、あずま図書館4,659件、境図書館4,509件、市民プラザ図書館7,336件、計32,112件で、全予約件数59,009件の約54%を占め、件数・割合とも増加している。

ク 館内利用者端末（OPAC）予約

システム更新に伴い、館内利用者端末（OPAC※）の機能が向上し、予約が可能となった。更新後の資料の予約件数は3,451件で、今後の増加が見込まれる。

※ OPAC（Online Public Access Catalog オンライン蔵書目録）とは一般の利用者が図書館内で蔵書検索できる端末のこと

(3) 事業報告

ア ブックスタート

10か月児健康相談の会場で、読み聞かせをしながら赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本を開く楽しい体験とともに心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動であり、ボランティアの協力を得て毎月実施した。

平成27年度は「あ！」「おふろでちゃぶちやぶ」の2冊と、子育てアドバイス集と一緒に配布した。配布数は、伊勢崎市図書館1,452冊、赤堀図書館594冊、あずま図書館658冊、境図書館690冊の計3,394冊だった。

イ 読み聞かせ

子どもたちに本の楽しさを知ってもらいながら図書館に親しんでもらえるように、読み聞かせボランティアを中心とした絵本・紙芝居の読み聞かせを毎月各館で行った。季節や行事などに合わせた内容が多く、12月にはクリスマス会として開催し、多数の子どもたちが参加した。年間の参加人数は、伊勢崎市図書館170人、赤堀図書館203人、あずま図書館353人、境図書館166人であった。

また、伊勢崎市図書館では、乳幼児のいる親子向けの読み聞かせとして、「赤ちゃんといっしょのおはなし会」を、あずま図書館では1月から「ママのおひざ」を開催した。絵本を通して親子の触れ合い・交流の場となることを目指すもので、毎回多数の親子の参加が得られた。

ウ 親子で参加できる事業

本や図書館に触れるきっかけとなるような、親子で楽しく参加できる事業を多数実施した。

伊勢崎市図書館では、4月26日に「ぬいぐるみのおとまり会」、12月12日に「クリスマス小物とミニ絵本作り教室」を開催した。赤堀図書館では、5月6日と7月22日に「おもしろ工作」を行い、9月5日に「紙芝居をたのしむ日」を実施した。

あずま図書館では、子ども向けに「アニメシアター」、こどもの日や夏休み期間中に「特別アニメシアター」



あかちゃんといっしょのおはなし会



ぬいぐるみのおとまり会

を上映した。境図書館では、奇数月やこどもの日、夏休み、クリスマスに「親子映画会」を実施した。

また、子どもたちに特に人気の高い人形劇は各館で実施した。伊勢崎市図書館では5月30日に「おおかみと七ひきの子やぎ」「ポエムポエム」、赤堀図書館では8月30日に「ちよっと丸」「ボンたろコンこ」を、あずま図書館では6月14日に「ねことねずみ」「ねずみのよめいり」を、11月15日に「のったりろったり」「長靴をはいたねこ」を、境図書館では2月27日に「だんまりくらべ」「ぞうのはなはなぜながい」をそれぞれ上演した。

エ 調べ学習

夏休み期間、小学生を対象とした調べ学習に各館で取り組んだ。伊勢崎市図書館では「化石発掘&クリーニング教室」、赤堀図書館では「クリップモーターを作ってみよう」、あずま図書館では「カメレオンスライムと牛乳パックで作る竹とんぼ」、境図書館では「まゆクラフト」を実施した。

また、同じく調べ学習の一環として、「読書感想文の書き方講座」を赤堀図書館及びあずま図書館で開催した。

オ 一日図書館員

図書館に対する理解を深めることを目的とする事業で、夏休みを利用して伊勢崎市図書館及び赤堀図書館で、小学生を対象に実施した。子どもたちは、カウンターでの資料の貸出・返却処理、書架整頓、ブックカバーの装丁などの仕事を体験した。

カ 各種講座・教室

伊勢崎市図書館では、7月11日に又吉直樹著「火花」をテキストとした市民読書会を、9月26日に文学・歴史講座「群馬県と楢取素彦～幕末維新の志士から名県令～」を開催した。また、12月20日いせさき能実行委員会による「いせさき能『采女』能楽講演会」が行われた。境図書館では毎月短歌教室及び俳句教室を開催した。また、10月30日に文学歴史散歩（東松山市・小川町）、11月24日に短歌吟行会（新潟県魚沼市）、12月8日に俳句吟行会（みどり市）を実施した。



文学歴史講座

キ 企画展示

伊勢崎市図書館では展示室で、4月18日～5月17日「大正・昭和の児童雑誌」、7月18日～8月30日「これ知ってる！世界の子どもの本」、11月8日～11月15日「上野国佐位郡正倉跡」、12月10日～12月20日「能面・能装束」、2月27日～3月20日「ペーパークラフト～図書館の本を見て作りました～」を開催した。赤堀図書館では館内で、7月18日～8月23日「図書館を使った“調べる”学習コンクール入賞作品展示」、11月8日～26日「赤堀図書館文化祭」を行い、境図書館では「図書館ぎやらりー」として水彩画、写真、木彫、ステンドグラス等の展示を年間通し、計11回開催した。

ク 朗読会・演奏会・映画会

伊勢崎市図書館では、2月28日に「大人のための朗読会」を昨年に続いて開催した。赤堀図書館では、5月16日と8月22日に大人も楽しめる読み聞かせ「ときめきブックカフェ」を、10月17日には「赤堀図書館でJAZZを聴こう！」を実施した。あずま図書館では、10月17日に「ヘルマンハーブと読み聞かせ」を開催した。

いずれも、参加した人に、本や音楽を通じてゆったりとした快適な時間を提供することができた。



大人のための朗読会

また、赤堀・あずま・境図書館では、名作を選んでの映画会を計18回行った。

ケ 図書のリサイクル

各図書館では、除籍した資料をリサイクル図書として館内やイベント会場等で市民に無料配布し、有効活用している。また児童図書については、児童施設や小中学校へ配付し、再利用を図っている。配布冊数は、伊勢崎市図書館1,127冊、赤堀図書館3,407冊、あずま図書館1,296冊、境図書館2,175冊であった。

コ 施設見学・体験学習及びボランティアの受入

各図書館で小学生の施設見学10校、中学生の職場体験学習（チャレンジウィーク）7校、短期大学のインターンシップ1校を受け入れた。また、伊勢崎市図書館では、配架業務を行うボランティア1人を受け入れた。

(4) その他

ア システム更新

11月に図書館システム更新を行い、図書館と小中学校図書室とのサーバーが一元化され蔵書データが統合された。システムを通じてつながることにより、幅広いサービス提供が可能となった。また、館内利用者端末の機能向上により、利用者の利便性が向上した。

イ 寄附

境図書館へ境中三三会から視聴覚資料（朗読CD）、小久保幸一氏からAV資料視聴用機4台が、群馬境ロータリークラブから資料デジタル化スキャナ・自動製本機及び手動裁断機展示用ラックの寄附があった。さらに境ライオンズクラブからは視聴覚資料（DVD）の寄附があった。

ウ 工事等

伊勢崎市図書館では、1階自動ドア設置工事、境図書館では、書庫の空調機設置工事を行った。また、伊勢崎・あずま・境各館のトイレ改修工事を行った。改修工事の実施により、図書館の利用環境が向上した。

(5) 境絹の館

境図書館の敷地内にあり昭和54年に寄附を受けて管理している。境図書館に拠点を置く短歌会、俳句会の会場として定期的に利用されており、図書館の行事及び展示会場としても活用した。10月24日には「秋の夜語り」の会場として、民話・昔話の語りやオカリナ演奏が開かれた。

また、田島弥平旧宅の世界遺産登録を機に、境地区中心街に残っている養蚕・絹織物関係施設を巡る「まちあるき」が実施され、見学利用が増加している。

なお、ここでは郷土の著名な画家金井鳥洲等の作品を保存・管理し、調査研究に供している。

(参考資料)

地区別利用者及び全資料貸出

館別		伊勢崎市 図書館	市民プラザ 図書室	赤堀図書館	あずま 図書館	境図書館	合計	
奉仕 人口	26年度	133,154		22,683	25,394	29,685	210,916	
	27年度	133,073		23,001	25,538	29,495	211,107	
利用者 数	26年度	94,268	35,001	31,774	54,897	41,971	257,911	
	27年度	98,932	33,558	33,281	55,856	42,534	264,161	
27年度開館日数		284	329	315	284	284	—	
27年度新規登録		1,582	384	413	826	464	3,669	
全貸出 数	27 年度 個人	伊勢崎地区	330,912	110,057	21,480	55,313	39,936	557,698
		赤堀地区	6,688	432	85,313	16,593	1,253	110,279
		あずま地区	5,834	683	9,052	109,892	1,788	127,249
		境地区	9,101	6,346	952	10,105	97,111	123,615
		市外	12,719	3,958	5,369	14,978	9,316	46,340
		計	365,254	121,476	122,166	206,881	149,404	965,181
	団体 等	26年度	11,903	499	4,076	3,334	3,572	23,384
		27年度	18,925	247	5,260	6,752	6,437	37,621
	総計	26年度	362,655	129,185	118,207	209,065	151,138	970,250
		27年度	384,179	121,723	127,426	213,633	155,841	1,002,802

奉仕人口は住民基本台帳、平成26年、同27年4月1日現在による。

新規登録は市外、団体等を含む。

全貸出数の団体等は市内学校への貸出しを含む。

地区別年齢区分別利用者数・貸出数

年齢区分	伊勢崎地区		赤堀地区		あずま地区		境地区		市外	
	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数
70～	16,195	52,392	1,476	4,096	2,341	7,053	4,437	12,961	787	2,715
60～69	23,275	78,927	2,955	8,872	5,205	16,377	6,201	19,051	2,648	8,828
50～59	17,893	61,342	1,923	6,411	3,807	12,042	4,059	13,711	1,998	6,435
40～49	26,232	97,145	5,351	18,980	5,291	18,739	5,067	18,042	3,083	10,230
30～39	21,467	85,552	5,488	22,497	6,018	24,114	4,972	18,846	2,346	8,239
23～29	5,447	19,295	899	3,377	1,427	5,011	1,211	4,087	911	2,687
19～22	2,238	7,776	448	1,400	701	2,145	743	1,993	302	894
16～18	2,549	8,967	348	1,152	558	1,745	631	1,548	280	957
13～15	4,324	15,812	915	3,089	1,057	3,764	763	2,553	158	609
10～12	8,471	34,033	2,732	9,817	1,988	7,853	2,076	7,638	441	1,718
7～9	11,049	48,471	3,437	13,625	3,387	13,411	2,945	12,054	324	1,432
0～6	10,796	47,986	3,791	16,963	3,487	14,995	2,457	11,131	355	1,596
計	149,936	557,698	29,763	110,279	35,267	127,249	35,562	123,615	13,633	46,340
26年度	146,732	549,726	28,453	104,665	34,874	125,763	34,587	121,151	13,265	45,561
前年比較	3,204人	7,972点	1,310人	5,614点	393人	1,486点	975人	2,464点	368人	779点
	2.2%	1.5%	4.6%	5.4%	1.1%	1.2%	2.8%	2.0%	2.8%	1.7%

館別分類別個人貸出表

(単位：点)

		伊勢崎市図書館		市民プラザ図書室		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館	
		26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度
一般	総記	2,574	2,616	2,818	820	600	583	932	887	1,122	1,100
	哲学	5,633	5,674	1,688	1,733	1,226	1,523	2,810	2,645	2,174	2,247
	歴史	13,574	13,891	4,662	4,384	3,684	3,592	7,883	7,948	6,800	6,484
	社会	13,334	14,816	3,120	3,255	2,975	3,167	5,900	5,768	5,027	4,903
	自然	10,802	11,956	2,980	3,034	1,993	2,187	4,364	4,326	3,944	4,042
	技術	22,238	22,904	10,564	10,021	8,037	9,009	15,668	14,979	9,946	9,948
	産業	5,935	6,554	1,738	1,775	1,609	1,569	2,891	2,993	2,162	2,239
	芸術	17,834	17,308	16,318	13,963	10,523	11,433	18,151	15,955	5,151	5,524
	言語	1,787	1,798	454	576	344	414	818	906	645	693
	文学	81,688	84,344	18,990	18,618	14,466	16,344	33,971	35,364	34,743	36,124
計	175,399	181,861	63,332	58,179	45,457	49,821	93,388	91,771	71,714	73,304	
児童	総記	992	839	632	547	265	306	620	573	679	670
	哲学	1,790	1,828	709	655	571	609	1,058	1,064	421	443
	歴史	3,695	4,518	1,730	1,625	1,137	1,491	1,645	1,770	1,066	1,078
	社会	1,277	1,623	384	413	413	468	637	547	523	758
	自然	6,303	6,896	2,218	2,868	2,896	3,288	3,997	3,663	1,870	2,112
	技術	2,400	2,502	772	715	1,267	1,487	1,847	1,815	814	957
	産業	854	1,028	377	319	401	469	490	612	184	191
	芸術	6,081	6,678	2,143	2,050	2,928	2,942	5,047	4,839	1,419	1,592
	言語	1,079	1,217	368	355	481	580	451	586	356	321
	文学	28,934	30,944	10,262	9,080	10,351	10,304	15,033	15,412	10,533	10,157
絵本	51,826	53,747	21,987	19,900	20,496	21,487	37,653	37,338	20,710	19,917	
紙芝居	3,280	2,946	1,749	1,501	1,420	1,553	1,742	1,769	1,681	1,917	
計	108,511	114,766	43,331	40,028	42,626	44,984	70,220	69,988	40,256	40,113	
郷土	2,590	2,569	368	359	444	366	61	85	919	855	
大活字本	2,678	2,646	240	243	44	139	373	582	320	510	
点字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
洋書	417	471	6	11	10	25	110	200	218	161	
その他	1	1	0	1	0	0	18	23	0	0	
合計	289,596	302,314	107,277	98,821	88,581	95,335	164,170	162,649	113,427	114,943	
雑誌	10,435	10,356	3,857	5,774	5,968	6,142	9,783	11,327	8,815	8,881	
視聴覚資料	C D	24,184	25,201	7,792	7,694	7,371	7,677	14,531	15,051	11,257	10,974
	カセット	56	20	0	0	1	0	2	1	0	0
	ビデオ	2,478	2,050	331	122	118	121	1,405	595	1,453	1,184
	D V D	21,295	22,540	9,323	8,867	12,075	12,858	15,818	17,232	12,089	12,985
	R O M	5	12	2	4	0	1	1	4	0	0
	録音朗読	2,703	2,761	104	194	17	32	21	22	525	437
	合計	50,721	52,584	17,552	16,881	19,582	20,689	31,778	32,905	25,324	25,580
総計	350,752	365,254	128,686	121,476	114,131	122,166	205,731	206,881	147,566	149,404	

V 生涯学習

蔵書構成 (平成27年度末)

(単位：点)

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
		26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度
一般	総記	7,077	7,197	956	859	1,692	1,534	3,131	3,179	12,856	12,769
	哲学	6,741	6,906	1,357	1,312	2,787	2,846	2,740	2,786	13,625	13,850
	歴史	16,210	16,555	3,535	3,101	6,803	6,607	8,497	8,600	35,045	34,863
	社会科学	18,853	19,562	2,698	2,882	8,522	8,676	10,283	10,294	40,356	41,414
	自然科学	8,651	8,883	1,758	1,920	5,112	5,253	4,393	4,455	19,914	20,511
	技術	10,414	10,312	3,267	3,528	9,366	8,631	4,656	4,812	27,703	27,283
	産業	4,683	4,815	1,462	1,265	2,834	2,888	1,912	1,952	10,891	10,920
	芸術	16,287	16,581	4,161	3,986	9,240	9,170	7,409	7,364	37,097	37,101
	言語	2,748	2,810	681	631	1,119	1,144	1,128	1,133	5,676	5,718
	文学	63,353	63,483	14,246	15,098	27,303	28,487	39,692	40,822	144,594	147,890
計	155,017	157,104	34,121	34,582	74,778	75,236	83,841	85,397	347,757	352,319	
図書資料	総記	986	1,004	271	294	395	404	621	636	2,273	2,338
	哲学	706	732	194	222	251	261	331	335	1,482	1,550
	歴史	3,042	3,036	693	740	1,127	1,143	1,135	1,189	5,997	6,108
	社会科学	2,780	2,869	519	561	952	986	1,454	1,470	5,705	5,886
	自然科学	5,482	5,567	1,278	1,384	2,972	3,013	1,893	2,006	11,625	11,970
	技術	2,155	2,217	550	600	933	940	938	967	4,576	4,724
	産業	1,216	1,246	380	416	474	490	414	425	2,484	2,577
	芸術	3,272	3,313	880	949	1,599	1,563	1,019	1,030	6,770	6,855
	言語	945	947	269	290	339	344	411	400	1,964	1,981
	文学	25,465	25,888	5,823	6,055	11,617	11,965	10,495	10,432	53,400	54,340
絵本	29,602	30,599	5,710	5,946	14,838	15,198	8,547	8,757	58,697	60,500	
紙芝居	1,909	1,947	627	631	1,088	1,108	701	706	4,325	4,392	
計	77,560	79,365	17,194	18,088	36,585	37,415	27,959	28,353	159,298	163,221	
郷土	28,254	28,749	1,457	1,559	2,818	2,878	6,732	6,838	39,261	40,024	
大活字	2,859	2,917	244	269	746	746	1,238	1,237	5,087	5,169	
点字	1,052	1,052	0	0	0	0	0	0	1,052	1,052	
洋書	1,638	1,649	4	4	111	113	582	588	2,335	2,354	
その他	86	86	0	0	4	5	0	0	90	91	
合計	266,466	270,922	53,020	54,502	115,042	116,393	120,352	122,413	554,880	564,230	
雑誌	5,745	5,870	919	904	3,501	3,510	3,895	4,021	14,060	14,305	
視聴覚資料	C D	7,878	7,881	2,595	2,698	4,293	4,396	2,933	3,066	17,699	18,041
	カセット	47	47	2	2	4	4	0	0	53	53
	ビデオ	2,320	2,232	305	194	1,665	1,544	1,370	1,370	5,660	5,340
	D V D	2,513	2,700	1,189	1,294	1,355	1,516	1,383	1,481	6,440	6,991
	R O M	92	95	10	11	10	10	3	4	115	120
	録音・朗読	2,144	2,200	0	0	62	62	106	120	2,312	2,382
	合計	14,994	15,155	4,101	4,199	7,389	7,532	5,795	6,041	32,279	32,927
総計	287,205	291,947	58,040	59,605	125,932	127,435	130,042	132,475	601,219	611,462	

市民プラザ図書館の蔵書は伊勢崎市図書館に含む。

一般図書構成割合 (平成27年度末)

(単位：%)

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
		26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度
一般	総記	4.57	4.58	2.80	2.48	2.26	2.04	3.73	3.72	3.70	3.62
	哲学	4.35	4.40	3.98	3.79	3.73	3.78	3.27	3.26	3.92	3.93
	歴史	10.46	10.54	10.36	8.97	9.10	8.78	10.13	10.07	10.08	9.90
	社会科学	12.16	12.45	7.91	8.33	11.40	11.53	12.26	12.05	11.60	11.75
	自然科学	5.58	5.65	5.15	5.55	6.84	6.98	5.24	5.22	5.73	5.82
	工学技術	6.72	6.56	9.57	10.20	12.53	11.47	5.55	5.63	7.97	7.74
	産業	3.02	3.06	4.28	3.66	3.79	3.84	2.28	2.29	3.13	3.10
	芸術	10.51	10.55	12.19	11.53	12.36	12.19	8.84	8.62	10.67	10.53
	言語	1.77	1.79	2.00	1.82	1.50	1.52	1.35	1.33	1.63	1.62
	文学	40.87	40.41	41.75	43.66	36.51	37.86	47.34	47.80	41.58	41.98
計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

VI 文化振興



第7回自然部門総合展

文化振興

1 基本方針

市民の情操をかん養するため、文化芸術活動に関する機会の提供、各種文化団体への育成及び連携を深め、市民の文化活動のより一層の活性化を図る。

2 重点施策

(1) 文化活動への支援と機会の拡充

文化団体相互の連携を強化し、団体が行う活動への支援や文化芸術に対する理解と鑑賞力を高めることを目的とした作品展等の開催を通して、市民文化の形成・向上を図る。

(2) 文化の創造・育成と伝統文化の伝承

新たな文化の創造・育成と地域の伝統文化の伝承を推進するための活動への支援や人材の育成を図り、大人から子どもまでが文化に親しむ機会を拡充する。

(3) 舞台芸術鑑賞の提供

世界並びに日本の優れた舞台芸術・公演等の鑑賞機会を市民に提供する。

(4) 文化施設の機能の充実

地域が育んできた文化活動や伝統芸能の発表、展示を支援するために文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センター等の施設機能を充実させる。

3 平成27年度事業実績

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

文化協会は15部門に分かれ、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流も深めている。

月	日	事業名	内 容	会 場
4	5	華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会 ※荒天の為中止	郷土芸能部門会員による発表会	華蔵寺公園 野外ステージ
	22	役員会・常任理事会	定期総会に向けて	伊勢崎市役所
5	26	定期総会	平成26年度報告 平成27年度計画	プラザ・アリア
8	26	常任理事会	賛助会員加入協力について	伊勢崎市役所
9	11～13	第9回総合作品展	美術部門会員による発表会	境総合文化センター
	13	洋舞フェスティバル2015	洋舞部門会員による発表会	
	13	第8回茶会	茶道部門会員による茶会	
11	20～22	第7回自然部門総合展	自然部門会員による作品展	境総合文化センター
	21	第9回市民音楽祭	音楽部門会員による発表会	
	22	第9回郷土芸能大会	郷土芸能部門会員による発表会	
12	14	文化いせさき編集会議	会報編集に向けて	伊勢崎市役所

1	25	役員会・常任理事会	賛助会員加入状況報告について	プラザアリア
2	5~7	第9回書道展	書道部門会員による発表会	境総合文化センター
	6	諸芸部門舞台発表会	諸芸部門会員による発表会	
	7	第19回歌謡部門発表会	歌謡部門会員による発表会	
	6・7	第9回文学祭	文学部門会員による文学祭	ふくしプラザ
	6・7	第9回いけばな展	華道部門会員による発表会	
	25~28	第9回写真展	写真部門会員による写真展	伊勢崎市文化会館
	27	第8回邦楽舞踊のつどい	邦楽舞踊部門会員による発表会	
	28	第9回吟剣詩舞の集い	吟剣詩舞部門会員による発表会	
28	第9回民謡民舞発表大会	民謡民舞部門会員による発表会		

イ 文化協会登録団体

文化協会 15 部門の内訳は以下のとおりであり、団体総数 235 団体、会員総数 7,610 人。

部 門	種 目	団 体 数	人 数	部 門	種 目	団 体 数	人 数
美 術	日 本 画	2	21	吟 剣 詩 舞	吟 詠	9	328
	洋 画	4	62		詩 舞	6	63
	工 芸	2	64		計	15	391
	そ の 他	6	138	民 謡 民 舞	民 謡	18	313
	計	14	285	郷 土 芸 能	八 木 節	18	412
書 道	か な	2	32		は や し	8	301
	漢 字	21	443		和 太 鼓	4	185
	そ の 他	3	31		獅 子 舞	3	81
	計	26	506		古 武 道	2	31
写 真	写 真	8	139	そ の 他	6	167	
華 道	華 道	2	650	計	41	1,177	
茶 道	茶 道	7	960	洋 舞	社 交	1	15
文 学	短 歌	3	48		フ ォ ー ク	2	34
	俳 句	1	27		フ ラ ダ ン ス	18	388
	川 柳	1	19		そ の 他	2	46
	そ の 他	3	86		計	23	483
	計	8	180	自 然	植 物	8	255
音 楽	合 唱	17	527		動 物	1	50
	器 楽	5	158		そ の 他	1	20
	計	22	685	計	10	325	
歌 謡	歌 謡	15	769	諸 芸	将 棋 囲 碁	2	79
邦 楽 舞 踊	邦 楽	3	302		そ の 他	3	85
	邦 舞	18	281		計	5	164
	計	21	583	合 計	235	7,610	

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピア伊勢崎」の普及

全員参加ができるまつりにしようと、市民になじみの曲をアレンジし創作したダンスを多くの市民に楽しく踊って、祭りに参加してもらうため公民館や学校体育館等にて講習会を開催した。いせさきまつりでは約1,400人が本町通りを埋め尽くして踊り、各地区のまつり・納涼祭及び各種イベント等においても多くの市民が参加している。

- ・講習会及びイベント（年間）30回、約2,500人が参加。



いせさきまつり

イ 市民アートフェスティバル

市内の美術愛好家の交流を図るとともに、市民の芸術文化の振興と向上を目指す観点から、市民より応募のあった日本画・洋画・書・彫刻工芸・手芸作品を境総合文化センターにて展示公開した。

・10月23日～10月26日	書（111点）	観覧者 741人
・10月30日～11月2日	彫刻工芸（17点）・手芸（90点）	観覧者 717人
・11月13日～11月16日	日本画（54点）・洋画（65点）	観覧者 936人
出品点数合計 337点		観覧者合計 2,394人



市民アートフェスティバル

ウ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開している。

- ・公開作品総数 347点（福沢一郎絵画 30点・リトグラフ 44点、磯部草丘 53点、森村西三 6点、金井島洲 36点、資料 178点）

(3) 舞台芸術鑑賞事業

ア 伊勢崎市文化会館

実施日	公演名	入場者数
6月6日	MayJ. Spring Tour 2015 ～ReBirthday～	1,381
6月7日	ソナーポケットコンサート ソナポケイズム Vol.5	1,394
7月20日	小野リサ LISA ONO WORLD TOUR 2015 in JAPAN	503
9月5日	GO!プリンセス・プリキュア (2回公演)	1,153
9月22日	エントランスホールチャリティーコンサート エレクトーンの不思議な世界!	113
10月17日	沢田研二コンサート	1,298
10月18日	DRUM TAO 百花繚乱 日本ドラム絵巻	1,422
10月23日	氷川きよしコンサート (2回公演)	2,733
11月3日	タンゴ・ロマンス	312
11月22日	清塚信也ピアノリサイタル	487
12月6日	稲垣潤一コンサート	1,061
1月23日	ワンコインコンサートⅢ フルート・デュオ『櫻舞』ふれあいコンサート	305

イ 伊勢崎市境総合文化センター

実施日	公演名	入場者数
5月23日	川井侑子 with 西村紀江コンサート	655
7月4日～ 8月30日	第18回伊勢崎市境演劇フェスティバル アマチュア劇団公演	1,827 (※)との 合計人数
7月12日	音楽の絵本アミーゴ～親子のためのコンサート～	678
10月3・4日	第18回伊勢崎市演劇フェスティバル 小林賢太郎 ワークショップ	※
10月17日	第39回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば 群馬交響楽団演奏会 オータムコンサート in SAKAI	535
1月23日	第11回いせさき能「采女」	435
2月21日	第20回伊勢崎境アマチュア音楽祭 フリーライブ2016	194

ウ 伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ

実施日	公演名	入場者数
6月27・28日	超大型紙芝居公演	735
1月24日	ケロポンズ親子コンサート	479

(4) 文化施設の利用状況

施設名	文化会館		境総合文化センター		赤堀芸術文化プラザ	
	開館日数：339日		開館日数：336日		開館日数：336日	
種別	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
大ホール	219	119,420	236	40,743	220	22,309
小ホール	281	56,987	189	21,610		
ホール小計	500	176,407	425	62,353	220	22,309
会議室他	1,975	47,930	2,463	38,527	-	-
展示室他	440	29,810	308	58,346	43	1,802
室等の小計	2,415	77,740	2,771	96,873	43	1,802
合計	2,915	254,147	3,196	159,226	263	24,111

Ⅶ 文化財保護



平成 28 年 3 月 24 日指定
伊勢崎市指定重要文化財
本妙寺の鬼子母神堂 附棟札

文化財の保護と活用

1 基本方針

- (1) 文化財に親しみ理解を深めてもらうために、民間ホールでの埋蔵文化財展等の開催や歴史文化講座の充実に努めます。
- (2) 郷土の歴史や文化を次代に継承するために、先人が残した地域の歴史遺産や文化遺産など価値ある文化財を調査、保存に努めます。また、世界遺産である田島弥平旧宅周辺の整備環境に努めます。
- (3) 郷土を愛する心を育むために、地域の伝統芸能の継承活動等を支援します。

2 重点施策

(1) 文化財の調査研究と情報発信

- ア 文化財普及啓発事業の推進
- イ 佐位郡衙関連遺跡の調査研究の推進
- ウ 赤堀歴史民俗資料館の充実

(2) 文化財の保存と活用

- ア 文化財の保存管理
- イ 文化財新規指定の推進
- ウ 史跡女堀保存整備活用事業の推進
- エ 史跡田島弥平旧宅保存整備活用事業の推進
- オ 世界遺産の環境整備
- カ 史跡上野国佐位郡正倉跡保存整備活用事業の推進

(3) 伝統芸能などの保存と継承

- ア 有形・無形民俗文化財の保存と普及啓発事業の推進

3 平成27年度事業実績

(1) 文化財保護事業

ア 文化財調査委員

伊勢崎市文化財保護条例により文化財調査委員を委嘱し、文化財の保存及び活用等について調査審議を行った。

委員構成：人文地理・近代史、考古学、古代史、中世史、近世史、建築学、植物学、民俗学の有識者（計8人）

任 期：2年間（平成27・28年度）

開催回数：3回

第1回 6月22日（月）同聚院の武家門の移設について、間野谷の石造層塔の移設について

第2回 11月21日（土）本妙寺鬼子母神堂現地調査

第3回 1月26日（火）本妙寺鬼子母神堂の指定について

（3月24日（木）指定 伊勢崎市指定重要文化財 本妙寺の鬼子母神堂 附棟札）

(2) 保護管理事業

ア 指定文化財の保護管理

所有者又は管理団体に対して指定文化財活用管理謝礼金を交付し、見学者への説明や文化財の良好な環境維持を図った。

イ 説明板等の設置

国指定史跡「田島弥平旧宅」の案内板を設置した。

ウ 史跡上野国佐位郡正倉跡関連の調査・普及啓発

(ア) 確認調査

佐位郡衙関連調査として、殖蓮小学校北の正倉院北東部で発掘調査を実施した。その結果、佐位郡衙に関連すると思われる掘立柱建物跡が確認された。

(イ) 啓発活動

2月20日に合同遺跡報告会「発掘された古代の役所～最新の発掘調査からみた上野・北武蔵の律令社会～」を開催し、267名が参加した。

エ 史跡女堀関連の調査・普及啓発

(ア) 確認調査

女堀と谷地が交差するE区（169㎡）の発掘調査を、10月1日から12月25日まで実施した。

(イ) 啓発活動

6月13日、14日に開催された赤堀花しょうぶ園まつりで、発掘調査パネル展示、クイズラリー、タブレット端末での発掘調査視聴を実施し705名の参加があった。東京福祉大学と協働し、12月22日赤堀南小学校6年生100名を対象にICTを活用した史跡女堀の講座を実施した。

オ 史跡田島弥平旧宅の保存管理・普及啓発

(ア) 調査整備委員会の開催

整備活用基本計画を策定するため、平成25年度に設置した調査整備委員7名による委員会4回と、建築学専門である委員からなる小委員会を2回開催した。

(イ) 史跡整備の実施

史跡の外構美化、桑場北側下屋、井戸上屋貫材、表門の門袖や種蔵の雨樋の修繕、桑場の環境整備を行った。また、史跡整備の基本図面を作成するため、史跡内の建造物（桑場・表門・裏門・東門・氏神様・井戸・蚕具置場）の実測調査や田島弥平旧宅の史資料のうち、横浜開港資料館が行った史資料の再整理を行った。

(ウ) 案内所の運営

市臨時職員6名の観光サポートをシフトにより配置し、展示の解説、DVD上映、田島弥平旧宅の案内を行った。

(エ) 周辺環境整備の実施

来訪者対応を図るため、仮設トイレの設置や警備員を配置して史跡周辺の環境整備を行った。

(オ) 啓発活動

5月31日に開催された渡船フェスタにあわせ、桑場一階の公開に157名の参加があった。11月8日には、「秋の特別公開」として、主屋1階上段の間及び桑場1階の公開、桑場下屋にて菊の展示を行い198名の参加があった。

カ 指定文化財のパトロール等の実施

指定文化財の破損等の確認及び説明板の清掃を実施した。

キ 指定文化財等の補修

- ① 市指定重要文化財「平塚赤城神社本殿」の説明板の修繕をした。
- ② 市指定重要文化財「同聚院の武家門」の説明板の移設をした。
- ③ 市指定重要文化財「旧森村家住宅」の、トイレの天井の修繕をした。
- ④ 市指定重要文化財「旧時報鐘楼」の、外側に設置されていた未使用の電源回路の撤去を行った。
- ⑤ 市指定重要文化財「黒羽根内科医院旧館」の2階和室の畳交換修繕をした。
- ⑥ 市指定史跡「庚塚古墳」の西側ネットフェンス傾いたため修繕をした。

- ⑦ 県指定天然記念物「連取のマツ」は、平成21年度から保護養生事業を実施しており、殺菌剤の散布と、樹下の土壌を膨軟にして樹勢の回復を図った。
- ⑧ 国指定史跡「田島弥平旧宅」の、種蔵雨樋の再設置と表門袖部分の腐朽した材の交換をした。
- ⑨ 国指定史跡「田島弥平旧宅」の、桑場北側下屋部分と井戸上屋の緊急修繕をした。
- ⑩ 国指定史跡「田島弥平旧宅」の、桑場の自動火災報知設備、1階の段差解消修繕をした。
- ⑪ 国指定史跡「田島弥平旧宅」の、主屋2階東面の外壁、桑場東面の材の修繕をした。
- ⑫ 文化財第一収蔵庫の物置屋根の修繕をした。

ク 資料の閲覧・撮影・掲載・借用

学術研究等を目的として閲覧6件、撮影11件、掲載41件、借用21件の申請があり許可した。

ケ 指定文化財の現状変更等

- ① 国指定史跡女堀は、保存整備活用事業の基本構想策定のため平成23年度から6年計画で発掘調査を実施しており、平成27年度の発掘調査に際し現状変更計画書を文化庁へ提出し許可された。
- ② 県指定天然記念物「連取のマツ」は、養生事業に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。
- ③ 国指定史跡田島弥平旧宅は、桑場と井戸上屋の修繕に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。
- ④ 国指定史跡田島弥平旧宅は、平成26年2月の雪害時に破損して取り外した種蔵の雨樋の再設置と、表門の腐朽した材の交換を行い、復旧終了報告書を提出した。
- ⑤ 国指定史跡上野国佐位郡正倉跡は、個人による電柱撤去に係る現状変更等許可申請書を文化庁に進達し、許可された。また、四ツ葉学園中等教育学校体育館天井改修工事、殖蓮小学校昇降口防水工事、個人宅の樹木伐採・水栓柱撤去について市教委の権限で許可した。

コ 出土品の保存

出土遺物保存処理は、本関町古墳群出土の大刀1点、刀子1点、鉄鏃15点の保存処理を行った。

サ 文化財の防火活動

1月26日に市指定重要文化財「同聚院の武家門」のある同聚院敷地内において、住職や地域住民、伊勢崎消防署の協力により消防訓練を実施した。また3月6日に国指定史跡「田島弥平旧宅」の史跡内においても、田島弥平旧宅当主や地域住民、境消防署の協力により消防訓練を実施した。

(3) 普及事業

ア 旧森村家住宅活用事業

月に2回一般公開を行い、「十五夜のつどい」「史跡巡り（宮郷中学校1年）」「写生大会（宮郷第二小学校5年）」「クリーン作戦（宮郷第二小学校5年）」など、来場者は1,124人であった。

イ はたおり体験学習事業

会場を緋の郷として、市内24校の小学校3年生2,063人の児童が参加し、織物ボランティア「織りの会」が指導を行った。5月3日に華蔵寺公園ではたおり体験を実施し、51名の参加があった。

ウ 出前講座・講演等

出前講座は「クイズで学ぶ伊勢崎の歴史」と「楽しく学ぶ伊勢崎市の古代」のメニューで実施したほか、小学生の地域学習の現地説明等を実施し、合わせて1,982人の受講があった。

【講座・講演】

期 日	対象者	テーマ・内容	人数
4月27日(月)	殖蓮小学校6年生	殖蓮地区の遺跡	125人
5月1日(金)	三郷小学校6年生	お富士山古墳	126人
5月12日(火)	殖蓮小学校6年生	一ノ関古墳	122人
6月8日(月)	伊勢崎市観光ボランティアガイドの会	楽しく学ぶ伊勢崎市の古代(国指定史跡「女堀」について)	15人

6月10日(水)	共愛学園前橋国際大学	女堀	9人
6月16日(火)	殖蓮小学校6年生	土器作り	125人
6月18日(木)	中央町一区	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	21人
6月19日(金)	あずま南小学校6年生	鶴巻古墳	100人
6月26日(金)	赤堀中学校	田島弥平旧宅と伊勢崎緋について	800人
8月4日(火)	小学校社会科実技研修会	女堀	30人
8月5日(水)	スマーク	楽しく学ぶ伊勢崎市の古代	105人
9月2日(水)	赤堀小学校6年生	土器作り	120人
9月10日(木)	茂呂歴史愛好会	楽しく学ぶ伊勢崎市の古代	15人
10月13日(火)	赤堀小学校6年生	土器野焼き	120人
10月14日(水)	伊勢崎市観光ボランティアガイドの会	「小菊の里」周辺の史跡について	18人
11月22日(日)	群馬県立歴史博物館 友の会	旧群馬蚕業取締所境支所・旧境運輸倉庫	50人
12月21日(月)	伊勢崎市観光ボランティアガイドの会	上野国佐位郡正倉跡はなぜ国指定史跡になったか	25人
1月27日(水)	大島病院デイケア	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	16人
2月13日(土)	八坂町ミニデイサービス	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	40人

工 埋蔵文化財展

事業名	開催期間	会場ほか
埋蔵文化財展 「考古学どこでもドア 旧石器時代と縄文時代を見てみよう」	8月22日～24日	スマークホール ・見学者2,289人 ・特別展示解説会 講師：前原 豊先生 (前橋市教育委員会文化財保護課)

オ 埋蔵文化財パネル展

事業名	開催期間	会場
埋蔵文化財パネル展 「伊勢崎市の遺跡・古墳時代編」	10月26日～11月13日	市民ホール
	11月16日～12月24日	市民サービスセンター宮子
	1月16日～2月21日	赤堀歴史民俗資料館

カ 発掘調査現地説明会

事業名	開催日	参加者数
史跡女堀現地説明会	12月6日	160人

キ 報告書等の刊行

発掘調査報告書『市内遺跡3』、『平成25・26年度市内遺跡確認調査報告書』を作成した。

ク 伝統文化親子教室事業

文化庁補助事業の「伝統文化親子教室事業」を支援した。

(対象事業)

子ども屋台囃子教室事業、茂呂町二丁目屋台囃子親子教室事業

南北千木町屋台囃子子供教室事業、千本木龍頭神舞親子教室事業

今泉町二丁目伝統文化親子教室事業、中毛・五色百人一首こども教室

ケ 伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会

(ア) 概要

北史談会・殖蓮史談会・茂呂歴史愛好会・三郷文化財研究会・那波郷土史研究会・境史談会

の6団体で構成され、本市の文化振興と文化財愛護意識の向上を目的に、研究会や講演会等の開催、歴史民俗資料の調査保存活動を推進する。

(イ) 活動内容

期 日	会 場	内 容
6月22日(月)	北公民館	総会・記念講演 演題:「飛脚問屋と伊勢崎 ～嶋屋伊勢崎店を中心に～」 講師:巻島 隆さん(学術博士・桐生文化史談会理事)
11月6日(金)	横浜市	文化財視察研修「三溪園・横浜開港資料館・赤レンガ倉庫」
12月14日(月)	北公民館	会員研修会 演題:「伊勢崎の新発見」 講師:星野 正明さん(殖蓮史談会会長) 演題:「ある一族の物語」 講師:谷口 進雄さん(北史談会副会長)

(4) 埋蔵文化財発掘調査の概要

平成27年度の埋蔵文化財発掘調査の件数は、発掘調査(本調査)と確認調査(試掘調査)で合計81件であった。

ア 発掘調査の種別

発掘調査(本調査)	14件	4,058㎡
確認調査(試掘調査)	67件	3,108㎡

イ 開発に伴う埋蔵文化財包蔵地確認依頼件数

区 分	件 数	区 分	件 数
個人住宅	595	不動産取引	391
集合住宅	50	店 舗	16
建売住宅	109	工 場	27
鑑定評価	87	そ の 他	212
分譲住宅地造成	50	計	1,537

(5) 赤堀歴史民俗資料館

ア 利用の概要

開館日数:301日 入館者数:6,863人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日(日)	25	27	25	24	26	26	27	24	23	24	23	27
入館者(人)	382	359	407	800	775	406	969	1,132	177	148	673	635

なお、資料の燻蒸期間中(7月25日～28日)は臨時休館した。

イ 資料館運営協議会

運営協議会を設置し、資料館の運営及び事業計画等について調査審議を行った。

委員構成:学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者6人(計8人)

任 期:2年間(平成27・28年度)

開催回数:3回

ウ 展示活動

(ア) 常設展示

1階展示室 発掘調査で得られた資料を年代順に展示解説(市指定重要文化財3点を含む)。

2階展示室 復元古民家とその内部および養蚕資料を展示。

(イ) 企画展

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	7月4日(土) ～8月9日(日)	企画展「伊勢崎絨 養蚕から銘仙」	1,040人
第2回	10月24日(土) ～11月22日(日)	市収蔵美術展「島村の誇る日本画家金井烏洲展」	1,438人
第3回	3月19日(土) ～4月10日(日)	市収蔵資料展「現在(いま)！を構想した人 石川泰三展」	123人 (3月31日まで)

(ウ) 季節展

	期 間	展 示 名	観覧者数
第1回	4月25日(土)～5月10日(日)	端午の節供展	342人
第2回	6月27日(土)～7月12日(日)	七夕展	518人
第3回	9月20日(日)～10月4日(日)	お月見展	298人
第4回	1月16日(土)～2月21日(日)	パネル展「伊勢崎の遺跡・古墳時代編」	482人
第5回	2月6日(土)～3月6日(日)	ひなまつり展	967人

エ 教育普及活動

(ア) 情報紙とホームページ

資料館情報紙を毎月発行(第121号～第132号)し、市ホームページにも掲載した。

(イ) 学習支援事業

保育園、幼稚園及び小学校児童や生涯学習団体等に対して、展示解説と学習支援を行った。のべ15校、43団体、1,708人が観覧した。

(ウ) 文化財教室

- ・「まがたまづくり教室」 8月5日(水)～7日(金)
39人が参加し、古代アクセサリーのオリジナルまがたまを作った。
- ・「はたおり体験教室」 8月6日(木)～7日(金)
61人が参加し、はたおり機を使ってコースター織りを体験した。
- ・「しめ縄飾り作り教室」 12月25日(金)
33人が参加し、しめ縄飾り作りを体験した。

(エ) 特別観覧等

学術目的の撮影、他館での展示のための借用、取材など計4件。

(オ) 文化財普及事業

【企画展特別講座】

	期 日	テーマ	講 師	受講者数
第1回	7月18日(土)	特別講座「群馬県の養蚕と伊勢崎の織物産業」	青木 宏さん(伊勢崎市文化財調査委員長)	47人
第2回	10月25日(日)	特別講座「交友から見る金井烏洲の人と作品」	山田 烈さん(元県立近代美術館学芸員)	67人

【歴史文化講座】

	期 日	テーマ	講 師	受講者数
第1回	8月30日(日)	群馬の古墳時代中期を代表する 前方後円墳 お富士山古墳の特徴と歴史的意 義	右島 和夫さん (文化財調査委員)	77人
第2回	9月20日(日)	上野国佐位郡正倉跡「八面甲倉」 の発見とその意義	前沢 和之 さん (文化財調査委員副委員長)	58人
第3回	2月6日(土)	栗庵 似鳩 「伊勢崎俳人栗庵似鳩と蕉風復 興運動」	安保 博史 さん (群馬県立女子大学教授)	34人
第4回	3月12日(土)	金井 研香 「画家 金井研香について」	金井 義明さん (赤堀歴史民俗資料館 運営 協議会委員)	43人

伊勢崎市の指定文化財（144件）

1 国指定重要文化財（6件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
2	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
3	埴輪男子倚像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
4	埴輪武装男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
5	太刀 銘 備前国長船住守家造	1口	連取町	昭和25年 8月29日
6	脇差 銘 備州長船元重	1口	連取町	昭和29年 3月20日

2 国指定史跡（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
7	女堀	1条	下触町213外	昭和58年10月27日 平成9年9月11日追加
8	十三宝塚遺跡	1件	境伊与久	昭和63年 1月11日
9	田島弥平旧宅	1件	境島村2243	平成24年 9月19日
10	上野国佐位郡正倉跡	1件	上植木本町2763外	平成26年10月 6日

3 国指定天然記念物（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
11	華蔵寺のキンモクセイ	1本	華蔵寺町6	昭和12年 6月15日

4 県指定重要文化財（12件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
12	下植木赤城神社石造美術群	3基	宮前町1582	昭和35年 3月23日
13	天増寺宝塔	1基	昭和町1645-1	昭和35年 3月23日
14	脇差 銘 正俊	1口	今泉町二丁目	昭和38年 9月 4日
15	金銅善光寺式三尊仏	3軀	稻荷町518-3	昭和43年 5月 4日
16	宮子の笠塔婆	1基	宮子町1416	昭和48年12月24日
17	絹本著色白崖宝生禅師像	1幅	柴町945(高崎市綿貫992-1)	昭和48年12月24日
18	石倉文書	1巻	三光町	平成 7年 3月24日
19	相川家茶室「觴華庵」附造営文書2点「材木積り立控」 「隠宅普請入用控」	1棟	三光町6-10	平成12年 3月21日
20	お富士山古墳所在長持形石棺	1基	安堀町799	平成13年 3月23日
21	太刀 銘 備州長船実光	1口	下植木町	昭和38年 9月 4日
22	長光寺懸仏	1基	境495(高崎市綿貫町992-1)	昭和33年 3月22日
23	縁切寺満徳寺文書	179点	境287(太田市徳川町385-1)	昭和36年 1月 6日

5 県指定重要無形民俗文化財（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
24	千本木龍頭神舞	1件	北千木町・南千木町	平成18年 3月24日

6 県指定史跡（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
25	金井烏洲と一族の墓	1件	境島村2344-1	昭和48年12月24日

7 県指定天然記念物（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
26	連取のマツ	1本	連取町591	昭和28年 8月25日
27	境高校のトウカエデ	1本	境492	平成 4年 5月15日

8 市指定重要文化財（60件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
28	同聚院の武家門	1棟	曲輪町14-15	昭和41年 4月12日
29	関重嶷著「伊勢崎風土記」ほか2点	5冊	三光町	昭和41年 4月12日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
30	教民要旨の碑	1基	茂呂町二丁目2169-1	昭和41年 4月12日
31	上植木の建長石仏	2体	上植木本町996-5	昭和41年 4月12日
32	伊勢崎河岸の石灯籠	1基	三光町13-13	昭和42年 2月15日
33	千本木龍頭神舞カシラ	3個	南千木町2292	昭和47年 4月25日
34	慶長の釣灯籠	1基	曲輪町	昭和48年 3月 5日
35	八寸権現山の宝塔	1基	豊城町1989-2	昭和48年 3月 5日
36	大聖寺墓地の宝篋印塔	2基	大正寺町89	昭和48年 3月 5日
37	富塚円福寺の宝篋印塔	2基	富塚町2337	昭和48年 3月 5日
38	文明の石幢	1基	曲輪町14-13	昭和48年 3月 5日
39	伊勢崎の太織	25点	曲輪町	昭和48年 3月 5日
40	宮古の古文書	508通	曲輪町22-21	昭和48年 3月 5日
41	常清寺の変型板碑	1基	東本町354	昭和48年 3月 5日
42	岡屋敷の阿弥陀三尊石仏	1体	波志江町165-4	昭和48年 3月 5日
43	新宿の変型板碑	1基	波志江町1410	昭和48年 3月 5日
44	上蓮の阿弥陀・地藏石仏	1基	上蓮町20	昭和48年 3月 5日
45	竹芳寺の梵鐘	1口	連取元町1816	昭和48年 3月 5日
46	脇差 銘 直勝	1口	本町	昭和48年 3月 5日
47	刀 銘 直道	1口	中央町	昭和48年 3月 5日
48	森村家の文書	62冊	連取町361	昭和58年 3月11日
49	波志江権現山の磨崖種子	1基	波志江町2237-6	昭和59年11月29日
50	上西根の五輪塔	1基	鹿島町155-1	昭和59年11月29日
51	藍染熨斗目	1領	北千木町	平成 4年 2月24日
52	倭文神社の朱印状	9通	東上宮町	平成 4年 2月24日
53	旧時報鐘楼	1基	曲輪町28-23	平成 5年 3月23日
54	蛇塚古墳出土埴輪馬	2体	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
55	高山1号古墳出土埴輪輛	1基	西久保町二丁目98	平成 8年 3月29日
56	絹本着色稻垣平右衛門長茂像附同重宗像	2幅	昭和町1645-1	平成 8年 3月29日
57	黒羽根内科医院旧館	1棟	曲輪町31-4	平成14年 9月30日
58	旧森村家住宅	1棟	連取町377-1	平成15年10月31日
59	柴町八幡神社社殿	1棟	柴町693	平成16年11月30日
60	上毛伊勢崎領塾小学内篇・外篇版木 附同版藩校学習堂蔵印小学二冊	1式	曲輪町22-21	平成20年 7月 1日
61	今村神社旧大鏡院仁王門 附奉加帳	1棟	稻荷町乙368、稻荷町	平成22年10月 1日
62	天増寺橋供養地藏尊像	1軀	昭和町1649-1	平成22年10月 1日
63	香林の木造如意輪観音坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
64	香林の石造観音菩薩坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
65	間野谷の石造層塔	1基	間野谷町839 (共同墓地内)	平成 6年 4月 1日
66	宝珠寺の五輪塔	1基	赤堀今井町二丁目1344-1	平成 6年 4月 1日
67	石山観音の大鯛口	1口	下触町4番地	平成20年 2月25日
68	東小保方村分間絵図他一括古文書	1式	東町	昭和48年 2月21日
69	小泉稻荷神社奉納手洗盤	1点	小泉町231	昭和48年 3月22日
70	文化の常夜灯	1基	小泉町259	昭和63年 3月 4日
71	長安寺の宝篋印塔	1基	西小保方町304	昭和63年 3月 4日
72	復元あずま橋と二十三夜塔	2基	国定町一丁目1243-1	昭和63年 3月 4日
73	頼光塚	1基	東小保方町1772-2	平成14年 3月29日
74	延文二年銘鰐口	1点	境261	昭和42年 2月10日
75	曼荼羅板碑	1基	境261	昭和42年 2月10日
76	金井研香筆 境街糸市繁昌之図	1幅	西久保町二丁目98	昭和42年 2月10日
77	東町福島家文書	1式	境東	昭和42年 2月10日
78	大国神社の石幢	1基	境下淵名2827	昭和42年 2月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
79	漂麦園文集 1 2 卷	1式	境保泉	昭和42年 2月10日
80	金井烏洲筆 赤壁夜遊図	1幅	境島村	昭和42年 2月10日
81	養蚕新論版木	1式	境島村	昭和42年 2月10日
82	島村の板倉	1棟	境島村2492	昭和42年 2月10日
83	平塚赤城神社本殿	1棟	境平塚1163-1	昭和42年 2月10日
84	米岡の姥石	1基	境米岡230-2	平成16年11月26日
85	平塚西光寺の馬頭観音塔	1基	境平塚1224	平成16年11月26日
86	境町五人組帳	290点	境323-1	平成16年11月26日
87	本妙寺の鬼子母神堂 附棟札	1件	山王町857	平成28年 3月24日

9 市指定重要有形民俗文化財（5件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
88	平塚の操人形及び衣装（頭等）	1式	境	昭和38年 8月 1日
89	平塚の操人形及び衣装（衣装等）	1式	境323-1	昭和38年 8月 1日
90	平塚の操人形及び衣装（人形・衣装・収納箱一式）	1式	境平塚	平成16年11月26日
91	波志江の屋台	10基	波志江町3348-1 外	平成16年11月30日
92	茂呂の屋台	5基	茂呂町一丁目538-4外	平成22年10月 1日

10 市指定重要無形民俗文化財（16件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
93	伊勢崎木遣り	1式	宮子町1211-1	平成13年 6月29日
94	国定赤城神社奉納獅子舞	1件	国定町一丁目2057	平成18年 6月15日
95	下湊名の獅子舞	1件	境下湊名	平成18年 6月15日
96	剛志の民謡	1件	境剛志地区	平成18年 6月15日
97	女塚祭礼囃子	1件	境女塚	平成18年 6月15日
98	栄町祭礼囃子	1件	境栄	平成18年 6月15日
99	三ツ木祭礼囃子	1件	境三ツ木	平成18年 6月15日
100	東新井の獅子舞	1件	境東新井	平成18年 6月15日
101	倭文神社の田遊び	1件	東上之宮町380	平成19年 8月17日
102	茂呂町一丁目屋台囃子	1件	茂呂町一丁目	平成25年 3月26日
103	茂呂町二丁目屋台囃子	1件	茂呂町二丁目	平成25年 3月26日
104	南北千木町屋台囃子	1件	南千木町	平成25年 3月26日
105	美茂呂町屋台囃子	1件	美茂呂町	平成25年 3月26日
106	茂呂南町屋台囃子	1件	茂呂南町	平成25年 3月26日
107	東町屋台囃子	1件	境東町	平成26年 2月25日
108	気楽流柔術	1件	東小保方町	平成27年 2月26日

11 市指定史跡（27件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
109	権現山遺跡	1件	豊城町1989-3	昭和41年 4月12日
110	お富士山古墳	1基	安堀町799	昭和41年 4月12日
111	今村城跡	1件	稻荷町848-1	昭和41年 4月12日
112	柴宿本陣跡	1件	柴町524	昭和41年 4月12日
113	栗庵似鳩の墓	1基	上蓮町134-1	昭和41年 4月12日
114	稲垣平右衛門長茂の墓 附累代の墓所	24基	昭和町1614	昭和42年 2月15日
115	小島武堯の墓	1基	曲輪町10-11	昭和42年 2月15日
116	関当義・重嶽父子の墓	2基	曲輪町14-10	昭和48年 3月 5日
117	丸塚山古墳	1基	三和町2448外	昭和52年 9月 9日
118	一ノ関古墳	1基	本関町1298-3 外	平成10年12月28日
119	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	2基	曲輪町31-1	昭和42年 2月15日
120	十二所古墳	1基	磯町405-1 外	昭和46年 6月10日
121	庚塚古墳	1基	下触町119-1	平成 7年 4月 1日
122	赤堀城跡	1件	赤堀今井町二丁目1405-1 外	平成16年 8月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
123	毒島城跡	1件	赤堀今井町二丁目815 外	平成16年 8月10日
124	赤堀茶臼山古墳	1基	赤堀今井町二丁目甲995-1 外	平成16年 8月10日
125	天幕城跡	1件	磯町293-1外	平成16年 8月10日
126	六道の道標とあずま道	1件	上田町249	昭和44年 2月21日
127	旗本久永氏陣屋跡	1件	東小保方町3297	昭和63年 3月 4日
128	鶴巻古墳	1基	東小保方町1859 外	昭和44年 2月21日
129	郷学五惇堂の碑	2基	境伊与久676	昭和35年 3月 1日
130	北米岡縄文文化遺跡	1件	境米岡地内	昭和35年 3月 1日
131	西今井中世館跡	1件	境西今井319	昭和42年 2月 2日
132	旧日光例幣使道	1件	境下武土地内	昭和42年 2月 2日
133	村上随憲の墓	1基	境495	昭和42年 2月10日
134	雷電神社古墳	1基	境伊与久3581	昭和52年 3月11日
135	弥勒寺音次郎・音八父子の墓	1件	境下瀧名1349	平成元年 3月15日

12 市指定天然記念物（7件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
136	同聚院の大カヤ	1本	曲輪町14-14	昭和42年 2月15日
137	波志江の大シイ	1本	波志江町2160-3	昭和42年 2月15日
138	上植木のサカキ	1本	本関町1093	昭和42年 2月15日
139	赤堀今井の信濃柿（マメガキ）	1本	赤堀今井町一丁目205	平成 6年 4月 1日
140	塩島稲荷の大サザンカ	1本	八寸町5156-2	昭和44年 2月21日
141	湧水あまが池	1件	上田町269-2	昭和63年 3月 4日
142	西福寺の大カヤ	1本	田部井町二丁目1167	昭和63年 3月 4日

13 国登録有形文化財（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
143	小茂田家住宅（主屋・蚕室・蔵・井戸屋）	4棟	長沼町2631	平成16年 2月17日
144	日本基督教団島村教会、めぐみ保育園舎	2棟	境島村2509-2	平成20年 4月18日

Ⅷ 青少年健全育成



子ども会町内対抗少年相撲大会

心身ともに健全な青少年の育成の推進

1. 基本方針

将来の地域社会を担う自立した青少年を育成するため、青少年の自主的な体験活動を促進し、社会規範・モラルの向上を図るとともに、家庭・地域社会・学校が連携して有害環境の浄化や問題の早期発見に取り組むなど、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組みます。

2. 重点事業

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

- ア. 家庭健全化運動推進モデル地区の指定
- イ. 青少年健全育成大会の開催
- ウ. 青少年健全育成環境浄化大会の開催
- エ. 子ども安全協力の家事業の充実
- オ. 成人式の実施

(2) 次代を担う青少年の育成

- ア. 豊かな人間性を育むための、子ども会育成会やふれあい体験教室での体験活動の充実
- イ. 地域における青少年の健全育成を推進するための、リーダーの養成事業と派遣事業の充実

3. 平成27年度事業実績

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

事業名	趣旨	期日・場所	対象者	参加者数
青少年問題協議会	青少年の指導・育成及び矯正に関する総合的施策の樹立につき重要な事項を調査審議するとともにその適切な実施を期するため必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	4/27、5/22 11/27	委員、幹事	69
青少年健全育成三季運動	青少年の非行や事故の発生が、児童生徒の休業期である季節に増加している。そのため児童生徒の休業期に、「青少年健全育成三季運動」を展開する。	春(3/15～4/30) 夏(7/15～8/31) 冬(12/15～1/31)	市民	18,299
白ポスト回収	白ポストを設置し、有害図書等の回収・調査にあたる。	毎月実施	青少年育成推進員、青少年指導員による回収数	1,232
深夜営業施設立入調査	青少年関係団体及び伊勢崎警察署と連携し、深夜営業施設への立入調査の実施。	7/23	青少年育成推進員、警察署員ほか	24
社会環境実態調査	県青少年健全育成条例に基づき、青少年を取り巻く社会環境の調査を実施。	7/15～8/31	青少年育成環境モニター	41
家庭健全化運動推進モデル地区	家庭の健全化は、青少年の健全育成のために必要不可欠である。そのため毎年モデル地区を指定し、地区において各種事	各モデル地区 会議所・集会所	モデル地区住民	5,292

	業を実施、「家庭の日」「少年の日」「あいさつ運動」の普及実践活動を図る。			
青少年健全育成環境浄化大会	青少年を健全に育成するために、地域ぐるみの育成活動、地域社会のあり方及び各地域における環境浄化の促進について関係団体が事例報告を行い、共通理解のもとに今後の実践活動に資する。	11/20 緋の郷 円形交流館	青少年育成推進員、 指導センター補導員、 関係団体	249
青少年健全育成大会	講演会及び青少年善行者、非行防止絵画優秀者を表彰し、また、青少年に日頃の活動発表の場を提供することで、家庭・学校・地域が思いを一つにし、市民総ぐるみの青少年健全育成運動を推進する。	2/6 赤堀芸術文化プラザ	教育機関、 青少年育成団体	367
子ども安全協力の家	一般家庭や商店・事業所などを、子供達の緊急避難場所として指定し、子ども安全協力の家事業の充実を図る。	通年	設置軒数	1, 202
成人式	青少年育成関係団体等の協力により成人の日を迎える新成人を祝福するとともに、式典の運営に新成人が携わることで、新成人の自覚や意識を高める。	1/10 緋の郷まか	新成人	1, 689



白ポスト回収



深夜営業施設立入調査



青少年健全育成環境浄化大会



青少年健全育成大会



成人式

(2) 次代を担う青少年の育成

事業名	趣旨	期日・場所	対象者	参加者数
ジュニアリーダー初級認定講習会	ジュニアリーダー・サブリーダーに、子ども会活動の基礎的知識・技能を習得させ、あわせて地域のリーダーの組織化をめざす。	6/6～7 伊勢崎市青少年育成センター	ジュニアリーダー サブリーダー	61
子ども会指導者初級認定講習会	単位子ども会の初級指導者を養成し、子ども会活動の健全な活動に資する。	5/31 境総合文化センター 6/7・21 伊勢崎市青少年育成センター	子ども会育成会会員	298
子ども会役員インリーダー研修会	子ども会会員である小学校高学年を対象に、子ども会運営に必要な基礎的知識・技能を習得させることにより、子ども会役員としての自覚を高め、単位子ども会の活性化を図る。	6/20～21 伊勢崎市青少年育成センター	子ども会役員インリーダー	52
子ども会育成会指導者救急救命講習会	子ども会育成会の安全会事業としてAEDを使用した救急救命の講習を、指導者を対象に実施。	7/11 市役所	子ども会育成会指導者	23
子ども会町内対抗少年相撲大会	国技である相撲を通して、自己の体力を養い、伝統ある武道の尊さと礼節を学び、あわせて子どもたちの闘志と友情を育てる。	9/13 華蔵寺公園 運動施設内相撲場	子ども会会員	78
子ども会駅伝競走大会	駅伝競走を通して、子どもたちの走力及び心身を鍛え、あわせて単位子ども会の交流を図る。	10/25 市陸上競技場及びその周辺	子ども会会員	213
伊勢崎市上毛かるた競技大会	上毛かるたの競技を通して、郷土群馬の文化・歴史・伝統を理解し、郷土を愛する心情を養う。	1/24 伊勢崎市民プラザ 柔道場	子ども会会員	224
青少年団体リーダー養成事業	青少年団体の中堅リーダーを各種指導者育成研修会へ派遣し、知識や技能を習得させ、指導者の資格を取得させることにより、指導者としての資質の向上を図る。	4月～3月 県内各地	青少年団体リーダー	46
明日の郷土を築く青少年の集い	青少年の体験活動を支援する団体が集い、日ごろの活動の成果を発表し合い、市民を交えて交流を図り、明日の郷土を築く決意を新たにす。また、本事業を通して、青少年団体活動に対する市民の理解を深める。	10/18 波志江沼環境ふれあい公園	青少年、市民	1,500
ふれあい体験教室	市内の子供を対象に、青少年団体が特色ある活動を活かした体験教室を実施し、豊かな人間性を育むための体験活動を推進する。	4月～3月 市内各地	青少年、市民	1,046
地域こども交流事業 (都市地方連携推進事業)	生活環境の異なる子供達の交流を通して、幅広い視野と柔軟性に富ん	5/24 台東区	台東区・本庄市・玉村町・伊勢崎市	98

	だ思考能力の醸成に寄与し、また、自らの地域を深く知るためのキッカケづくりとする。	11/22～23 伊勢崎市青少年育成センター	ボーイスカウト、ガールスカウト	
アウトドア体験学習 「親子木工教室」	自らの手で物を作る体験を提供するとともに、親子の絆を深める。	8/8 赤堀せせらぎ公園 8/23 あずま公民館	市内在住の小学生と保護者	74
子ども体験教室	子供達に自然の材料を使った物づくりの機会を提供し、また、伝統ある七夕まつりをテーマに夢を養う機会を創出することで、豊かな人間性を育む体験の機会を提供する。	7/18～19 七夕にぎわい広場	市内在住の親子	400
子ども文化財めぐり	子供達が県内の文化財をめぐることにより、郷土に対する愛情を育むとともに参加者同士の親睦を深める。	9/20 館林市周辺 3/6 富岡市周辺	小中学生	60



子ども会駅伝競走大会



伊勢崎市上毛かるた競技大会



明日の郷土を築く青少年の集い

青少年非行防止活動の推進

1 基本方針

心身ともに健全な青少年の育成を目指し、青少年の非行防止活動の推進に努めます。

近年の急速な社会変化は、青少年に大きな影響を及ぼし、そこから生じる非行、いじめ等の問題は、依然として憂慮される状態にあります。

明るい家庭、住みよいまちづくりを推進し、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、青少年に温かい声かけを行い非行防止活動に努めます。

2 重点施策

(1) 地域と一体となった非行防止活動の展開

ア 青少年の非行防止・健全育成を目的として29班編成で実施する通常補導、地元で実施する地区別補導、お祭りの際に実施する特別補導及び列車内補導などを通して、非行少年の早期発見、早期指導に努める。

イ 青少年の非行防止を目指し、違反簡易広告物の除却活動を推進する。

ウ 非行防止絵画・ポスターを作成配布し、地域住民の意識の高揚に努める。

(2) 青少年相談事業の充実

ア 青少年の悩みごと、子どもを持つ親の悩みごとなどを、電話又は面接を通して相談を受け、問題解決の一助とし、青少年の健やかな育成を図る。

イ 毎週月曜日から金曜日の午後1時から午後5時まで、青少年相談員による電話又は面接相談を実施する。

ウ 休日、夜間は、留守番電話で対応する。

エ 電話相談及び面接相談は、青少年指導センターで行う。

オ 青少年相談事業の啓発のため、電話相談カードを作成し市内の学校に配布する。

(3) 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

ア 青少推と連携し、市内5箇所の大型店舗で青少年健全育成・非行防止街頭キャンペーンを実施する。

(4) 青少年健全育成及び非行防止絵画ポスターの募集

ア 「夏の青少年健全育成運動」の一環として、市内の小学校及び中学校の児童・生徒を対象に、青少年健全育成及び非行防止に関する絵画ポスターを募集する。

イ 応募された作品の中から入賞作品を選出し、健全育成大会で表彰する。

(5) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

ア 補導員会役員会を開催し、地域の団体や学校との意見交換を推進する。

イ 研修会などを通して、警察や関係機関との連携を図る。

3 平成27年度事業実績

(1) 街頭補導状況

(単位：回、人)

月	補導回数				従事した延べ人数					
	午後 2時	午後 4時	夜間	計	補導員			他団体	職員	計
					通常	特別	計			
5	6	7	11	24	81	0	81	0	0	81
6	6	10	11	27	97	0	97	0	0	97
7	6	8	12	26	81	23	104	8	4	116
8	6	7	17	30	74	28	102	0	4	106
9	6	9	13	28	87	11	98	0	1	99
10	5	7	9	21	76	0	76	0	0	76
11	6	9	11	26	84	0	84	0	0	84
12	8	9	19	36	87	39	126	0	0	126
1	5	8	12	25	78	16	94	0	1	95
2	6	9	11	26	87	16	103	6	3	112
3	7	9	11	27	86	35	121	0	0	121
計	67	92	137	296	918	168	1,086	14	13	1,113

(2) 問題別・相談者別相談状況

(単位：件)

相談内容	未就学	小学生	中学生	高校生	青年	親	一般	合計
非行	0	0	0	0	1	0	1	2
異性・性	0	0	1	0	0	0	0	1
交友	0	1	0	1	3	0	1	6
学業	0	1	0	0	0	0	0	1
進路	0	0	0	0	0	3	1	4
不登校	0	0	0	0	0	1	1	2
健康	0	1	0	0	0	0	8	9
家庭	0	0	0	0	0	1	17	18
性格	0	0	0	0	0	0	1	1
しつけ	0	0	0	0	0	0	2	2
いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	4	141	145
合計	0	3	1	1	4	9	173	191



非行防止街頭キャンペーン



列車内補導

地域で見守る 青少年

ルールの概要

青少年（18歳未満）は、午後10時から午前4時までの外出が禁止されています。

青少年に、有害な映画や図書などを見せたり聞かせたりしてはいけません。

青少年に、有害な玩具などを持たせてはいけません。

インターネットは、フィルタリングなどで適切な利用に努める必要があります。

非行防止のために

地域の子にはあいさつを、「声かけ運動」をしましょう

携帯電話の使い方について、家族で話し合いましょう

困ったら・・・ 青少年電話相談へ！

一人で悩まないで!!

0270-27-8080

来所の相談もできます

相談時間 土・日・祝日を除く午後1時～午後5時まで
場 所 伊勢崎市伊勢町1710番地2 野の森 市民文化館1階

伊勢崎市青少年指導センター
伊勢崎市青少年指導センター補導員会

非行防止ちらし

ひとりで悩まないで
電話そうだんしてね
ひみつはまもります

青少年そうだん
☎27-8080

電話相談カード

あいさつは
心の扉を開くカギ

青少年そうだん
☎27-8080
秘密は守ります

伊勢崎市青少年指導センター

健全育成啓発ティッシュ

Ⅸ スポーツ振興



第1回シルバートライアルスポーツ祭inいせさき（スポーツ吹矢）

スポーツ振興

1 基本方針

- (1) 一市民一スポーツの推進を図る
- (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る
- (3) スポーツ団体の育成強化を図る
- (4) スポーツ施設・整備の充実を図る

2 重点施策

(1) 一市民一スポーツの推進を図る

ア 市民が多く参加できるスポーツ教室の推進

子どもから高齢者まで、年齢・体力・技術に応じてスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を目的に一流選手に触れる機会のスポーツ教室の開催など、市民のすべてが生涯にわたり健康で生きがいのある生活が送れるように努めます。

イ 家族で楽しめる「市民スポーツの日」の推進

毎月第一日曜日を「市民スポーツの日」として、施設（陸上競技場・庭球場・市民体育館・第二市民体育館・赤堀体育館・あずま体育館・境体育館など）を無料開放。市民が家族でスポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体を鍛え、明るく豊かなまちづくりの推進に努めます。

ウ 市民総合体育大会の充実

第12回市民総合体育大会を開催し、広く市民にスポーツの振興・普及を図り市民の体力づくり運動を推進するとともに市民総スポーツの定着に努めます。

エ 市民レクリエーションスポーツ祭の充実

第12回市民レクリエーションスポーツ祭を開催し、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民スポーツの推進に努めます。

オ スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の推進

地域住民のニーズにあった、ニュースポーツの普及や地域スポーツ活動の支援などにより、市民総スポーツの定着に努めます。

(2) スポーツ指導者の養成と指導体制の充実

ア 実技講習会等による指導者の養成

実技講習会を実施し、指導者としての知識及び技能の向上を図るとともに、体力や年齢に応じた適切な指導の向上に努めます。

イ 指導者登録制度の充実と効果的な活用

市民のスポーツ需要に応える、適切な指導者を紹介できるような指導者制度を確立し、活用に努めます。

(3) スポーツ団体の育成強化を図る

ア 一般財団法人伊勢崎市体育協会活動への支援

一市民一スポーツの推進及び競技力向上を図るため、各競技団体、スポーツ推進委員会、地区社会体育推進委員会、軽スポーツ団体等の連携と（一財）伊勢崎市体育協会の支援に努めます。

イ 競技団体の育成と選手の強化

各競技団体の自主活動を推進するとともに、関東・全国大会で活躍できる選手の育成に努めます。

ウ スポーツ少年団の育成

各少年団の自主的活動を推進するとともに、相互間の連携の強化を図り、少年スポーツの育成に努めます。

(4) スポーツ施設・設備の充実

ア 陸上競技場芝生規格改修工事

イ 弓道場矢取り道等設置工事

ウ 赤堀体育館屋根防水等改修工事

エ あずま総合運動公園テニスコート照明設備・コート改修工事

オ あずまサッカースタジアムウォーミングアップ場整備工事

(5) スポーツ振興組織

ア スポーツ推進審議会

市民の意見の反映、専門的な人々からの総合的、長期的な伊勢崎市のスポーツに対する諮問機関。

委員 15人

イ スポーツ推進委員

市民のスポーツの振興と市民スポーツ活動の促進を一層充実するため指導助言を行う。

委員 45人

ウ 各地区社会体育推進委員連絡協議会

各地区のスポーツ行事の情報交換・調整・スポーツの普及啓発・指導者の養成等を行う。

委員 33人

エ スポーツ指導者バンク

市民のスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ指導者の登録制度。

12団体 108人

オ 一般財団法人伊勢崎市体育協会

スポーツ人口の増大と各競技種目の普及に伴って、(一財)伊勢崎市体育協会も年々充実発展し現在44団体を統括し、本市のスポーツの核として、一市民一スポーツの定着と競技力の向上・指導の育成等に努めている。

(一財)伊勢崎市体育協会加盟団体

野球協会・ソフトテニス連盟・テニス協会・バレーボール協会・バスケットボール協会・卓球協会・陸上競技クラブ・水泳協会・サイクリング協会・スキー協会・柔道協会・剣道協会・弓道協会・子育連・スケート協会・体操協会・ボクシングクラブ・バドミントン協会・アーチェリー協会・サッカー協会・ソフトボール協会・ラグビーフットボール協会・ウォーキング協会・ゲートボール協会・ボウリング協会・ゴルフ協会・太極拳協会・インディアカ協会・グラウンドゴルフ協会・綱引協会・中学校体育連盟・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会・地区社会体育推進委員連絡協議会・市民合気会・ハイキング協会・レスリング協会・空手道連盟・トライアスロン協会・スポーツチャンバラ協会・スポーツ吹矢協会・山岳協会・西部スポーツクラブ・トランポリン協会

3 平成27年度事業実績

(1) スポーツ教室開催結果一覧表

参加者 1,025人

No.	教室名	実施月	回数	対象	参加者	会場
1	早朝ソフトテニス(境)	4月・5月	6	小学3年以上	45	上武公園テニス場
2	早朝テニス	4月・5月	8	小学4年以上	97	庭球場
3	ミニバスケットボール	5月	3	小学2年～6年	78	あずま体育館
4	ソフトテニス	5月・6月	6	市民(学生除く)	27	庭球場
5	弓道(あずま)	5月・6月	8	小学5年以上	26	あずま弓道場
6	弓道(華蔵寺)	5月・6月	8	中学生以上	23	弓道場
7	弓道(境)	5月・6月	8	中学生以上	9	境弓道場
8	健康アップ	5月・6月	1	市民(学生除く)	31	市民体育館剣道場
9	少年少女レスリング	5月～6月	6	幼稚園・小・中学生	14	南小学校
10	バドミントン	5月～7月	8	市民(学生除く)	48	第二市民体育館
11	ボクシング	6月	8	小学生以上	11	市民体育館
12	体操	6月	8	小学2年～6年	21	市民体育館
13	合気道	6月	6	小学生以上	27	市民体育館・市民プラザ
14	サッカー(赤堀)	6月	2	小学1年～3年	24	赤堀コミュニティ広場
15	卓球	6月	8	小学5年以上	24	スポーツ交流館
16	なぎなた	6月	4	小学生以上	7	境武道館
17	陸上	6月	4	小学4年～6年	16	陸上競技場
18	早朝ソフトテニス(華蔵寺)	6月・7月	8	小学4生以上	92	庭球場
19	太極拳カンファ	7月	1	小学生以上	39	境体育館
20	ナイターテニス	8月・9月	8	市民(学生除く)	36	庭球場
21	ジュニアバドミントン	8月・9月	4	小・中学生	38	第二市民体育館
22	水泳 ①	9月	6	50歳以上の市民	18	スイミングアカデミー伊勢崎
23	カヌー	9月	2	中学生以上	12	広瀬川外
24	サッカー(境) ①	10月	2	小学1年～4年	19	境ふれあいパーク
25	インラインスケート	10月・11月	3	5歳以上の市民	4	三室西公園運動場
26	ミニバレーボール	10月・11月	8	小学3年～6年	37	茂呂小学校
27	スケート ①	11月	8	小学生以上	68	スケートセンター
28	スケート ②	12月	8	小学生以上	62	スケートセンター
29	サッカー(境) ②	2月	2	小学1年～4年	14	境総合運動場
30	スキー	3月	1	小学生以上	40	万座温泉スキー場
31	水泳 ②	3月	6	50歳以上の市民	18	スイミングアカデミー伊勢崎

(2) 「市民スポーツの日」実績一覧表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
676	935	640	983	443	652	611	541	468	639	592	709	7,889

(3) 市民総合体育大会の成績表

ア 総合成績

優勝	第2位	第3位
境地区	豊受地区	宮郷地区

イ 種目別

種目	第1位	第2位	第3位	種目	第1位	第2位	第3位
陸上(男子)	境	豊受	赤堀	弓道	赤堀	三郷	宮郷
陸上(女子)	三郷	境	茂呂	柔道	境	東	殖蓮・名和
ソフトボール(男子)	東	宮郷	三郷・豊受	剣道	豊受	赤堀	東
ソフトボール(女子)	宮郷	—	三郷・豊受	テニス	宮郷	北	名和
バレーボール(男子)	豊受	殖蓮	東・赤堀	綱引き	名和	境	宮郷・豊受
バレーボール(女子)	赤堀	殖蓮	茂呂・東	ゲートボール(男子)	赤堀	豊受	南
ソフトテニス	宮郷	南	赤堀	ゲートボール(女子)	境	赤堀	茂呂
卓球	境	三郷	殖蓮	グラウンドゴルフ	境	三郷	豊受

(4) 市民レクリエーションスポーツ祭の実績

総参加者総人数 1,763人(役員等168人を含む)

種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者
サイクリング	41	ターゲットバードゴルフ	30	スマイルウツク	61	ヘルスバレー	43
ウォーキング	52	リエンテリング	23	ジャフボード	79	ラダーゲッター	83
ゲートボール	146	インディアカ	68	スポレック	54	はつらつウォーク	149
グラウンドゴルフ	463	なわとび	51	スポーツ吹矢	195	タスポニー	57

(5) 施設の利用状況

施設利用実績 総合計 1,065,586人

華蔵寺公園運動施設		赤堀運動施設		あずま運動施設		境運動施設	
市民体育館	159,025	赤堀体育館	19,425	あずま体育館	38,922	境体育館	25,087
第二市民体育館	39,016	赤堀剣道場	1,213	テニスコート	11,402	境武道館	33,982
庭球場	82,774	中央運動場	12,737	あずまスタジアム	13,300	いよく公園運動場	22,374
野球場	41,228	あかぼり運動公園	36,953	あずまサブスタジアム	6,828	境弓道場	3,261
陸上競技場	53,192	西部スポーツ公園	11,857	あずま弓道場	9,267	総合運動場	27,512
ソフトボール	14,921	香林運動公園	7,197	総合運動場	20,166	上武公園運動場	13,757
第二グラウンド	11,964	グラウンドゴルフ場	2,730	三室西公園	10,938	グラウンドゴルフ場	36,734
補助競技場	23,829	コミュニティひろば	59,126	ゲートボール場	4,800	利根川河川運動場	1,782
弓道場	11,267	—	—	グラウンドゴルフ場	2,228	矢ノ原公園運動場	1,346
相撲場外	2,211	—	—	あずまサッカースタジアム	48,782	ラグビー場	15,056
市民プール	32,905	—	—	ウォーターランド	77,038	境プール	17,454
計	472,332	計	151,238	計	243,671	計	198,345

伊勢崎市の教育

平成 28 年度 版

平成 28 年 9 月 発行

編集 伊勢崎市教育委員会事務局

発行 伊勢崎市教育委員会

伊勢崎市今泉町二丁目 410 番地

印刷 第一印刷株式会社